

平成 2 9 年度

函館市各会計歳入歳出
決算審査意見書

函館市監査委員

函 監

平成30年8月24日

函館市長 工 藤 壽 樹 様

函館市監査委員 山 田 潤 一

函館市監査委員 植 松 直

函館市監査委員 斉 藤 明 男

函館市監査委員 松 宮 健 治

平成29年度函館市各会計歳入歳出決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された各会計の歳入歳出決算および決算附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

| [意見書編] | ページ |
|-----------------------------------|-----|
| I 審 査 の 対 象 | 1 |
| II 審 査 の 期 間 | 1 |
| III 審 査 の 方 法 | 1 |
| IV 審 査 の 結 果 | 2 |
| 1 総 括 | |
| (1) 予 算 の 編 成 方 針 等 | 2 |
| (2) 決 算 の 概 要 | 4 |
| ア 決 算 規 模 | 4 |
| イ 決 算 収 支 の 状 況 | 6 |
| ウ 執 行 率 の 状 況 | 8 |
| エ 財 政 指 標 | 8 |
| (3) 審 査 意 見 | 11 |
| 2 一 般 会 計 | |
| (1) 決 算 状 況 等 | 12 |
| ア 歳 入 | 12 |
| イ 歳 出 | 13 |
| ウ 決 算 収 支 | 15 |
| エ 経 費 別 決 算 状 況 | 16 |
| オ 市 債 残 高 の 状 況 | 23 |
| (2) 歳 入 (款 別) | 24 |
| (3) 歳 出 (款 別) | 37 |
| (4) 審 査 意 見 | 47 |
| 3 特 別 会 計 | |
| (1) 港 湾 事 業 特 別 会 計 | 48 |
| (2) 国 民 健 康 保 険 事 業 特 別 会 計 | 52 |
| (3) 自 転 車 競 走 事 業 特 別 会 計 | 56 |
| (4) 奨 学 資 金 特 別 会 計 | 60 |

| | |
|------------------------------|----|
| (5) 地方卸売市場事業特別会計 | 63 |
| (6) 介護保険事業特別会計 | 68 |
| (7) 発電事業特別会計 | 71 |
| (8) 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計 | 73 |
| (9) 後期高齢者医療事業特別会計 | 77 |
| 4 財産に関する調書 | 80 |

[資料編]

決算審査資料

[注 記]

- 1 文中に用いた金額は、千円未満を切り捨て、千円単位で表示した。
- 2 文中および各表中の比率は、小数点第2位を四捨五入した。
- 3 上記のように表記している結果、文中および各表中の数値とその内訳の累計値とは、一致しない場合がある。

平成29年度函館市各会計歳入歳出決算審査意見

I 審査の対象

- 平成29年度 函館市一般会計決算
- 平成29年度 函館市港湾事業特別会計決算
- 平成29年度 函館市国民健康保険事業特別会計決算
- 平成29年度 函館市自転車競走事業特別会計決算
- 平成29年度 函館市奨学資金特別会計決算
- 平成29年度 函館市地方卸売市場事業特別会計決算
- 平成29年度 函館市介護保険事業特別会計決算
- 平成29年度 函館市発電事業特別会計決算
- 平成29年度 函館市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計決算
- 平成29年度 函館市後期高齢者医療事業特別会計決算

II 審査の期間

平成30年7月9日から平成30年8月16日まで

III 審査の方法

審査にあたっては、各会計の歳入歳出決算書および政令で定める書類が関係法令に準拠して作成されているか、計数は正確であるか、科目および予算現額は予算書等と一致しているか、違法または不当な収支はないか、財政運営および資金収支は健全かつ効率的に行われているかについて、都市監査基準に基づき、会計諸帳簿その他証書類との照合や関係職員からの聴取等により検証を行ったほか、各会計の決算状況等について審査した。

なお、証書類の検証、現金・預金の残高の確認については、地方自治法第235条の2の規定に基づき、別に例月現金出納検査において実施し、その結果も踏まえて審査した。

IV 審 査 の 結 果

1 総 括

各会計の歳入歳出決算書等は、いずれも関係法令の規定に準拠して作成されており、表示された計数は、会計諸帳簿等と照合の結果符合し、平成29年度の決算状況を正確に表示しているものと認められた。

以下、一般会計と特別会計を合わせた決算について、審査した結果は次のとおりである。

(1) 予算の編成方針等

国は、平成29年度の地方財政計画において、通常収支分については、極めて厳しい地方財政の現状および現下の経済情勢等を踏まえ、歳出面においては、一億総活躍社会の実現や地方創生、公共施設等の適正管理に対応するために必要な経費を計上するとともに、社会保障関係費の増加を適切に反映した計上を行う一方、国の取組と基調を合わせた歳出改革を行うこととし、歳入面においては、地方の安定的な財政運営に必要な地方の一般財源総額について、平成28年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保することを基本として、引き続き生ずることとなった大幅な財源不足について、地方財政の運営上支障が生じないよう適切な補てん措置を講じることとした。また、東日本大震災分については、復旧・復興事業および全国防災事業について、通常収支とはそれぞれ別枠で整理し、所要の事業費および財源を確保するところである。

このような中、本市においては、人口減少に伴う地方交付税の大幅な減額のほか、介護保険や後期高齢者の医療給付などの社会保障関係経費の増加が見込まれるなど、近年にない厳しい財政状況となったことから、平成29年度の予算編成にあたっては、これまで以上に各種施策の洗い直しや経費の節減に努めるなど、各種行財政対策を推し進めながら、限られた財源のなかで創意と工夫をもって、引き続き、「活気に満ちたまち、歩いて楽しいまち、訪れたいくなる美しいまち、住む人にやさしいまち」を目指し、その展開にあたっては、「函館の経済を元気にする」、「子どもたちと若者の未来を拓く」、「市民の安全・安心を守る」、「まちの魅力をさらに高める」、「行財政改革と広域連携の強化に努める」の5項目を柱として、各般にわたる施策や事業が計上されたところである。

(2) 決算の概要

平成29年度の一般会計と特別会計を合わせた決算の概要は、次のとおりである。

ア 決算規模

(ア) 決算規模および純計の状況

当年度の決算規模および純計の状況は、次のとおりである。

| 区 分 | | 平成29年度 | 平成28年度 | 対前年度比較 | |
|-----|----------|-----------------|-----------------|----------------|-------|
| | | | | 増減額 | 増減率 |
| 総 | 歳入総額 A | 227,591,352,781 | 227,335,384,365 | 255,968,416 | 0.1 |
| | 一般会計 | 139,658,143,494 | 139,526,333,763 | 131,809,731 | 0.1 |
| | 特別会計 | 87,933,209,287 | 87,809,050,602 | 124,158,685 | 0.1 |
| | 歳出総額 B | 225,028,728,034 | 225,668,593,503 | △639,865,469 | △0.3 |
| | 一般会計 | 138,625,605,652 | 138,016,351,255 | 609,254,397 | 0.4 |
| | 特別会計 | 86,403,122,382 | 87,652,242,248 | △1,249,119,866 | △1.4 |
| 計 | 差引残額 A-B | 2,562,624,747 | 1,666,790,862 | 895,833,885 | 53.7 |
| | 一般会計 | 1,032,537,842 | 1,509,982,508 | △477,444,666 | △31.6 |
| | 特別会計 | 1,530,086,905 | 156,808,354 | 1,373,278,551 | 875.8 |
| 純 | 歳入総額 | 216,442,353,781 | 216,829,170,993 | △386,817,212 | △0.2 |
| | 一般会計 | 139,653,343,494 | 139,524,133,763 | 129,209,731 | 0.1 |
| | 特別会計 | 76,789,010,287 | 77,305,037,230 | △516,026,943 | △0.7 |
| | 歳出総額 | 213,879,729,034 | 215,162,380,131 | △1,282,651,097 | △0.6 |
| | 一般会計 | 127,481,406,652 | 127,512,337,883 | △30,931,231 | △0.0 |
| | 特別会計 | 86,398,322,382 | 87,650,042,248 | △1,251,719,866 | △1.4 |

当年度の**一般会計と特別会計を合わせた決算額の総計**は、**歳入総額**227,591,352千円（一般会計139,658,143千円、特別会計87,933,209千円）、**歳出総額**225,028,728千円（一般会計138,625,605千円、特別会計86,403,122千円）であり、**歳入歳出差引残額**は2,562,624千円（一般会計1,032,537千円の黒字、特別会計1,530,086千円の黒字）となっている。

当年度の決算額の総計を前年度に比較すると、歳入総額は255,968千円（0.1%）の増（一般会計131,809千円0.1%増、特別会計124,158千円0.1%増）、歳出総額は639,865千円（0.3%）の減（一般会計609,254千円0.4%増、特別会計1,249,119千円1.4%減）となっている。

また、各会計間の繰入れ、繰出しがなかったものとした場合の**純計**では、**歳入総額**216,442,353千円（一般会計139,653,343千円、特別会計76,789,010千円）、**歳出総額**213,879,729千円（一般会計127,481,406千円、特別会計86,398,322千円）であり、これを前年度に比較すると、歳入総額は386,817千円（0.2%）の減（一般会計129,209千円0.1%増、特別会計516,026千円0.7%減）、歳出総額は1,282,651千円（0.6%）の減（一般会計30,931千円0.0%減、特別会計1,251,719千円1.4%減）となっている。

(イ) 繰入金および繰出金の状況

当年度の各会計における繰入金および繰出金の状況は、次のとおりである。

| 会 計 名 | 平成 2 9 年 度 | | 平成 2 8 年 度 | | 対 前 年 度 比 較 | | |
|------------------|----------------|---------------------|----------------|---------------------|----------------|------------------|-----------|
| | 繰 入 金 | 繰 出 金 | 繰 入 金 | 繰 出 金 | 繰 入 金 | 繰 出 金 | |
| 一 般 会 計 | 円 4,800,000 | 円 11,144,199,000 | 円 2,200,000 | 円 10,504,013,372 | 円 2,600,000 | 円 640,185,628 | |
| 特 別 会 計 | 港 湾 事 業 | 1,891,550,000 | — | 2,063,092,000 | — | △171,542,000 | — |
| | 国民健康保険事業 | 3,900,029,000 | — | 3,347,276,372 | — | 552,752,628 | — |
| | 地方卸売市場事業 | 185,362,000 | — | 156,448,000 | — | 28,914,000 | — |
| | 介護保険事業 | 4,091,879,000 | — | 3,913,036,000 | — | 178,843,000 | — |
| | 発 電 事 業 | — | 4,800,000 | — | 2,200,000 | — | 2,600,000 |
| | 母子父子寡婦福祉資金貸付事業 | 1,350,000 | — | 1,300,000 | — | 50,000 | — |
| | 後期高齢者医療事業 | 1,074,029,000 | — | 1,022,861,000 | — | 51,168,000 | — |
| | 計 | 11,144,199,000 | 4,800,000 | 10,504,013,372 | 2,200,000 | 640,185,628 | 2,600,000 |
| 合 計 | 11,148,999,000 | 11,148,999,000 | 10,506,213,372 | 10,506,213,372 | 642,785,628 | 642,785,628 | |

当年度においては、**一般会計から特別会計に対し**合計11,144,199千円が繰出しされており、前年度に比較して640,185千円増加しているが、これは、港湾事業171,542千円の減があったものの、国民健康保険事業552,752千円、介護保険事業178,843千円などの増があったためである。

また、**特別会計から一般会計に対し**4,800千円が繰出しされているが、これは発電事業からの繰出しである。

イ 決算収支の状況

当年度の一般会計および特別会計の決算収支状況は、次のとおりである。

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 歳 入 | | 歳 出 | | 当年度形式収支額 (歳入歳出差引残額) D=B-C |
|----------------|-----------------|-----------------|------------|-----------------|------------|---------------------------------|
| | | 収 入 済 額 B | 執行率 B/A | 支 出 済 額 C | 執行率 C/A | |
| | 円 | 円 | % | 円 | % | 円 |
| 一 般 会 計 | 141,898,004,334 | 139,658,143,494 | 98.4 | 138,625,605,652 | 97.7 | 1,032,537,842 |
| 特 別 会 計 | 88,880,545,333 | 87,933,209,287 | 98.9 | 86,403,122,382 | 97.2 | 1,530,086,905 |
| 港 湾 事 業 | 3,669,218,333 | 3,687,514,047 | 100.5 | 3,651,964,679 | 99.5 | 35,549,368 |
| 国民健康保険事業 | 37,920,545,000 | 36,983,036,415 | 97.5 | 36,139,499,504 | 95.3 | 843,536,911 |
| 自転車競走事業 | 14,589,887,000 | 14,571,370,723 | 99.9 | 14,566,343,615 | 99.8 | 5,027,108 |
| 奨学資金 | 34,537,000 | 34,587,533 | 100.1 | 34,316,710 | 99.4 | 270,823 |
| 地方卸売市場事業 | 417,884,000 | 407,569,275 | 97.5 | 401,009,145 | 96.0 | 6,560,130 |
| 介護保険事業 | 28,090,794,000 | 28,080,277,219 | 100.0 | 27,637,995,028 | 98.4 | 442,282,191 |
| 発電事業 | 6,000,000 | 6,017,845 | 100.3 | 5,217,094 | 87.0 | 800,751 |
| 母子父子寡婦福祉資金貸付事業 | 163,263,000 | 167,990,402 | 102.9 | 70,092,072 | 42.9 | 97,898,330 |
| 後期高齢者医療事業 | 3,988,417,000 | 3,994,845,828 | 100.2 | 3,896,684,535 | 97.7 | 98,161,293 |
| 合 計 | 230,778,549,667 | 227,591,352,781 | 98.6 | 225,028,728,034 | 97.5 | 2,562,624,747 |

当年度の**形式収支**は、一般会計で1,032,537千円の黒字、特別会計は9事業全てで黒字となったことから1,530,086千円の黒字となり、全会計合計で2,562,624千円の黒字となっている。

また、**実質収支**は、翌年度へ繰り越すべき財源として、一般会計で継続費通次繰越額62千円、繰越明許費繰越額704千円、事故繰越し繰越額8,996千円があることから、実質収支額は、一般会計1,022,775千円の黒字、特別会計1,530,086千円の黒字となり、全会計合計で2,552,862千円の黒字となっている。

なお、当年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた**単年度収支**は、一般会計469,815千円の赤字、特別会計1,373,311千円の黒字となり、全会計合計で903,496千円の黒字となっている。

| 翌年度へ繰り越すべき財源 | | | | 当年度 | 前年度 | 当年度 | |
|--------------|-----------|------------|--------------|---------------|----------------|---------------|---------------|
| 継続費 繰越額 | 通次 繰越額 | 明許費 繰越額 | 事故繰越し 繰越額 | 計 E | 実質収支額 F=D-E | 実質収支額 G | 単年度収支額 F-G |
| 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| 62,400 | 704,056 | 8,996,000 | 9,762,456 | 1,022,775,386 | 1,492,590,520 | △469,815,134 | |
| — | — | — | — | 1,530,086,905 | 156,775,021 | 1,373,311,884 | |
| — | — | — | — | 35,549,368 | 31,036,034 | 4,513,334 | |
| — | — | — | — | 843,536,911 | △452,594,865 | 1,296,131,776 | |
| — | — | — | — | 5,027,108 | △23,606,054 | 28,633,162 | |
| — | — | — | — | 270,823 | 2,892,718 | △2,621,895 | |
| — | — | — | — | 6,560,130 | 9,723,762 | △3,163,632 | |
| — | — | — | — | 442,282,191 | 428,674,644 | 13,607,547 | |
| — | — | — | — | 800,751 | 2,340,588 | △1,539,837 | |
| — | — | — | — | 97,898,330 | 90,336,438 | 7,561,892 | |
| — | — | — | — | 98,161,293 | 67,971,756 | 30,189,537 | |
| 62,400 | 704,056 | 8,996,000 | 9,762,456 | 2,552,862,291 | 1,649,365,541 | 903,496,750 | |

ウ 執行率の状況

当年度の一般会計および特別会計の予算現額に対する決算額の割合（以下「執行率」という。）は、歳入合計で98.6%、歳出合計で97.5%となっており、前年度に比較すると歳入は1.3ポイントの増、歳出は0.9ポイントの増となっている。

| 区 分 | 歳 入 | | | 歳 出 | | |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 平成29年度 | 平成28年度 | 対前年度比較 | 平成29年度 | 平成28年度 | 対前年度比較 |
| | % | % | ポイント | % | % | ポイント |
| 一 般 会 計 | 98.4 | 97.3 | 1.1 | 97.7 | 96.2 | 1.5 |
| 特 別 会 計 | 98.9 | 97.4 | 1.5 | 97.2 | 97.2 | 0.0 |
| 合 計 | 98.6 | 97.3 | 1.3 | 97.5 | 96.6 | 0.9 |

エ 財政指標

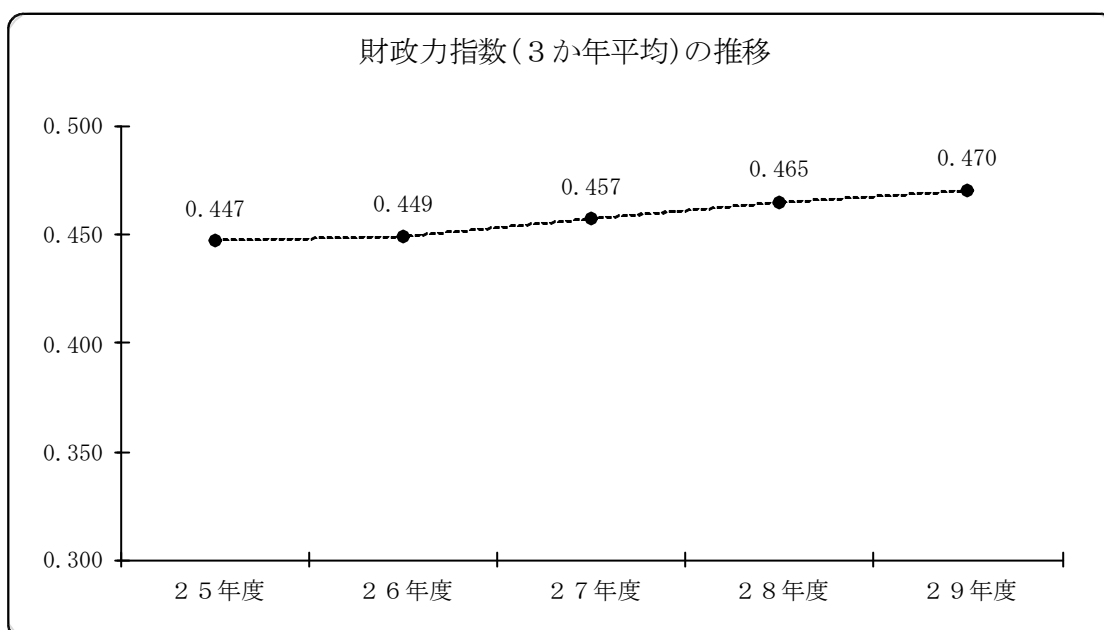
当年度における地方財政状況調査の数値を基にした普通会計ベースによる財政指標の状況は、次のとおりである。

※ 普通会計：地方財政状況調査において統一的に用いられる会計区分であり、一般会計と公営事業会計以外の特別会計を統合し、会計間の重複等を控除して一つの会計として集計したものである。

(ア) 財政力指数

当年度の**財政力指数**は0.470であり、前年度に比較すると0.005ポイント改善している。

| 区 分 | 平成29年度 | 平成28年度 | 対前年度比較 |
|------------------|--------|--------|--------|
| 財政力指数 (3か年平均) | 0.470 | 0.465 | 0.005 |



※ 財政力指数：次の数式により得られた数値の各年度における過去3か年の平均値であり、地方公共団体の財政力を評価するための指標となるもので、数値が1を超えるほど財源に余裕があるとされる。

$$\text{財政力指数} = \frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}}$$

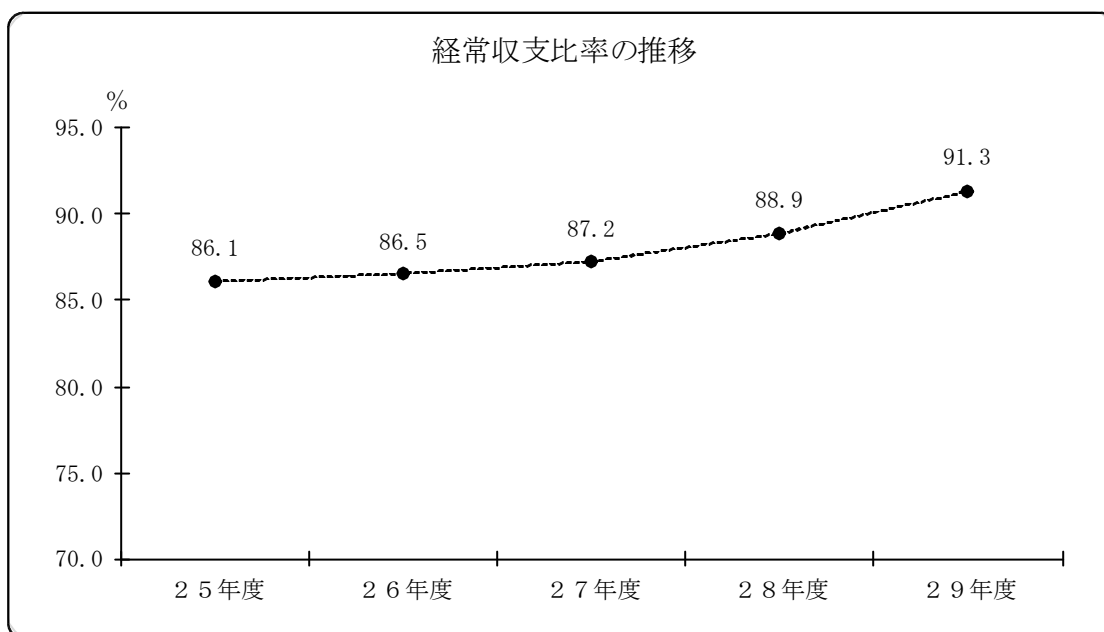
基準財政収入額：普通交付税の算定に用いるもので、地方公共団体の財政力を合理的に測定するため、標準状態で徴収が見込まれる税金等を一定の方法により算定した額

基準財政需要額：普通交付税の算定に用いるもので、地方公共団体が合理的かつ妥当な水準における行政を行うためなどの財政需要を一定の方法によって合理的に算定した額

(イ) 経常収支比率

当年度の**経常収支比率**は91.3%であり、前年度に比較すると2.4ポイント悪化している。

| 区 分 | 平成29年度 | 平成28年度 | 対前年度比較 |
|--------|--------|--------|--------|
| 経常収支比率 | 91.3 | 88.9 | 2.4 |



※ 経常収支比率：次の数式により得られた数値であり、財政構造の弾力性を測定する比率として使われ、70～80%が標準的とされる。

$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{経常経費充当一般財源の額}}{\text{経常一般財源総額}} \times 100$$

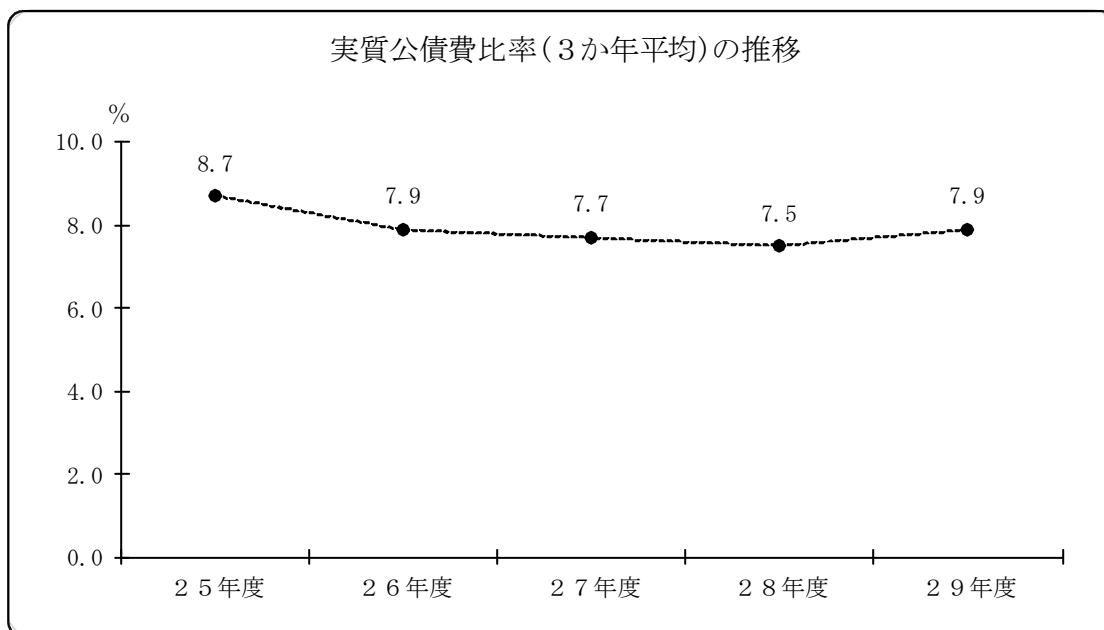
経常経費充当一般財源：用途が特定されない収入のうち毎年度連続して経常的に支出される経費に充てられた額

経常一般財源総額：毎年度連続して経常的に収入される財源のうち、用途が特定されない収入額で減税補てん債、臨時財政対策債の額を加えた額

(ウ) 実質公債費比率

当年度の**実質公債費比率**は7.9%であり、前年度に比較すると0.4ポイント悪化している。

| 区 分 | 平成29年度 | 平成28年度 | 対前年度比較 |
|--------------------|--------|--------|--------|
| | % | % | ポイント |
| 実質公債費比率 (3か年平均) | 7.9 | 7.5 | 0.4 |



※ 実質公債費比率：次の数式により得られた数値の各年度における過去3か年の平均値をいう。起債制限の基準となる比率であり、18%以上の場合は地方債の協議制から許可制（団体）となり、25%以上の場合は起債制限を受ける。

$$\text{実質公債費比率} = \frac{(\text{地方債の元利償還金} + \text{準元利償還金}) - (\text{特定財源} + \text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}{\text{標準財政規模} - \text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額}} \times 100$$

準元利償還金：イからホまでの合計額

イ：満期一括償還地方債について、償還期間を30年とする元金均等年賦償還とした場合における1年当たりの元金償還相当額

ロ：一般会計等から一般会計等以外の特別会計への繰出金のうち、公営企業債の償還の財源に充てたと認められるもの（例 下水道事業の雨水分元利償還金など）

ハ：組合・地方開発事業団（以下「組合等」という。）への負担金・補助金のうち、組合等が起こした地方債の償還の財源に充てたと認められるもの（例 はこだて未来大学の校舎分元利償還金など）

ニ：債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるもの（例 臨空工業団地購入費など）

ホ：一時借入金の利子

標準財政規模：基準財政収入額の算定対象とされた標準税収入額等と普通交付税と臨時財政対策債発行可能額の合計額

特定財源：貸付金の元利償還金、住宅使用料、都市計画税など

(3) 審査意見

当年度は、当初予算の策定において、地方交付税の大幅な減額や社会保障関係経費などの負担増が見込まれる近年にない厳しい財政状況のなか、平成25年度以来4年ぶりに、財源調整のため減債基金から5億円を取り崩すこととして収支の均衡を図ったところであるが、決算では、地方交付税・臨時財政対策債が減となったものの、市税や地方消費税交付金の増に加え、生活保護などの扶助費や公営企業繰出金などの減により、結果、財源調整のために基金を取り崩すことなく、予算計上していた各種施策や事業は概ね予定どおり執行され、全会計を合わせた実質収支は約25億円の黒字となったところである。

前年度決算との比較では、一般会計の歳入において、地方交付税・臨時財政対策債などが減少したものの、市税や地方消費税交付金のほか、在宅福祉ふれあい基金など4基金の廃止に伴い繰入金が増加したことから、総額は前年度を上回ったところであるが、歳出において、補助費や病院事業会計などへの繰出金などが減少したものの、障がい者福祉などの扶助費や除雪費などの経常経費の増に加え、国民健康保険事業特別会計への繰出金が増加し、結果的に歳入総額の増を上回る経費の増加となったことから、実質収支の黒字幅は縮小したところである。

また、累積赤字のあった特別会計のうち、国民健康保険事業特別会計は、保険料収入率の向上や国の調整交付金の増のほか、平成30年度からの都道府県単位化にあたり一般会計から繰入れを行ったことにより累積赤字を解消し、実質収支は約8億円の黒字となり、自転車競走事業特別会計は、車券発売代金の減はあったものの、収益保証などにより累積赤字を解消したほか、大規模改修に備えるため競輪事業施設整備基金を設置し積立てを行っている。

このほか、財政指標において、財政力指数はこの数年改善傾向が続いているものの、依然として地方交付税などに依存する財政構造となっており、また、経常収支比率および実質公債費比率は前年度に比較し悪化している。

当市では、平成30年1月に策定した「行財政改革推進プラン」に基づき、持続可能な行財政運営の確立を目標として改革に取り組んでいるが、策定までの間も継続して取り組んできた「行財政改革プラン2012」による成果は、決算に着実に表れているものと認められる。しかしながら、今後においても、人口減少に伴う市税や地方交付税の減少のほか、高齢化の進展による社会保障関係経費の増加が見込まれるなど、当市財政を取り巻く環境は一段と厳しさを増すものと思料されることから、間断なく行財政改革を進めるとともに、限られた財源で最大の事業効果を発揮するよう一層の創意工夫を凝らし、中長期的見通しに立った計画的、効率的な財政運営に努められるよう要望する。

以下、各会計の決算状況について、審査した結果は次のとおりである。

２ 一般会計

(1) 決算状況等

ア 歳入

(ア) 決算状況

| 区分 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 執行率 | 収入率 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------|------|-------------|---------------|
| | A | B | C | C/A | C/B | D | B-C-D |
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 29年度 | 141,898,004,334 | 141,745,235,942 | 139,658,143,494 | 98.4 | 98.5 | 319,775,171 | 1,767,317,277 |
| 28年度 | 143,435,444,372 | 141,859,085,349 | 139,526,333,763 | 97.3 | 98.4 | 365,576,219 | 1,967,175,367 |
| 対前年度 | 増減額 | △1,537,440,038 | △113,849,407 | 131,809,731 | | △45,801,048 | △199,858,090 |
| | 増減率 | △1.1% | △0.1% | 0.1% | | △12.5% | △10.2% |

当年度の**歳入の決算状況**は、当初予算額137,120,000千円、補正予算額2,536,790千円、継続費及び繰越事業費繰越財源充当額2,241,214千円で**予算現額**は141,898,004千円となっており、これに対して、**調定額**は141,745,235千円、**収入済額**は139,658,143千円となっている。

予算現額に対する執行率は98.4%であり、前年度に比較すると1.1ポイントの増加となっている。

また、収入済額を前年度に比較すると131,809千円（0.1%）の増加となっているが、これは、地方交付税331,572千円、負担金・使用料等125,408千円、国道支出金1,577,485千円、財産収入465,028千円などの減があったものの、市税267,124千円、譲与税・交付金438,150千円、繰入金1,045,379千円、市債1,707,900千円などの増があったためである。

(イ) 不納欠損額

| 区分 | 平成29年度 | | 平成28年度 | | 対前年度比較 | |
|----------|-------------|-------|-------------|-------|-------------|-------|
| | 不納欠損額 | 構成比率 | 不納欠損額 | 構成比率 | 増減額 | 増減率 |
| | 円 | % | 円 | % | 円 | % |
| 市税 | 252,459,731 | 78.9 | 300,627,265 | 82.2 | △48,167,534 | △16.0 |
| 分担金及び負担金 | 5,826,980 | 1.8 | 8,114,899 | 2.2 | △2,287,919 | △28.2 |
| 使用料及び手数料 | 2,326,821 | 0.7 | 2,707,506 | 0.7 | △380,685 | △14.1 |
| 財産収入 | 214,080 | 0.1 | — | — | 214,080 | 皆増 |
| 諸収入 | 58,947,559 | 18.4 | 54,126,549 | 14.8 | 4,821,010 | 8.9 |
| 合計 | 319,775,171 | 100.0 | 365,576,219 | 100.0 | △45,801,048 | △12.5 |

当年度の**不納欠損額**は319,775千円であり、これは、市税252,459千円、諸収入58,947千円などによるものである。

また、前年度に比較すると45,801千円（12.5%）の減少となっているが、これは、市税48,167千円の減などによるものである。

(ウ) 収入未済額

| 区分 | 平成29年度 | | 平成28年度 | | 対前年度比較 | |
|----------|---------------|-------|---------------|-------|--------------|-------|
| | 収入未済額 | 構成比率 | 収入未済額 | 構成比率 | 増減額 | 増減率 |
| | 円 | % | 円 | % | 円 | % |
| 市税 | 947,151,243 | 53.6 | 1,181,676,859 | 60.1 | △234,525,616 | △19.8 |
| 分担金及び負担金 | 104,452,556 | 5.9 | 121,040,540 | 6.2 | △16,587,984 | △13.7 |
| 使用料及び手数料 | 56,915,468 | 3.2 | 60,546,730 | 3.1 | △3,631,262 | △6.0 |
| 財産収入 | 9,679,130 | 0.5 | 10,721,981 | 0.5 | △1,042,851 | △9.7 |
| 諸収入 | 649,118,880 | 36.7 | 593,189,257 | 30.2 | 55,929,623 | 9.4 |
| 合計 | 1,767,317,277 | 100.0 | 1,967,175,367 | 100.0 | △199,858,090 | △10.2 |

当年度の**収入未済額**は1,767,317千円であり、これは、市税947,151千円、分担金及び負担金104,452千円、使用料及び手数料56,915千円、諸収入649,118千円などによるものである。

また、前年度に比較すると199,858千円（10.2%）の減少となっているが、これは、諸収入55,929千円の増があったものの、市税234,525千円などの減があったためである。

イ 歳 出

(ア) 決算状況

| 区分 | 予算現額 | 支出済額 | 執行率 | 翌年度繰越額 | 不用額 |
|------|-----------------|-----------------|------|----------------|---------------|
| | A | B | B/A | C | A-B-C |
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 |
| 29年度 | 141,898,004,334 | 138,625,605,652 | 97.7 | 439,094,108 | 2,833,304,574 |
| 28年度 | 143,435,444,372 | 138,016,351,255 | 96.2 | 2,241,214,334 | 3,177,878,783 |
| 対前年度 | | | | | |
| 増減額 | △1,537,440,038 | 609,254,397 | | △1,802,120,226 | △344,574,209 |
| 増減率 | △1.1% | 0.4% | | △80.4% | △10.8% |

当年度の**歳出の決算状況**は、当初予算額137,120,000千円、補正予算額2,536,790千円、継続費及び繰越事業費繰越額2,241,214千円で**予算現額**は141,898,004千円となっており、これに対して、**支出済額**は138,625,605千円となっている。

予算現額に対する執行率は97.7%であり、前年度に比較すると1.5ポイントの増加となっている。

また、支出済額を前年度に比較すると609,254千円（0.4%）増加しているが、これは、人件費121,441千円、公債費282,528千円、公営企業繰出金1,141,557千円、補助費等1,841,413千円などの減があったものの、扶助費等653,157千円、経常費807,619千円、特別会計等繰出金669,579千円、貸付金259,295千円、普通建設事業費894,270千円などの増があったためである。

(イ) 翌年度繰越額

| 区 分 | 平成 2 9 年度 | | 平成 2 8 年度 | | 対前年度比較 | |
|-------|-------------|-------|---------------|-------|----------------|-------|
| | 翌年度繰越額 | 構成比率 | 翌年度繰越額 | 構成比率 | 増減額 | 増減率 |
| | 円 | % | 円 | % | 円 | % |
| 総務費 | — | — | 20,772,154 | 0.9 | △20,772,154 | 皆減 |
| 民生費 | 10,599,200 | 2.4 | 413,565,000 | 18.5 | △402,965,800 | △97.4 |
| 農林水産費 | 816,000 | 0.2 | 6,000,000 | 0.3 | △5,184,000 | △86.4 |
| 商工費 | 29,775,616 | 6.8 | — | — | 29,775,616 | 皆増 |
| 土木費 | 115,605,892 | 26.3 | 164,323,820 | 7.3 | △48,717,928 | △29.6 |
| 教育費 | 282,297,400 | 64.3 | 1,636,553,360 | 73.0 | △1,354,255,960 | △82.8 |
| 合計 | 439,094,108 | 100.0 | 2,241,214,334 | 100.0 | △1,802,120,226 | △80.4 |

当年度の翌年度繰越額は439,094千円であり、これは、土木費115,605千円、教育費282,297千円などによるものであるが、前年度に比較すると1,802,120千円（80.4%）の減少となっている。

(ウ) 不 用 額

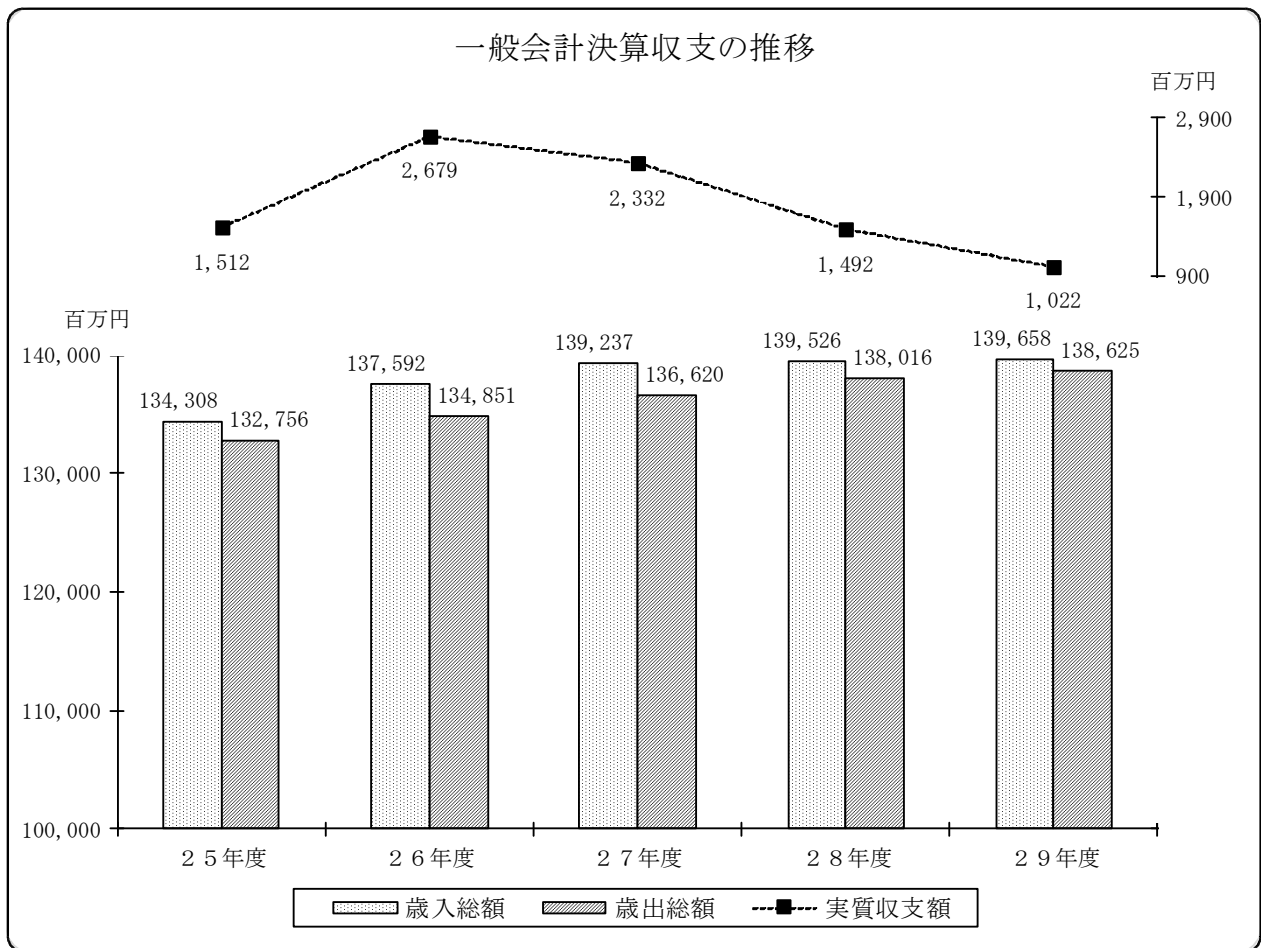
| 区 分 | 平成 2 9 年度 | | 平成 2 8 年度 | | 対前年度比較 | |
|-------|---------------|-------|---------------|-------|--------------|-------|
| | 不 用 額 | 構成比率 | 不 用 額 | 構成比率 | 増減額 | 増減率 |
| | 円 | % | 円 | % | 円 | % |
| 議会費 | 18,322,080 | 0.6 | 17,531,087 | 0.6 | 790,993 | 4.5 |
| 総務費 | 225,741,557 | 8.0 | 200,920,570 | 6.3 | 24,820,987 | 12.4 |
| 民生費 | 1,404,169,290 | 49.6 | 1,446,704,747 | 45.5 | △42,535,457 | △2.9 |
| 衛生費 | 137,617,779 | 4.9 | 181,969,604 | 5.7 | △44,351,825 | △24.4 |
| 労働費 | 5,587,992 | 0.2 | 19,054,787 | 0.6 | △13,466,795 | △70.7 |
| 農林水産費 | 32,041,714 | 1.1 | 39,291,257 | 1.2 | △7,249,543 | △18.5 |
| 商工費 | 65,015,501 | 2.3 | 40,739,740 | 1.3 | 24,275,761 | 59.6 |
| 土木費 | 242,940,046 | 8.6 | 374,659,679 | 11.8 | △131,719,633 | △35.2 |
| 消防費 | 8,394,172 | 0.3 | 6,978,487 | 0.2 | 1,415,685 | 20.3 |
| 教育費 | 164,274,118 | 5.8 | 177,236,519 | 5.6 | △12,962,401 | △7.3 |
| 災害復旧費 | — | — | 2,190,559 | 0.1 | △2,190,559 | 皆減 |
| 公債費 | 13,410,789 | 0.5 | 22,625,908 | 0.7 | △9,215,119 | △40.7 |
| 諸支出金 | 206,585,790 | 7.3 | 13,964,329 | 0.4 | 192,621,461 | 激増 |
| 職員費 | 187,653,855 | 6.6 | 76,300,035 | 2.4 | 111,353,820 | 145.9 |
| 予備費 | 121,549,891 | 4.3 | 557,711,475 | 17.5 | △436,161,584 | △78.2 |
| 合計 | 2,833,304,574 | 100.0 | 3,177,878,783 | 100.0 | △344,574,209 | △10.8 |

当年度の不用額は2,833,304千円であり、これは、総務費225,741千円、民生費1,404,169千円、衛生費137,617千円、商工費65,015千円、土木費242,940千円、教育費164,274千円、諸支出金206,585千円、職員費187,653千円などによるものであるが、前年度に比較すると344,574千円（10.8%）の減少となっている。

ウ 決算収支

| 区分 | 歳入総額 A | 歳出総額 B | 形式収支額 C=A-B | 翌年度へ繰り越すべき財源 D | 実質収支額 C-D |
|-------------|-----------------|-----------------|----------------|-------------------|---------------|
| | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| 29年度 | 139,658,143,494 | 138,625,605,652 | 1,032,537,842 | 9,762,456 | 1,022,775,386 |
| 28年度 | 139,526,333,763 | 138,016,351,255 | 1,509,982,508 | 17,391,988 | 1,492,590,520 |
| 対前年度 増減額 | 131,809,731 | 609,254,397 | △477,444,666 | △7,629,532 | △469,815,134 |
| 増減率 | 0.1% | 0.4% | △31.6% | △43.9% | △31.5% |

当年度の**形式収支**は1,032,537千円の黒字となり、**実質収支**では、翌年度へ繰り越すべき財源9,762千円（継続費通次繰越額62千円、繰越明許費繰越額704千円、事故繰越し繰越額8,996千円）があることから、これを差し引き1,022,775千円の黒字となっている。



エ 経費別決算状況

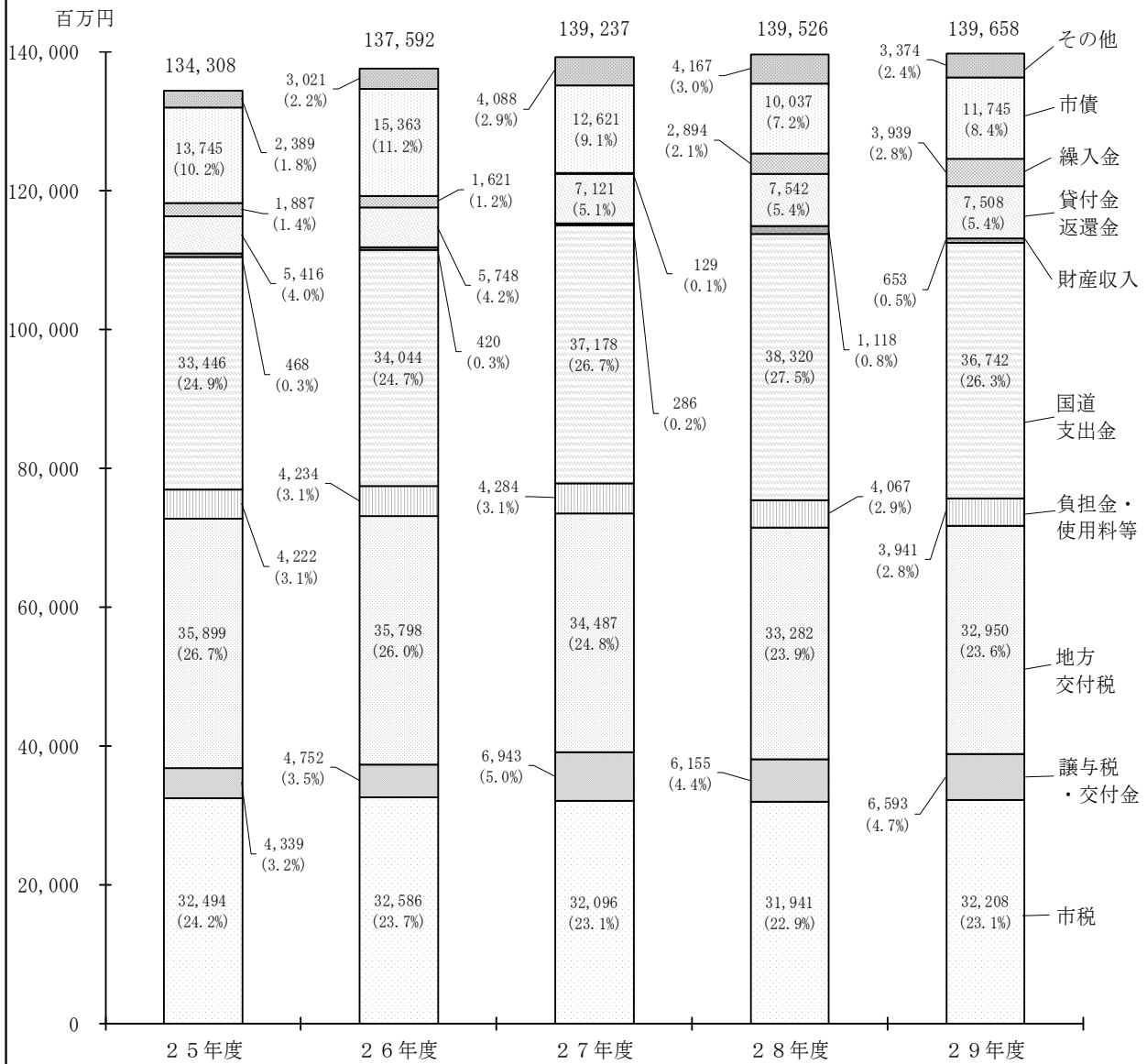
(ア) 歳 入

当年度の歳入の決算状況を**経費別**に前年度と比較すると、次の表のとおりである。

なお、歳入の各款別の決算状況については、24ページ以降の歳入（款別）を参照されたい。

| 区 分 | 平成29年度 | | 平成28年度 | | 対前年度比較 | |
|------------|---------------------|-----------|---------------------|-----------|------------------|----------|
| | 決 算 額 | 構成比率 | 決 算 額 | 構成比率 | 増 減 額 | 増減率 |
| 市 税 | 円 32,208,730,255 | % 23.1 | 円 31,941,605,910 | % 22.9 | 円 267,124,345 | % 0.8 |
| 譲与税・交付金 | 6,593,280,987 | 4.7 | 6,155,130,049 | 4.4 | 438,150,938 | 7.1 |
| 地方譲与税 | 727,705,187 | 0.5 | 732,021,729 | 0.5 | △4,316,542 | △0.6 |
| 利子割交付金 | 52,994,000 | 0.0 | 30,250,000 | 0.0 | 22,744,000 | 75.2 |
| 地方消費税交付金 | 5,308,151,000 | 3.8 | 5,008,640,000 | 3.6 | 299,511,000 | 6.0 |
| 自動車取得税交付金 | 172,195,000 | 0.1 | 117,796,000 | 0.1 | 54,399,000 | 46.2 |
| 地方特例交付金 | 118,594,000 | 0.1 | 111,031,000 | 0.1 | 7,563,000 | 6.8 |
| その他の交付金 | 213,641,800 | 0.2 | 155,391,320 | 0.1 | 58,250,480 | 37.5 |
| 地方交付税 | 32,950,474,000 | 23.6 | 33,282,046,000 | 23.9 | △331,572,000 | △1.0 |
| 普通交付税 | 31,351,922,000 | 22.4 | 31,757,542,000 | 22.8 | △405,620,000 | △1.3 |
| 特別交付税 | 1,598,552,000 | 1.1 | 1,524,504,000 | 1.1 | 74,048,000 | 4.9 |
| 負担金・使用料等 | 3,941,764,977 | 2.8 | 4,067,173,894 | 2.9 | △125,408,917 | △3.1 |
| 分担金及び負担金 | 368,778,675 | 0.3 | 528,789,387 | 0.4 | △160,010,712 | △30.3 |
| 使用料及び手数料 | 3,572,986,302 | 2.6 | 3,538,384,507 | 2.5 | 34,601,795 | 1.0 |
| 国道支出金 | 36,742,817,378 | 26.3 | 38,320,303,072 | 27.5 | △1,577,485,694 | △4.1 |
| 扶助費等充当 | 28,555,762,380 | 20.4 | 28,035,103,553 | 20.1 | 520,658,827 | 1.9 |
| 繰出金充当 | 2,263,935,602 | 1.6 | 2,281,830,378 | 1.6 | △17,894,776 | △0.8 |
| 補助費等充当 | 315,831,184 | 0.2 | 2,367,808,388 | 1.7 | △2,051,977,204 | △86.7 |
| 普通建設事業費充当 | 3,604,523,290 | 2.6 | 3,286,135,405 | 2.4 | 318,387,885 | 9.7 |
| 臨時事務・行事費充当 | 338,807,890 | 0.2 | 470,245,571 | 0.3 | △131,437,681 | △28.0 |
| その他 | 1,663,957,032 | 1.2 | 1,879,179,777 | 1.3 | △215,222,745 | △11.5 |
| 財産収入 | 653,545,525 | 0.5 | 1,118,574,402 | 0.8 | △465,028,877 | △41.6 |
| 土地売払収入 | 438,832,743 | 0.3 | 901,776,382 | 0.6 | △462,943,639 | △51.3 |
| その他 | 214,712,782 | 0.2 | 216,798,020 | 0.2 | △2,085,238 | △1.0 |
| 貸付金返還金 | 7,508,216,159 | 5.4 | 7,542,313,399 | 5.4 | △34,097,240 | △0.5 |
| 繰入金 | 3,939,709,271 | 2.8 | 2,894,330,000 | 2.1 | 1,045,379,271 | 36.1 |
| 財政調整基金 | 941,882,000 | 0.7 | — | — | 941,882,000 | 皆増 |
| 公共施設整備等基金 | 657,046,162 | 0.5 | 667,400,000 | 0.5 | △10,353,838 | △1.6 |
| 減債基金 | — | — | 1,597,165,000 | 1.1 | △1,597,165,000 | 皆減 |
| 地域振興基金 | 472,106,000 | 0.3 | 497,000,000 | 0.4 | △24,894,000 | △5.0 |
| その他 | 1,868,675,109 | 1.3 | 132,765,000 | 0.1 | 1,735,910,109 | 激増 |
| 市債 | 11,745,300,000 | 8.4 | 10,037,400,000 | 7.2 | 1,707,900,000 | 17.0 |
| 通常債 | 7,412,900,000 | 5.3 | 5,789,000,000 | 4.1 | 1,623,900,000 | 28.1 |
| 臨時財政対策債 | 4,332,400,000 | 3.1 | 4,248,400,000 | 3.0 | 84,000,000 | 2.0 |
| その他 | 3,374,304,942 | 2.4 | 4,167,457,037 | 3.0 | △793,152,095 | △19.0 |
| 寄付金 | 787,373,129 | 0.6 | 313,178,638 | 0.2 | 474,194,491 | 151.4 |
| 前年度繰越金 | 1,509,982,508 | 1.1 | 2,617,339,322 | 1.9 | △1,107,356,814 | △42.3 |
| 扶助費等充当 | 498,108,719 | 0.4 | 477,972,579 | 0.3 | 20,136,140 | 4.2 |
| 普通建設事業費充当 | 143,497,262 | 0.1 | 66,624,090 | 0.0 | 76,873,172 | 115.4 |
| 職員費振替収入 | 30,100,000 | 0.0 | 29,100,000 | 0.0 | 1,000,000 | 3.4 |
| 臨時事務・行事費充当 | 21,343,776 | 0.0 | 17,514,485 | 0.0 | 3,829,291 | 21.9 |
| その他 | 383,899,548 | 0.3 | 645,727,923 | 0.5 | △261,828,375 | △40.5 |
| 合計 | 139,658,143,494 | 100.0 | 139,526,333,763 | 100.0 | 131,809,731 | 0.1 |

経費別歳入構成の推移



近年における歳入構成は、市税が概ね23～24%程度で推移している。また、地方交付税や市債は減少傾向にある。

a 決算構成

当年度の経費別歳入構成を本市が自主的に収入できる市税等の**自主財源**と国・道の決定により収入される地方交付税等の**依存財源**に分類し前年度と比較すると、次の表のとおりである。

| 区 分 | 平成 2 9 年度 | | 平成 2 8 年度 | | 対前年度比較 | |
|-----------------|---------------------|-----------|---------------------|-----------|-------------------|-----------|
| | 決 算 額 | 構成比率 | 決 算 額 | 構成比率 | 増 減 額 | 増減率 |
| 自 主 財 源 | 円 51,626,271,129 | % 37.0 | 円 51,731,454,642 | % 37.1 | 円 △105,183,513 | % △0.2 |
| 市 税 | 32,208,730,255 | 23.1 | 31,941,605,910 | 22.9 | 267,124,345 | 0.8 |
| 負 担 金 ・ 使 用 料 等 | 3,941,764,977 | 2.8 | 4,067,173,894 | 2.9 | △125,408,917 | △3.1 |
| 財 産 収 入 | 653,545,525 | 0.5 | 1,118,574,402 | 0.8 | △465,028,877 | △41.6 |
| 貸 付 金 返 還 金 | 7,508,216,159 | 5.4 | 7,542,313,399 | 5.4 | △34,097,240 | △0.5 |
| 繰 入 金 | 3,939,709,271 | 2.8 | 2,894,330,000 | 2.1 | 1,045,379,271 | 36.1 |
| そ の 他 | 3,374,304,942 | 2.4 | 4,167,457,037 | 3.0 | △793,152,095 | △19.0 |
| 依 存 財 源 | 88,031,872,365 | 63.0 | 87,794,879,121 | 62.9 | 236,993,244 | 0.3 |
| 譲 与 税 ・ 交 付 金 | 6,593,280,987 | 4.7 | 6,155,130,049 | 4.4 | 438,150,938 | 7.1 |
| 地 方 交 付 税 | 32,950,474,000 | 23.6 | 33,282,046,000 | 23.9 | △331,572,000 | △1.0 |
| 国 道 支 出 金 | 36,742,817,378 | 26.3 | 38,320,303,072 | 27.5 | △1,577,485,694 | △4.1 |
| 市 債 | 11,745,300,000 | 8.4 | 10,037,400,000 | 7.2 | 1,707,900,000 | 17.0 |
| 合 計 | 139,658,143,494 | 100.0 | 139,526,333,763 | 100.0 | 131,809,731 | 0.1 |

自主財源は105,183千円（0.2%）減の51,626,271千円であり、依存財源は236,993千円（0.3%）増の88,031,872千円となっている。

また、構成比率では、自主財源37.0%、依存財源63.0%となり、自主財源は、前年度に比較すると0.1ポイントの減少となっている。

次に、経費別歳入構成を用途が特定されない収入である市税および地方交付税等の**一般財源**と用途が特定される**特定財源**に分類し前年度と比較すると、次の表のとおりである。

| 区 分 | 平成 2 9 年度 | | 平成 2 8 年度 | | 対前年度比較 | |
|--------------|---------------------|-----------|---------------------|-----------|-------------------|-----------|
| | 決 算 額 | 構成比率 | 決 算 額 | 構成比率 | 増 減 額 | 増減率 |
| 一 般 財 源 | 円 82,813,426,616 | % 59.3 | 円 82,971,299,130 | % 59.5 | 円 △157,872,514 | % △0.2 |
| 市 税 | 32,208,730,255 | 23.1 | 31,941,605,910 | 22.9 | 267,124,345 | 0.8 |
| 譲与税・交付金 | 6,593,280,987 | 4.7 | 6,155,130,049 | 4.4 | 438,150,938 | 7.1 |
| 地方交付税 | 32,950,474,000 | 23.6 | 33,282,046,000 | 23.9 | △331,572,000 | △1.0 |
| 負担金・使用料等 | 117,796,743 | 0.1 | 133,107,593 | 0.1 | △15,310,850 | △11.5 |
| 国道支出金 | 558,003,271 | 0.4 | 901,389,327 | 0.6 | △343,386,056 | △38.1 |
| 財産収入 | 609,952,744 | 0.4 | 988,412,234 | 0.7 | △378,459,490 | △38.3 |
| 貸付金返還金 | 112,759,100 | 0.1 | 123,201,150 | 0.1 | △10,442,050 | △8.5 |
| 繰入金 | 3,454,836,835 | 2.5 | 2,275,641,559 | 1.6 | 1,179,195,276 | 51.8 |
| 繰越金(前年度剰余金) | 1,492,590,520 | 1.1 | 2,336,648,764 | 1.7 | △844,058,244 | △36.1 |
| 市債(臨時財政対策債) | 4,332,400,000 | 3.1 | 4,248,400,000 | 3.0 | 84,000,000 | 2.0 |
| その他 | 382,602,161 | 0.3 | 585,716,544 | 0.4 | △203,114,383 | △34.7 |
| 特 定 財 源 | 56,844,716,878 | 40.7 | 56,555,034,633 | 40.5 | 289,682,245 | 0.5 |
| 負担金・使用料等 | 3,823,968,234 | 2.7 | 3,934,066,301 | 2.8 | △110,098,067 | △2.8 |
| 国道支出金 | 36,184,814,107 | 25.9 | 37,418,913,745 | 26.8 | △1,234,099,638 | △3.3 |
| 財産収入 | 43,592,781 | 0.0 | 130,162,168 | 0.1 | △86,569,387 | △66.5 |
| 貸付金返還金 | 7,395,457,059 | 5.3 | 7,419,112,249 | 5.3 | △23,655,190 | △0.3 |
| 繰入金 | 484,872,436 | 0.3 | 618,688,441 | 0.4 | △133,816,005 | △21.6 |
| 繰越金(事業費充当財源) | 17,391,988 | 0.0 | 280,690,558 | 0.2 | △263,298,570 | △93.8 |
| 市 債 | 7,412,900,000 | 5.3 | 5,789,000,000 | 4.1 | 1,623,900,000 | 28.1 |
| その他 | 1,481,720,273 | 1.1 | 964,401,171 | 0.7 | 517,319,102 | 53.6 |
| 合 計 | 139,658,143,494 | 100.0 | 139,526,333,763 | 100.0 | 131,809,731 | 0.1 |

一般財源は157,872千円（0.2%）減の82,813,426千円であり、特定財源は289,682千円（0.5%）増の56,844,716千円となっている。

また、構成比率では、一般財源59.3%、特定財源40.7%となり、一般財源は、前年度に比較すると0.2ポイントの減少となっている。

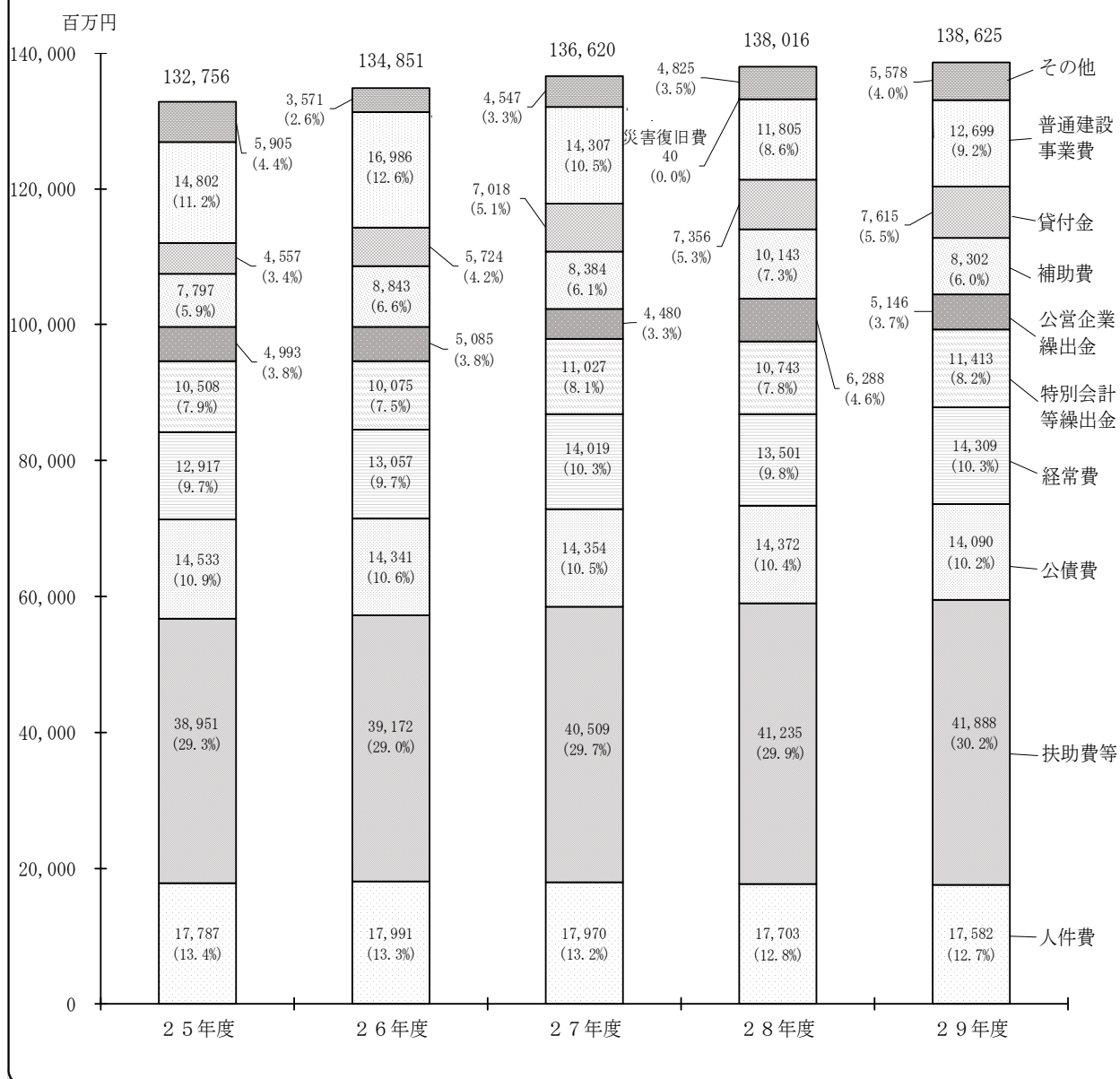
(イ) 歳 出

当年度の歳出の決算状況を**経費別**に前年度と比較すると、次の表のとおりである。

なお、歳出の各款別の決算状況については、37ページ以降の歳出（款別）を参照されたい。

| 区 分 | 平成29年度 | | 平成28年度 | | 対前年度比較 | |
|-----------------------------|-----------------|-------|-----------------|-------|----------------|-------|
| | 決 算 額 | 構成比率 | 決 算 額 | 構成比率 | 増 減 額 | 増減率 |
| 人 件 費 | 17,582,030,423 | 12.7 | 17,703,472,324 | 12.8 | △121,441,901 | △0.7 |
| 報 酬 等 | 1,559,555,397 | 1.1 | 1,506,529,984 | 1.1 | 53,025,413 | 3.5 |
| 職 員 給 与 費 | 14,399,347,933 | 10.4 | 14,489,096,990 | 10.5 | △89,749,057 | △0.6 |
| 恩 給 ・ 退 職 手 当 | 1,453,041,049 | 1.0 | 1,387,774,229 | 1.0 | 65,266,820 | 4.7 |
| 退 職 手 当 (応 募 認 定) | 170,086,044 | 0.1 | 320,071,121 | 0.2 | △149,985,077 | △46.9 |
| 扶 助 費 等 | 41,888,700,625 | 30.2 | 41,235,542,879 | 29.9 | 653,157,746 | 1.6 |
| 障 害 者 福 祉 | 7,563,461,720 | 5.5 | 7,140,042,392 | 5.2 | 423,419,328 | 5.9 |
| 老 人 保 護 | 574,286,280 | 0.4 | 573,111,598 | 0.4 | 1,174,682 | 0.2 |
| 児 童 福 祉 | 11,005,353,990 | 7.9 | 10,631,802,896 | 7.7 | 373,551,094 | 3.5 |
| 生 活 保 護 | 20,854,177,822 | 15.0 | 20,945,432,112 | 15.2 | △91,254,290 | △0.4 |
| 医 療 助 成 | 1,270,198,294 | 0.9 | 1,323,866,354 | 1.0 | △53,668,060 | △4.1 |
| 義 務 教 育 扶 助 | 384,153,908 | 0.3 | 364,019,234 | 0.3 | 20,134,674 | 5.5 |
| そ の 他 | 237,068,611 | 0.2 | 257,268,293 | 0.2 | △20,199,682 | △7.9 |
| 公 債 費 | 14,090,056,211 | 10.2 | 14,372,585,092 | 10.4 | △282,528,881 | △2.0 |
| 通 常 分 | 14,034,841,211 | 10.1 | 14,196,536,421 | 10.3 | △161,695,210 | △1.1 |
| 繰 上 償 還 分 | 55,215,000 | 0.0 | 176,048,671 | 0.1 | △120,833,671 | △68.6 |
| 経 常 費 | 14,309,370,575 | 10.3 | 13,501,750,979 | 9.8 | 807,619,596 | 6.0 |
| 一 般 経 常 費 | 3,413,320,311 | 2.5 | 3,396,396,345 | 2.5 | 16,923,966 | 0.5 |
| 維 持 補 修 費 | 3,216,865,115 | 2.3 | 2,622,694,345 | 1.9 | 594,170,770 | 22.7 |
| 委 託 料 | 7,679,185,149 | 5.5 | 7,482,660,289 | 5.4 | 196,524,860 | 2.6 |
| 特 別 会 計 等 繰 出 金 | 11,413,066,116 | 8.2 | 10,743,486,676 | 7.8 | 669,579,440 | 6.2 |
| 港 湾 事 業 | 1,891,550,000 | 1.4 | 2,063,092,000 | 1.5 | △171,542,000 | △8.3 |
| 国 民 健 康 保 険 事 業 | 3,900,029,000 | 2.8 | 3,347,276,372 | 2.4 | 552,752,628 | 16.5 |
| 地 方 卸 売 市 場 事 業 | 185,362,000 | 0.1 | 156,448,000 | 0.1 | 28,914,000 | 18.5 |
| 介 護 保 険 事 業 | 4,091,879,000 | 3.0 | 3,913,036,000 | 2.8 | 178,843,000 | 4.6 |
| 母 子 父 子 寡 婦 福 祉 資 金 貸 付 事 業 | 1,350,000 | 0.0 | 1,300,000 | 0.0 | 50,000 | 3.8 |
| 後 期 高 齢 者 医 療 事 業 | 1,074,029,000 | 0.8 | 1,022,861,000 | 0.7 | 51,168,000 | 5.0 |
| 地 域 振 興 基 金 | 268,867,116 | 0.2 | 239,473,304 | 0.2 | 29,393,812 | 12.3 |
| 公 営 企 業 繰 出 金 | 5,146,570,529 | 3.7 | 6,288,127,671 | 4.6 | △1,141,557,142 | △18.2 |
| 水 道 事 業 | 107,494,725 | 0.1 | 128,485,364 | 0.1 | △20,990,639 | △16.3 |
| 公 共 下 水 道 事 業 | 1,710,732,493 | 1.2 | 1,667,655,770 | 1.2 | 43,076,723 | 2.6 |
| 交 通 事 業 | 383,527,206 | 0.3 | 318,351,649 | 0.2 | 65,175,557 | 20.5 |
| 病 院 事 業 | 2,944,816,105 | 2.1 | 4,173,634,888 | 3.0 | △1,228,818,783 | △29.4 |
| 補 助 費 等 | 8,302,063,447 | 6.0 | 10,143,477,230 | 7.3 | △1,841,413,783 | △18.2 |
| 広 域 連 合 負 担 金 (大 学 分) | 1,877,220,000 | 1.4 | 1,812,876,000 | 1.3 | 64,344,000 | 3.5 |
| そ の 他 | 6,424,843,447 | 4.6 | 8,330,601,230 | 6.0 | △1,905,757,783 | △22.9 |
| 貸 付 金 | 7,615,297,059 | 5.5 | 7,356,001,249 | 5.3 | 259,295,810 | 3.5 |
| 普 通 建 設 事 業 費 | 12,699,974,338 | 9.2 | 11,805,704,189 | 8.6 | 894,270,149 | 7.6 |
| 災 害 復 旧 費 | — | — | 40,809,441 | 0.0 | △40,809,441 | 皆減 |
| そ の 他 | 5,578,476,329 | 4.0 | 4,825,393,525 | 3.5 | 753,082,804 | 15.6 |
| 職 員 給 与 費 負 担 金 | 30,100,000 | 0.0 | 29,100,000 | 0.0 | 1,000,000 | 3.4 |
| 積 立 金 ・ 出 資 金 | 3,051,864,511 | 2.2 | 2,049,443,049 | 1.5 | 1,002,421,462 | 48.9 |
| 臨 時 事 務 ・ 行 事 費 | 2,496,511,818 | 1.8 | 2,746,850,476 | 2.0 | △250,338,658 | △9.1 |
| 合 計 | 138,625,605,652 | 100.0 | 138,016,351,255 | 100.0 | 609,254,397 | 0.4 |

経費別歳出構成の推移



近年における歳出構成は、普通建設事業費については、当年度は増加したものの総体的には減少傾向にある一方、経常費や社会保障経費などの扶助費については、額・割合ともに増加傾向にある。

a 決算構成

当年度の経費別歳出構成を人件費等の**消費的経費**、普通建設事業費等の**投資的経費**および公債費等の**その他経費**に分類し前年度と比較すると、次の表のとおりである。

| 区 分 | 平成 2 9 年度 | | 平成 2 8 年度 | | 対前年度比較 | |
|-----------|-----------------|-------|-----------------|-------|----------------|-------|
| | 決 算 額 | 構成比率 | 決 算 額 | 構成比率 | 増 減 額 | 増減率 |
| | 円 | % | 円 | % | 円 | % |
| 消 費 的 経 費 | 84,608,776,888 | 61.0 | 85,360,193,888 | 61.8 | △751,417,000 | △0.9 |
| 人 件 費 | 17,582,030,423 | 12.7 | 17,703,472,324 | 12.8 | △121,441,901 | △0.7 |
| 扶 助 費 等 | 41,888,700,625 | 30.2 | 41,235,542,879 | 29.9 | 653,157,746 | 1.6 |
| 経 常 費 | 14,309,370,575 | 10.3 | 13,501,750,979 | 9.8 | 807,619,596 | 6.0 |
| 補 助 費 等 | 8,302,063,447 | 6.0 | 10,143,477,230 | 7.3 | △1,841,413,783 | △18.2 |
| 職員給与費負担金 | 30,100,000 | 0.0 | 29,100,000 | 0.0 | 1,000,000 | 3.4 |
| 臨時事務・行事費 | 2,496,511,818 | 1.8 | 2,746,850,476 | 2.0 | △250,338,658 | △9.1 |
| 投 資 的 経 費 | 12,699,974,338 | 9.2 | 11,846,513,630 | 8.6 | 853,460,708 | 7.2 |
| 普通建設事業費 | 12,699,974,338 | 9.2 | 11,805,704,189 | 8.6 | 894,270,149 | 7.6 |
| 災害復旧費 | — | — | 40,809,441 | 0.0 | △40,809,441 | 皆減 |
| そ の 他 経 費 | 41,316,854,426 | 29.8 | 40,809,643,737 | 29.6 | 507,210,689 | 1.2 |
| 公 債 費 | 14,090,056,211 | 10.2 | 14,372,585,092 | 10.4 | △282,528,881 | △2.0 |
| 特別会計等繰出金 | 11,413,066,116 | 8.2 | 10,743,486,676 | 7.8 | 669,579,440 | 6.2 |
| 公営企業繰出金 | 5,146,570,529 | 3.7 | 6,288,127,671 | 4.6 | △1,141,557,142 | △18.2 |
| 積立金・出資金 | 3,051,864,511 | 2.2 | 2,049,443,049 | 1.5 | 1,002,421,462 | 48.9 |
| 貸 付 金 | 7,615,297,059 | 5.5 | 7,356,001,249 | 5.3 | 259,295,810 | 3.5 |
| 合 計 | 138,625,605,652 | 100.0 | 138,016,351,255 | 100.0 | 609,254,397 | 0.4 |

消費的経費は751,417千円（0.9%）減の84,608,776千円、投資的経費は853,460千円（7.2%）増の12,699,974千円、その他経費は507,210千円（1.2%）増の41,316,854千円となっている。

また、構成比率では、消費的経費61.0%、投資的経費9.2%、その他経費29.8%となり、これを前年度と比較すると消費的経費は0.8ポイントの減少、投資的経費は0.6ポイントの増加、その他経費は0.2ポイントの増加となっている。

次に、経費別歳出構成を毎年度支出が義務付けられる経費である人件費等の**義務的経費**と毎年度支出が義務付けられない**その他経費**に分類し前年度と比較すると、次の表のとおりである。

| 区 分 | 平成 2 9 年度 | | 平成 2 8 年度 | | 対前年度比較 | |
|-----------|-----------------|-------|-----------------|-------|--------------|------|
| | 決 算 額 | 構成比率 | 決 算 額 | 構成比率 | 増 減 額 | 増減率 |
| | 円 | % | 円 | % | 円 | % |
| 義 務 的 経 費 | 73,560,787,259 | 53.1 | 73,311,600,295 | 53.1 | 249,186,964 | 0.3 |
| 人 件 費 | 17,582,030,423 | 12.7 | 17,703,472,324 | 12.8 | △121,441,901 | △0.7 |
| 扶 助 費 等 | 41,888,700,625 | 30.2 | 41,235,542,879 | 29.9 | 653,157,746 | 1.6 |
| 公 債 費 | 14,090,056,211 | 10.2 | 14,372,585,092 | 10.4 | △282,528,881 | △2.0 |
| そ の 他 経 費 | 65,064,818,393 | 46.9 | 64,704,750,960 | 46.9 | 360,067,433 | 0.6 |
| 合 計 | 138,625,605,652 | 100.0 | 138,016,351,255 | 100.0 | 609,254,397 | 0.4 |

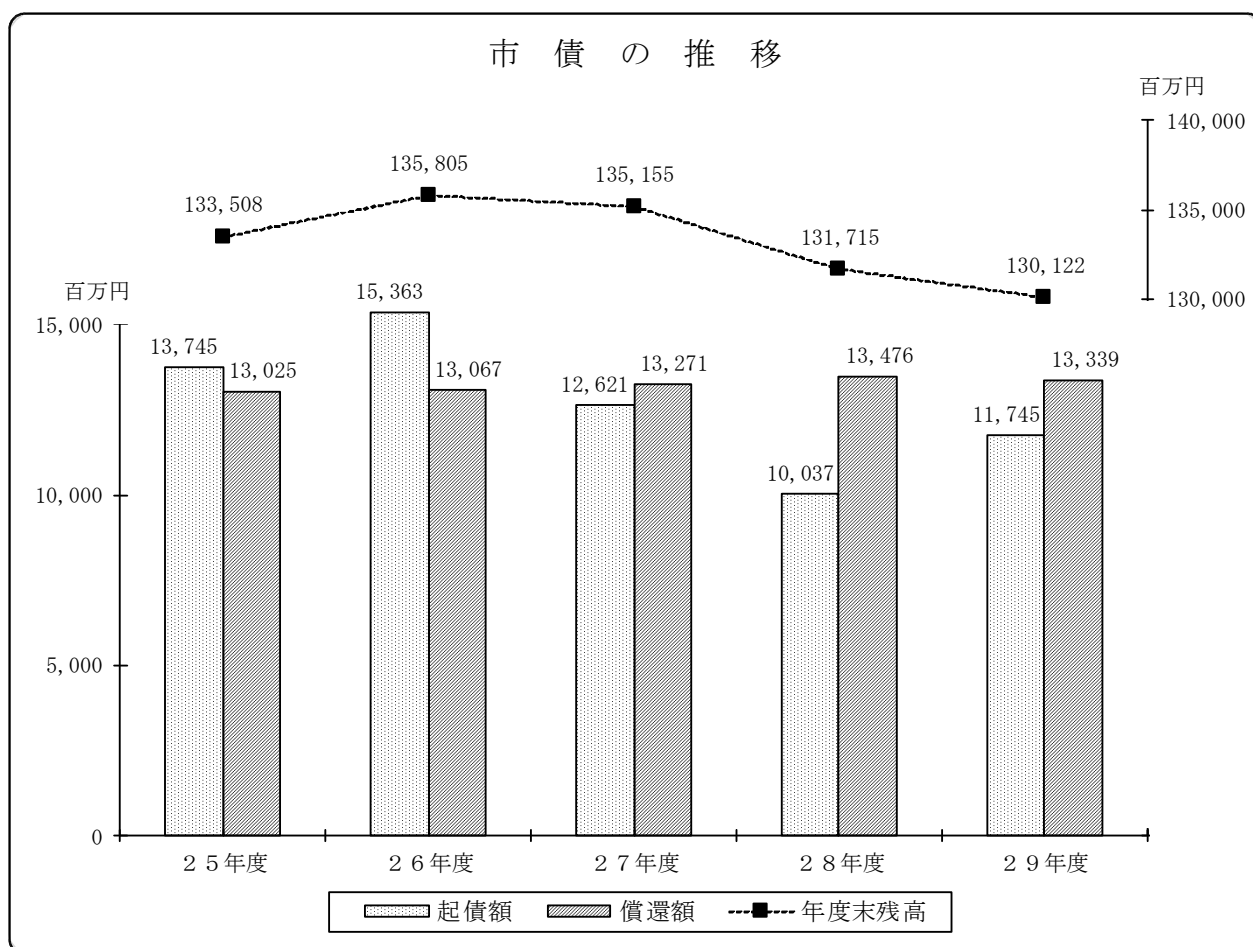
義務的経費は249,186千円（0.3%）増の73,560,787千円、その他経費は360,067千円（0.6%）増の65,064,818千円となっている。

また、構成比率では、義務的経費53.1%、その他経費46.9%となり、いずれも前年度と同率となっている。

オ 市債残高の状況

| 平成 2 9 年 度 | | | 平成 2 8 年 度 | | | 対 前 年 度 比 較 | | |
|------------|------------|-------------|------------|------------|-------------|-------------|----------|------------|
| 起 債 額 | 償 還 額 | 年度末残高 | 起 債 額 | 償 還 額 | 年度末残高 | 起 債 額 | 償 還 額 | 年度末残高 |
| 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 11,745,300 | 13,339,250 | 130,122,003 | 10,037,400 | 13,476,581 | 131,715,953 | 1,707,900 | △137,330 | △1,593,950 |

市債残高の状況は、当年度の起債額11,745,300千円、償還額13,339,250千円であったことから、前年度末残高131,715,953千円と比較すると1,593,950千円減少し、当年度末残高は130,122,003千円となっている。



歳 入（款別）

（2）歳 入（款 別）

歳入の款別決算状況は次のとおりである。

第1款 市 税

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|-------------|----------------|----------------|----------------|------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 29年度 | 31,930,000,000 | 33,408,341,229 | 32,208,730,255 | 100.9 | 96.4 | 252,459,731 | 947,151,243 |
| 28年度 | 31,547,000,000 | 33,423,910,034 | 31,941,605,910 | 101.3 | 95.6 | 300,627,265 | 1,181,676,859 |
| 対前年度 増減額 | 383,000,000 | △15,568,805 | 267,124,345 | | | △48,167,534 | △234,525,616 |
| 増減率 | 1.2% | △0.0% | 0.8% | | | △16.0% | △19.8% |

当年度の収入済額は32,208,730千円であり、予算現額に対する執行率は100.9%（前年度101.3%）、調定額に対する収入率は96.4%（前年度95.6%）となっているが、その内訳は次の表のとおりである。

| 科 目 | 平 成 2 9 年 度 | | | | | |
|---------------|----------------|----------------|----------------|---------------|----------------|-----------------------|
| | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 収入率 D(C/B) | 不 納 欠 損 額 E | 収 入 未 済 額 F(B-C-E) |
| | 円 | 円 | 円 | % | 円 | 円 |
| 市 民 税 | 13,743,367,000 | 14,569,509,082 | 13,993,407,040 | 96.0 | 83,578,737 | 492,523,305 |
| 個 人 | 11,336,139,000 | 11,963,143,323 | 11,411,575,601 | 95.4 | 77,871,501 | 473,696,221 |
| 現年課税分 | 11,177,594,000 | 11,391,019,167 | 11,249,335,104 | 98.8 | 987,464 | 140,696,599 |
| 滞納繰越分 | 158,545,000 | 572,124,156 | 162,240,497 | 28.4 | 76,884,037 | 332,999,622 |
| 法 人 | 2,407,228,000 | 2,606,365,759 | 2,581,831,439 | 99.1 | 5,707,236 | 18,827,084 |
| 現年課税分 | 2,399,454,000 | 2,581,746,100 | 2,572,872,989 | 99.7 | 143,657 | 8,729,454 |
| 滞納繰越分 | 7,774,000 | 24,619,659 | 8,958,450 | 36.4 | 5,563,579 | 10,097,630 |
| 固 定 資 産 税 | 12,626,416,000 | 13,144,948,904 | 12,651,347,007 | 96.2 | 135,948,344 | 357,653,553 |
| 現年課税分 | 12,521,652,000 | 12,685,456,000 | 12,552,768,028 | 99.0 | 36,315,843 | 96,372,129 |
| 滞納繰越分 | 104,764,000 | 459,492,904 | 98,578,979 | 21.5 | 99,632,501 | 261,281,424 |
| 軽 自 動 車 税 | 541,178,000 | 558,721,636 | 542,057,535 | 97.0 | 2,588,424 | 14,075,677 |
| 現年課税分 | 536,412,000 | 543,732,300 | 537,479,689 | 98.9 | 141,469 | 6,111,142 |
| 滞納繰越分 | 4,766,000 | 14,989,336 | 4,577,846 | 30.5 | 2,446,955 | 7,964,535 |
| た ば こ 税(現) | 2,402,144,000 | 2,391,575,798 | 2,391,575,798 | 100.0 | — | 0 |
| 鈷 産 税(現) | 1,000 | — | — | — | — | — |
| 特 別 土 地 保 有 税 | 1,200,000 | 4,445,100 | 1,200,000 | 27.0 | — | 3,245,100 |
| 現年課税分 | — | — | — | — | — | — |
| 滞納繰越分 | 1,200,000 | 4,445,100 | 1,200,000 | 27.0 | — | 3,245,100 |
| 入 湯 税(現) | 207,785,000 | 215,424,270 | 215,424,270 | 100.0 | — | 0 |
| 都 市 計 画 税 | 2,407,909,000 | 2,523,716,439 | 2,413,718,605 | 95.6 | 30,344,226 | 79,653,608 |
| 現年課税分 | 2,384,561,000 | 2,421,314,100 | 2,391,922,598 | 98.8 | 8,099,603 | 21,291,899 |
| 滞納繰越分 | 23,348,000 | 102,402,339 | 21,796,007 | 21.3 | 22,244,623 | 58,361,709 |
| 合 計 | 31,930,000,000 | 33,408,341,229 | 32,208,730,255 | 96.4 | 252,459,731 | 947,151,243 |
| 現年課税分 | 31,629,603,000 | 32,230,267,735 | 31,911,378,476 | 99.0 | 45,688,036 | 273,201,223 |
| 滞納繰越分 | 300,397,000 | 1,178,073,494 | 297,351,779 | 25.2 | 206,771,695 | 673,950,020 |

歳 入（款別）

収入済額を前年度に比較すると267,124千円（0.8%）の増加となっているが、これは、たばこ税において売渡本数の減少により110,657千円の減となったものの、市民税において給与所得の増などにより280,760千円、固定資産税、都市計画税において家屋の新增築などにより89,769千円の増となったことなどによるものである。

また、収入率は前年度までの「行財政改革プラン2012」および後継計画である「行財政改革推進プラン」に基づく未収金対策の強化により、前年度に比較し滞納繰越分で0.2ポイント低下したものの、現年課税分で0.1ポイント、全体で0.8ポイント上昇している。

不納欠損額は252,459千円であり、これは、市民税83,578千円、固定資産税135,948千円などによるものであるが、前年度に比較すると48,167千円（16.0%）の減少となっている。

収入未済額は947,151千円であり、これは、市民税492,523千円、固定資産税357,653千円、都市計画税79,653千円などによるものであるが、前年度に比較すると234,525千円（19.8%）の減少となっている。

| 平成28年度 | | 収入済額対前年度比較 | | |
|----------------|-------|--------------|-------|-------|
| 収入済額 | 収入率 | 増減額 | 増減率 | 収入率 |
| G | H | I (C-G) | I/G | D-H |
| 円 | % | 円 | % | ポイント |
| 13,712,646,793 | 95.2 | 280,760,247 | 2.0 | 0.8 |
| 11,200,792,506 | 94.4 | 210,783,095 | 1.9 | 1.0 |
| 11,004,965,438 | 98.6 | 244,369,666 | 2.2 | 0.2 |
| 195,827,068 | 27.7 | △33,586,571 | △17.2 | 0.7 |
| 2,511,854,287 | 98.7 | 69,977,152 | 2.8 | 0.4 |
| 2,502,962,874 | 99.5 | 69,910,115 | 2.8 | 0.2 |
| 8,891,413 | 31.5 | 67,037 | 0.8 | 4.9 |
| 12,569,409,701 | 95.3 | 81,937,306 | 0.7 | 0.9 |
| 12,428,934,789 | 98.8 | 123,833,239 | 1.0 | 0.2 |
| 140,474,912 | 22.8 | △41,895,933 | △29.8 | △1.3 |
| 523,535,096 | 96.6 | 18,522,439 | 3.5 | 0.4 |
| 518,129,105 | 98.7 | 19,350,584 | 3.7 | 0.2 |
| 5,405,991 | 31.4 | △828,145 | △15.3 | △0.9 |
| 2,502,233,278 | 100.0 | △110,657,480 | △4.4 | 0.0 |
| — | — | — | — | — |
| 3,285,300 | 42.5 | △2,085,300 | △63.5 | △15.5 |
| 2,165,300 | 35.1 | △2,165,300 | 皆減 | 皆減 |
| 1,120,000 | 71.9 | 80,000 | 7.1 | △44.9 |
| 224,609,700 | 100.0 | △9,185,430 | △4.1 | 0.0 |
| 2,405,886,042 | 94.5 | 7,832,563 | 0.3 | 1.1 |
| 2,374,574,594 | 98.6 | 17,348,004 | 0.7 | 0.2 |
| 31,311,448 | 22.8 | △9,515,441 | △30.4 | △1.5 |
| 31,941,605,910 | 95.6 | 267,124,345 | 0.8 | 0.8 |
| 31,558,575,078 | 98.9 | 352,803,398 | 1.1 | 0.1 |
| 383,030,832 | 25.4 | △85,679,053 | △22.4 | △0.2 |

第2款 地方譲与税

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|------|--------------|-------------|--------------|------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 29年度 | 723,200,000 | 727,705,187 | 727,705,187 | 100.6 | 100.0 | — | 0 |
| 28年度 | 793,400,000 | 732,021,729 | 732,021,729 | 92.3 | 100.0 | — | 0 |
| 対前年度 | 増減額 | △70,200,000 | △4,316,542 | △4,316,542 | | — | 0 |
| | 増減率 | △8.8% | △0.6% | △0.6% | | — | — |

当年度の収入済額は727,705千円であり、予算現額に対する執行率は100.6%（前年度92.3%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。また、前年度に比較すると4,316千円（0.6%）の減少となっている。

第3款 利子割交付金

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|------|--------------|-------------|--------------|------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 29年度 | 24,000,000 | 52,994,000 | 52,994,000 | 220.8 | 100.0 | — | 0 |
| 28年度 | 69,000,000 | 30,250,000 | 30,250,000 | 43.8 | 100.0 | — | 0 |
| 対前年度 | 増減額 | △45,000,000 | 22,744,000 | 22,744,000 | | — | 0 |
| | 増減率 | △65.2% | 75.2% | 75.2% | | — | — |

当年度の収入済額は52,994千円であり、予算現額に対する執行率は220.8%（前年度43.8%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。また、前年度に比較すると22,744千円（75.2%）の増加となっている。

第4款 配当割交付金

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|------|--------------|------------|--------------|------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 29年度 | 97,000,000 | 75,117,000 | 75,117,000 | 77.4 | 100.0 | — | 0 |
| 28年度 | 97,000,000 | 56,066,000 | 56,066,000 | 57.8 | 100.0 | — | 0 |
| 対前年度 | 増減額 | 0 | 19,051,000 | / | / | — | 0 |
| | 増減率 | 0.0% | 34.0% | / | / | — | — |

当年度の収入済額は75,117千円であり、予算現額に対する執行率は77.4%（前年度57.8%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。また、前年度に比較すると19,051千円（34.0%）の増加となっている。

第5款 株式等譲渡所得割交付金

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|------|--------------|------------|--------------|------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 29年度 | 69,000,000 | 75,808,000 | 75,808,000 | 109.9 | 100.0 | — | 0 |
| 28年度 | 69,000,000 | 33,689,000 | 33,689,000 | 48.8 | 100.0 | — | 0 |
| 対前年度 | 増減額 | 0 | 42,119,000 | / | / | — | 0 |
| | 増減率 | 0.0% | 125.0% | / | / | — | — |

当年度の収入済額は75,808千円であり、予算現額に対する執行率は109.9%（前年度48.8%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。また、前年度に比較すると42,119千円（125.0%）の増加となっている。

第6款 地方消費税交付金

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|------|---------------|---------------|---------------|------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 29年度 | 5,200,600,000 | 5,308,151,000 | 5,308,151,000 | 102.1 | 100.0 | — | 0 |
| 28年度 | 5,593,000,000 | 5,008,640,000 | 5,008,640,000 | 89.6 | 100.0 | — | 0 |
| 対前年度 | 増減額 | △392,400,000 | 299,511,000 | | | — | 0 |
| | 増減率 | △7.0% | 6.0% | | | — | — |

当年度の収入済額は5,308,151千円であり、予算現額に対する執行率は102.1%（前年度89.6%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。また、前年度に比較すると299,511千円（6.0%）の増加となっている。

第7款 ゴルフ場利用税交付金

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|------|--------------|------------|--------------|------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 29年度 | 14,000,000 | 13,029,800 | 13,029,800 | 93.1 | 100.0 | — | 0 |
| 28年度 | 14,000,000 | 14,026,320 | 14,026,320 | 100.2 | 100.0 | — | 0 |
| 対前年度 | 増減額 | 0 | △996,520 | | | — | 0 |
| | 増減率 | 0.0% | △7.1% | | | — | — |

当年度の収入済額は13,029千円であり、予算現額に対する執行率は93.1%（前年度100.2%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。また、前年度に比較すると996千円（7.1%）の減少となっている。

第 8 款 自動車取得税交付金

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|------------------|--------------|-------------|--------------|------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 2 9 年 度 | 143,300,000 | 172,195,000 | 172,195,000 | 120.2 | 100.0 | — | 0 |
| 2 8 年 度 | 94,300,000 | 117,796,000 | 117,796,000 | 124.9 | 100.0 | — | 0 |
| 対 前 年 度 | 増 減 額 | 49,000,000 | 54,399,000 | / | / | — | 0 |
| | 増 減 率 | 52.0% | 46.2% | 46.2% | / | — | — |

当年度の収入済額は172,195千円であり、予算現額に対する執行率は120.2%（前年度124.9%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。また、前年度に比較すると54,399千円（46.2%）の増加となっている。

第 9 款 国有提供施設等所在市町村助成交付金

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D | |
|------------------|--------------|------------|--------------|------------|------------|----------------|--------------------|---|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 | |
| 2 9 年 度 | 2,200,000 | 2,197,000 | 2,197,000 | 99.9 | 100.0 | — | 0 | |
| 2 8 年 度 | 2,400,000 | 2,523,000 | 2,523,000 | 105.1 | 100.0 | — | 0 | |
| 対 前 年 度 | 増 減 額 | △200,000 | △326,000 | △326,000 | / | / | — | 0 |
| | 増 減 率 | △8.3% | △12.9% | △12.9% | / | / | — | — |

当年度の収入済額は2,197千円であり、予算現額に対する執行率は99.9%（前年度105.1%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。また、前年度に比較すると326千円（12.9%）の減少となっている。

第10款 地方特例交付金

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|------|--------------|-------------|--------------|------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 29年度 | 119,600,000 | 118,594,000 | 118,594,000 | 99.2 | 100.0 | — | 0 |
| 28年度 | 109,800,000 | 111,031,000 | 111,031,000 | 101.1 | 100.0 | — | 0 |
| 対前年度 | 増減額 | 9,800,000 | 7,563,000 | | | — | 0 |
| | 増減率 | 8.9% | 6.8% | | | — | — |

当年度の収入済額は118,594千円であり、予算現額に対する執行率は99.2%（前年度101.1%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。また、前年度に比較すると7,563千円（6.8%）の増加となっている。

第11款 地方交付税

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|------|----------------|----------------|----------------|------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 29年度 | 32,856,000,000 | 32,950,474,000 | 32,950,474,000 | 100.3 | 100.0 | — | 0 |
| 28年度 | 33,488,000,000 | 33,282,046,000 | 33,282,046,000 | 99.4 | 100.0 | — | 0 |
| 対前年度 | 増減額 | △632,000,000 | △331,572,000 | | | — | 0 |
| | 増減率 | △1.9% | △1.0% | | | — | — |

当年度の収入済額は32,950,474千円であり、予算現額に対する執行率は100.3%（前年度99.4%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。また、前年度に比較すると331,572千円（1.0%）の減少となっているが、これは、特別交付税74,048千円の増があったものの、普通交付税において、生活保護費の減など基準財政需要額の減額などにより405,620千円の減があったためである。

第12款 交通安全対策特別交付金

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|------|--------------|------------|--------------|------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 29年度 | 47,900,000 | 47,490,000 | 47,490,000 | 99.1 | 100.0 | — | 0 |
| 28年度 | 47,400,000 | 49,087,000 | 49,087,000 | 103.6 | 100.0 | — | 0 |
| 対前年度 | 増減額 | △1,597,000 | △1,597,000 | / | / | — | 0 |
| | 増減率 | 1.1% | △3.3% | / | / | — | — |

当年度の収入済額は47,490千円であり、予算現額に対する執行率は99.1%（前年度103.6%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。また、前年度に比較すると1,597千円（3.3%）の減少となっている。

第13款 分担金及び負担金

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|------|--------------|--------------|--------------|------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 29年度 | 365,594,000 | 479,058,211 | 368,778,675 | 100.9 | 77.0 | 5,826,980 | 104,452,556 |
| 28年度 | 517,885,000 | 657,944,826 | 528,789,387 | 102.1 | 80.4 | 8,114,899 | 121,040,540 |
| 対前年度 | 増減額 | △152,291,000 | △160,010,712 | / | / | △2,287,919 | △16,587,984 |
| | 増減率 | △29.4% | △30.3% | / | / | △28.2% | △13.7% |

当年度の収入済額は368,778千円であり、予算現額に対する執行率は100.9%（前年度102.1%）、調定額に対する収入率は77.0%（前年度80.4%）となっている。また、前年度に比較すると160,010千円（30.3%）の減少となっているが、これは、認定こども園への移行に伴う保育所入所負担金の減など民生費負担金160,307千円の減などによるものである。

不納欠損額は5,826千円であり、これは、保育所入所負担金分である民生費負担金によるものであるが、前年度に比較すると2,287千円（28.2%）の減少となっている。

収入未済額は104,452千円であり、これは、保育所入所負担金など民生費負担金によるものであるが、前年度に比較すると16,587千円（13.7%）の減少となっている。

第14款 使用料及び手数料

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|-------------|---------------|---------------|---------------|------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 29年度 | 3,632,738,000 | 3,632,228,591 | 3,572,986,302 | 98.4 | 98.4 | 2,326,821 | 56,915,468 |
| 28年度 | 3,545,839,000 | 3,601,638,743 | 3,538,384,507 | 99.8 | 98.2 | 2,707,506 | 60,546,730 |
| 対前年度 増減額 | 86,899,000 | 30,589,848 | 34,601,795 | / | / | △380,685 | △3,631,262 |
| 増減率 | 2.5% | 0.8% | 1.0% | / | / | △14.1% | △6.0% |

当年度の収入済額は3,572,986千円であり、予算現額に対する執行率は98.4%（前年度99.8%）、調定額に対する収入率は98.4%（前年度98.2%）となっている。また、前年度に比較すると34,601千円（1.0%）の増加となっている。

不納欠損額は2,326千円であり、これは、清掃手数料分である衛生手数料1,658千円などによるものであるが、前年度に比較すると380千円（14.1%）の減少となっている。

収入未済額は56,915千円であり、これは、保育所保育料など民生使用料4,347千円、市営住宅使用料など土木使用料37,428千円、清掃手数料分である衛生手数料12,859千円などによるものであるが、前年度に比較すると3,631千円（6.0%）の減少となっている。

第15款 国庫支出金

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|-------------|----------------|----------------|----------------|------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 29年度 | 29,109,520,084 | 29,130,699,858 | 29,130,699,858 | 100.1 | 100.0 | — | 0 |
| 28年度 | 32,566,066,634 | 31,531,096,897 | 31,531,096,897 | 96.8 | 100.0 | — | 0 |
| 対前年度 増減額 | △3,456,546,550 | △2,400,397,039 | △2,400,397,039 | / | / | — | 0 |
| 増減率 | △10.6% | △7.6% | △7.6% | / | / | — | — |

当年度の収入済額は29,130,699千円であり、予算現額に対する執行率は100.1%（前年度96.8%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。また、前年度に比較すると2,400,397千円（7.6%）の減少となっているが、これは、義務教育施設費負担金分である教育費負担金392,010千円、公立学校建物大規模改造事業費補助金の皆増など教育費補助金416,418千円などの増があったものの、地方創生加速化交付金の皆減など総務費補助金136,548千円、年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業費補助金の皆減など民生費補助金2,373,526千円、中心市街地活性化整備費補助金など商工費補助金418,273千円、市街地再開発事業費補助金の皆減など土木費補助金215,541千円などの減があったためである。

第16款 道 支 出 金

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|------|---------------|---------------|---------------|------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 29年度 | 7,757,167,000 | 7,612,117,520 | 7,612,117,520 | 98.1 | 100.0 | — | 0 |
| 28年度 | 6,884,519,000 | 6,789,206,175 | 6,789,206,175 | 98.6 | 100.0 | — | 0 |
| 対前年度 | 増減額 | 872,648,000 | 822,911,345 | | | — | 0 |
| | 増減率 | 12.7% | 12.1% | | | — | — |

当年度の収入済額は7,612,117千円であり、予算現額に対する執行率は98.1%（前年度98.6%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。また、前年度に比較すると822,911千円（12.1%）の増加となっているが、これは、子ども・子育て支援給付費負担金など民生費負担金157,007千円、地域密着型サービス拠点整備費等補助金など民生費補助金309,918千円、住宅・建築物安全対策支援事業費補助金など土木費補助金322,222千円の増などによるものである。

第17款 財 産 収 入

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|------|---------------|---------------|---------------|------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 29年度 | 643,784,000 | 663,438,735 | 653,545,525 | 101.5 | 98.5 | 214,080 | 9,679,130 |
| 28年度 | 1,099,732,000 | 1,129,296,383 | 1,118,574,402 | 101.7 | 99.1 | — | 10,721,981 |
| 対前年度 | 増減額 | △455,948,000 | △465,857,648 | | | 214,080 | △1,042,851 |
| | 増減率 | △41.5% | △41.3% | | | 皆増 | △9.7% |

当年度の収入済額は653,545千円であり、予算現額に対する執行率は101.5%（前年度101.7%）、調定額に対する収入率は98.5%（前年度99.1%）となっている。また、前年度に比較すると465,028千円（41.6%）の減少となっているが、これは、不動産売払収入451,421千円の減などによるものである。

不納欠損額は214千円であり、これは、財産貸付収入によるものであるが、前年度に比較すると皆増となっている。

収入未済額は9,679千円であり、これは、財産貸付収入によるものであるが、前年度に比較すると1,042千円（9.7%）の減少となっている。

第18款 寄 付 金

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|------|--------------|-------------|--------------|------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 29年度 | 983,769,000 | 787,373,129 | 787,373,129 | 80.0 | 100.0 | — | 0 |
| 28年度 | 311,401,000 | 313,178,638 | 313,178,638 | 100.6 | 100.0 | — | 0 |
| 対前年度 | 増減額 | 672,368,000 | 474,194,491 | | | — | 0 |
| | 増減率 | 215.9% | 151.4% | | | — | — |

当年度の収入済額は787,373千円であり、予算現額に対する執行率は80.0%（前年度100.6%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。また、前年度に比較すると474,194千円（151.4%）の増加となっているが、これは、ふるさと納税における使途未指定分など一般寄付金58,259千円、ふるさと納税における使途指定分や観光振興基金分など指定寄付金415,935千円の増によるものである。

第19款 繰 入 金

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|------|---------------|---------------|---------------|------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 29年度 | 5,077,191,000 | 3,939,709,271 | 3,939,709,271 | 77.6 | 100.0 | — | 0 |
| 28年度 | 2,902,430,000 | 2,894,330,000 | 2,894,330,000 | 99.7 | 100.0 | — | 0 |
| 対前年度 | 増減額 | 2,174,761,000 | 1,045,379,271 | | | — | 0 |
| | 増減率 | 74.9% | 36.1% | | | — | — |

当年度の収入済額は3,939,709千円であり、予算現額に対する執行率は77.6%（前年度99.7%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。また、前年度に比較すると1,045,379千円（36.1%）の増加となっているが、これは、減債基金繰入金1,597,165千円の皆減などがあったものの、財政調整基金繰入金941,882千円の皆増に加え、国際交流基金、在宅福祉ふれあい基金、西部地区歴史的町並み基金、スポーツ振興基金の廃止に伴う繰入金1,783,305千円などの増があったためである。

第20款 繰越金

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D | |
|------|---------------|----------------|----------------|----------------|------------|----------------|--------------------|---|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 | |
| 29年度 | 1,509,982,988 | 1,509,982,508 | 1,509,982,508 | 100.0 | 100.0 | — | 0 | |
| 28年度 | 2,617,339,738 | 2,617,339,322 | 2,617,339,322 | 100.0 | 100.0 | — | 0 | |
| 対前年度 | 増減額 | △1,107,356,750 | △1,107,356,814 | △1,107,356,814 | / | / | — | 0 |
| | 増減率 | △42.3% | △42.3% | △42.3% | / | / | — | — |

当年度の収入済額は1,509,982千円であり、予算現額に対する執行率、調定額に対する収入率はともに100.0%（前年度100.0%）となっている。また、前年度に比較すると1,107,356千円（42.3%）の減少となっているが、これは、前年度繰越事業費財源充当額263,298千円、前年度剰余金844,058千円の減によるものである。

第21款 諸 収 入

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D | |
|------|---------------|---------------|---------------|--------------|------------|----------------|--------------------|------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 | |
| 29年度 | 8,511,258,262 | 9,293,231,903 | 8,585,165,464 | 100.9 | 92.4 | 58,947,559 | 649,118,880 | |
| 28年度 | 8,633,932,000 | 9,426,568,282 | 8,779,252,476 | 101.7 | 93.1 | 54,126,549 | 593,189,257 | |
| 対前年度 | 増減額 | △122,673,738 | △133,336,379 | △194,087,012 | / | / | 4,821,010 | 55,929,623 |
| | 増減率 | △1.4% | △1.4% | △2.2% | / | / | 8.9% | 9.4% |

当年度の収入済額は8,585,165千円であり、予算現額に対する執行率は100.9%（前年度101.7%）、調定額に対する収入率は92.4%（前年度93.1%）となっている。また、前年度に比較すると194,087千円（2.2%）の減少となっているが、これは、日吉町4丁目貸建物移転補償金の皆減など雑入136,773千円の減などによるものである。

不納欠損額は58,947千円であり、これは、生活保護費返還金収入など雑入58,241千円などによるものであるが、前年度に比較すると4,821千円（8.9%）の増加となっている。

収入未済額は649,118千円であり、これは、貸付金収入77,840千円、生活保護費返還金収入など雑入570,343千円などによるものであるが、前年度に比較すると55,929千円（9.4%）の増加となっている。

第22款 市 債

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|------------------|----------------|----------------|----------------|------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 2 9 年 度 | 13,080,200,000 | 11,745,300,000 | 11,745,300,000 | 89.8 | 100.0 | — | 0 |
| 2 8 年 度 | 12,432,000,000 | 10,037,400,000 | 10,037,400,000 | 80.7 | 100.0 | — | 0 |
| 対 前 年 度 | 増 減 額 | 648,200,000 | 1,707,900,000 | | | — | 0 |
| | 増 減 率 | 5.2% | 17.0% | | | — | — |

当年度の収入済額は11,745,300千円であり、予算現額に対する執行率は89.8%（前年度80.7%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。また、前年度に比較すると1,707,900千円（17.0%）の増加となっているが、これは、衛生債95,100千円、商工債1,248,400千円、土木債242,500千円、消防債62,600千円などの減や災害復旧債9,400千円の皆減があったものの、総務債368,000千円、民生債254,100千円、教育債2,577,200千円、地域総合整備資金貸付事業債67,000千円、臨時財政対策債84,000千円などの増があったためである。

(3) 歳 出 (款 別)

歳出の款別決算状況は次のとおりである。

第1款 議 会 費

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌 年 度 繰 越 額 C | 不 用 額 A-B-C | |
|------|--------------|--------------|------------|------------------|----------------|---------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 | |
| 29年度 | 405,140,000 | 386,817,920 | 95.5 | — | 18,322,080 | |
| 28年度 | 406,928,000 | 389,396,913 | 95.7 | — | 17,531,087 | |
| 対前年度 | 増減額 | △1,788,000 | △2,578,993 | | — | 790,993 |
| | 増減率 | △0.4% | △0.7% | | — | 4.5% |

議会費では、主に、議員報酬（185,645千円）、議員期末手当（81,681千円）、議員共済会負担金（73,279千円）のほか、議会活動の広報を行う、はこだて市議会だより発行費（11,115千円）などを支出している。

当年度の支出済額は386,817千円であり、予算現額に対する執行率は95.5%（前年度95.7%）、となっている。また、前年度に比較すると2,578千円（0.7%）の減少となっている。

不用額は18,322千円となっている。

第2款 総 務 費

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌 年 度 繰 越 額 C | 不 用 額 A-B-C | |
|------|---------------|---------------|------------|------------------|----------------|------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 | |
| 29年度 | 5,493,429,901 | 5,267,688,344 | 95.9 | — | 225,741,557 | |
| 28年度 | 5,444,103,388 | 5,222,410,664 | 95.9 | 20,772,154 | 200,920,570 | |
| 対前年度 | 増減額 | 49,326,513 | 45,277,680 | | △20,772,154 | 24,820,987 |
| | 増減率 | 0.9% | 0.9% | | 皆減 | 12.4% |

総務費では、主に、防災対策や町会活動の支援を行う総務管理費（4,728,924千円）、徴税費（255,997千円）、戸籍および住民基本台帳の管理を行う戸籍住民基本台帳費（102,970千円）などを支出している。

当年度の支出済額は5,267,688千円であり、予算現額に対する執行率は95.9%（前年度95.9%）となっている。また、前年度に比較すると45,277千円（0.9%）の増加となっているが、これは、戸籍住民基本台帳費68,154千円などの減があったものの、総務管理費108,446千円などの増があったためである。

執行されたもののうち特徴的なものは、津波や洪水などの防災情報の中から必要な情報を選択し、

閲覧することができる地図システムを構築し、災害への事前準備の啓発に取り組んだ。

また、ふるさと納税について、地場産品等の返礼品を大幅に見直し充実を図るとともに、民間ポータルサイトを活用したほか、クレジット決済を導入し寄附者の利便性を高める取組を行った。

このほか、本庁舎の耐震改修を実施した。また、函館駅前用地を割賦購入し、函館駅前市有地等整備事業の推進を図った。

不用額は225,741千円であり、これは、総務管理費161,067千円などの減によるものである。

第3款 民 生 費

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌 年 度 繰 越 額 C | 不 用 額 A-B-C |
|-------------|----------------|----------------|------------|------------------|----------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 |
| 29年度 | 55,683,531,200 | 54,268,762,710 | 97.5 | 10,599,200 | 1,404,169,290 |
| 28年度 | 56,581,900,000 | 54,721,630,253 | 96.7 | 413,565,000 | 1,446,704,747 |
| 対前年度 増減額 | △898,368,800 | △452,867,543 | | △402,965,800 | △42,535,457 |
| 増減率 | △1.6% | △0.8% | | △97.4% | △2.9% |

民生費では、主に、障がい者の自立支援や医療助成、高齢者の生活支援を行う社会福祉費(11,988,677千円)や子育て支援や保育サービス、子どもの健全育成を行う子ども未来費(13,156,316千円)、生活保護費(20,952,466千円)、各特別会計に繰出しを行う国民健康保険費(3,900,029千円)および介護保険費(4,219,765千円)などを支出している。

当年度の支出済額は54,268,762千円であり、予算現額に対する執行率は97.5%(前年度96.7%)となっている。また、前年度に比較すると452,867千円(0.8%)の減少となっているが、これは、国民健康保険費552,752千円、介護保険費280,565千円などの増があったものの、社会福祉費1,131,179千円、子ども未来費62,468千円、生活保護費90,390千円などの減があったためである。

執行されたもののうち特徴的なものは、福祉コミュニティエリア内の拠点施設や特別養護老人ホームなどの整備費に対し補助を行ったほか、市電と函館バスのICカードシステム導入に伴い高齢者および障がい者に対する交通料金助成のシステム構築を進めるなど、福祉サービスの向上に努めた。

また、保育人材の確保のため、長期間離職している保育士を対象に、最新の保育に関する講義や実地研修を行い、保育サービスの向上に努めた。

なお、繰越明許費として障害者福祉施設整備費補助金3,050千円が、事故繰越しとして児童福祉施設維持補修費7,549千円が翌年度繰越額となっている。

不用額は1,404,169千円であり、これは、社会福祉費440,117千円、子ども未来費269,817千円、生活保護費404,224千円、国民健康保険費280,425千円などの減によるものである。

第4款 衛 生 費

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌 年 度 繰 越 額 C | 不 用 額 A-B-C | |
|------|---------------|---------------|-------------|------------------|----------------|-------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 | |
| 29年度 | 8,880,416,000 | 8,742,798,221 | 98.5 | — | 137,617,779 | |
| 28年度 | 8,965,852,600 | 8,783,882,996 | 98.0 | — | 181,969,604 | |
| 対前年度 | 増減額 | △85,436,600 | △41,084,775 | / | — | △44,351,825 |
| | 増減率 | △1.0% | △0.5% | / | — | △24.4% |

衛生費では、妊産婦等のケアやがん検診、定期予防接種を行う保健衛生費（1,555,391千円）のほか、塵芥収集を行う清掃費（2,639,348千円）、特別会計に繰出しを行う後期高齢者医療費（4,548,058千円）を支出している。

当年度の支出済額は8,742,798千円であり、予算現額に対する執行率は98.5%（前年度98.0%）となっている。また、前年度に比較すると41,084千円（0.5%）の減少となっているが、これは、清掃費101,830千円の減などによるものである。

執行されたもののうち特徴的なものは、医療専門学校を併設する医療複合施設等建設事業に対し貸付を行ったほか、不育症治療の助成や産婦の心身不調による母子への支援強化のため、健康診査費用の助成を行うなど母子保健対策の拡充をはかった。

また、新たな廃棄物処理施設の整備にあたり、施設整備基本計画検討委員会からの報告をもとに函館市廃棄物処理施設整備基本計画を策定した。

不用額は137,617千円であり、これは、保健衛生費81,195千円、清掃費56,421千円などの減によるものである。

第5款 労 働 費

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌 年 度 繰 越 額 C | 不 用 額 A-B-C | |
|------|--------------|--------------|------------|------------------|----------------|-------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 | |
| 29年度 | 133,436,000 | 127,848,008 | 95.8 | — | 5,587,992 | |
| 28年度 | 150,893,000 | 131,838,213 | 87.4 | — | 19,054,787 | |
| 対前年度 | 増減額 | △17,457,000 | △3,990,205 | / | — | △13,466,795 |
| | 増減率 | △11.6% | △3.0% | / | — | △70.7% |

労働費では、主に、事業者の雇用環境の向上や若年者の就業、女性の再就業などの支援を行う労働諸費（127,848千円）を支出している。

当年度の支出済額は127,848千円であり、予算現額に対する執行率は95.8%（前年度87.4%）となっている。また、前年度に比較すると3,990千円（3.0%）の減少となっている。

歳 出(款別)

執行されたもののうち特徴的なものは、再就業意欲のある子育て中の女性に対して、託児サービス提供のもと、ビジネスマナーなど就業研修を実施したほか、企業側に対して女性の就業環境を整えるためのコンサルティングを実施し、女性の再就業支援を推進した。

不用額は5,587千円であり、これは、労働諸費5,587千円の減によるものである。

第6款 農 林 水 産 費

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌 年 度 繰 越 額 C | 不 用 額 A-B-C |
|-------------|--------------|--------------|------------|------------------|----------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 |
| 2 9 年 度 | 706,794,000 | 673,936,286 | 95.4 | 816,000 | 32,041,714 |
| 2 8 年 度 | 699,822,072 | 654,530,815 | 93.5 | 6,000,000 | 39,291,257 |
| 対前年度 増減額 | 6,971,928 | 19,405,471 | | △5,184,000 | △7,249,543 |
| 増減率 | 1.0% | 3.0% | | △86.4% | △18.5% |

農林水産費では、主に、農業者の経営安定を図るほか、農地、治山施設および市有林の整備を行う農林費（173,998千円）、漁業者の経営安定を図るほか、その基盤となる漁港および漁場の整備を行う水産費（314,575千円）などを支出している。

当年度の支出済額は673,936千円であり、予算現額に対する執行率は95.4%（前年度93.5%）となっている。また、前年度に比較すると19,405千円（3.0%）の増加となっている。

執行されたもののうち特徴的なものは、農業経営の安定化や農業生産基盤の長期的な維持・存続に資するため、コントラクター組織の共同利用機械（人参収穫機）の追加導入に対する支援を行ったほか、海洋環境の変化に対応した沿岸漁業の持続的発展に資するため、コンブ養殖技術の改良やホッケの資源量減少の要因解明・回復手法に向けた研究を行った。

なお、繰越明許費として畑地帯担い手支援事業費負担金816千円が翌年度繰越額となっている。

不用額は32,041千円であり、これは、農林費23,335千円、水産費8,706千円の減によるものである。

第7款 商 工 費

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌 年 度 繰 越 額 C | 不 用 額 A-B-C |
|-------------|----------------|----------------|------------|------------------|----------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 |
| 29年度 | 9,361,942,162 | 9,267,151,045 | 99.0 | 29,775,616 | 65,015,501 |
| 28年度 | 10,441,899,760 | 10,401,160,020 | 99.6 | — | 40,739,740 |
| 対前年度 増減額 | △1,079,957,598 | △1,134,008,975 | | 29,775,616 | 24,275,761 |
| 増減率 | △10.3% | △10.9% | | 皆増 | 59.6% |

商工費では、主に、中小企業支援や観光振興を行う商工費（8,867,151千円）、観光振興基金への積立てを行う観光振興資金費（400,000千円）を支出している。

当年度の支出済額は9,267,151千円であり、予算現額に対する執行率は99.0%（前年度99.6%）となっている。また、前年度に比較すると1,134,008千円（10.9%）の減少となっているが、これは、観光振興資金費400,000千円の皆増があったものの、商工費1,534,008千円の減があったためである。

執行されたもののうち特徴的なものは、イカ加工業者に対する緊急支援策として、輸入イカの共同購入に対し補助を行い、市内水産加工業者の経営安定を図った。

また、企業立地促進条例補助金において、市外企業への補助率などを優遇し、市内への企業立地を促進した。

さらに、千代台および松風町電車停留場の整備を行い、中心市街地内の回遊性を高めるとともに、「函館コミュニティプラザ」の供用を開始し、中心市街地の活性化を進めた。

このほか、地元食材を活用したイベント「はこだてフードフェスタ」を開催したほか、地元食材メニュー等を発信するポータルサイト「おいしい函館」を開設するなど、食の産業化に対する取組を進めた。

また、ネットユーザーが増加する中国向けに、観光PR用のウェブ動画を作成し、現地の人気サイトを通じて配信するとともに、問合せにメールやSNSなどで対応する窓口として「外国人観光コンタクトセンター」を開設し、外国人観光客の利便性の向上に努めた。

なお、繰越明許費として、函館駅前通整備関係経費29,775千円が翌年度繰越額となっている。

不用額は65,015千円であり、これは、商工費の減によるものである。

第8款 土 木 費

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌 年 度 繰 越 額 C | 不 用 額 A - B - C |
|-------------|----------------|----------------|------------|------------------|--------------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 |
| 29年度 | 10,825,118,820 | 10,466,572,882 | 96.7 | 115,605,892 | 242,940,046 |
| 28年度 | 11,009,062,340 | 10,470,078,841 | 95.1 | 164,323,820 | 374,659,679 |
| 対前年度 増減額 | △183,943,520 | △3,505,959 | | △48,717,928 | △131,719,633 |
| 増減率 | △1.7% | △0.0% | | △29.6% | △35.2% |

土木費では、主に、市道の維持管理や整備を行う道路橋梁費（3,953,334千円）や都市公園の維持管理や街路の整備などを行う都市計画費（2,125,245千円）、市営住宅の管理や整備を行う住宅費（1,179,841千円）、函館空港の利用促進を行う空港費（110,839千円）、港湾事業特別会計に繰出しを行う港湾費（1,891,550千円）などを支出している。

当年度の支出済額は10,466,572千円であり、予算現額に対する執行率は96.7%（前年度95.1%）となっている。また、前年度に比較すると3,505千円（0.0%）の減少となっているが、これは、土木管理費667,478千円、道路橋梁費557,305千円などの増があったものの、都市計画費1,013,648千円、港湾費171,542千円などの減があったためである。

執行されたもののうち特徴的なものは、特定建築物耐震化支援事業として、民間大規模建築物の耐震化促進のため、観光客の一時滞在避難所として協定を締結したホテルの耐震改修に要する費用の補助を行ったほか、治水安全度を高め、氾濫や溢水による被害を未然に防ぐため、小田島川の護岸改修や遊水地など河川の整備を実施した。

また、人口減少時代に対応した持続可能でコンパクトなまちづくりを進めるため、都市機能や居住機能の適正な立地誘導を進める立地適正化計画を策定したほか、市営住宅大川団地の整備に向けた基本設計を行った。

さらに、空港利用を促進するため、引き続き函館空港に新規に就航する国際定期便などについて着陸料の助成を行ったほか、新たに国内線を対象に、新規の定期便就航に対する着陸料の支援を行った。

なお、繰越明許費として都市計画道路3・4・113号昭和団地通街路整備事業費14,464千円、函館空港整備事業費負担金20,295千円が、事故繰越しとして若松13号線道路舗装事業費28,296千円、港1-11号線道路舗装事業費27,658千円、湯川1-28号線ほか1線道路舗装事業費24,892千円が翌年度繰越額となっている。

不用額は242,940千円であり、これは、土木管理費19,178千円、道路橋梁費180,122千円、都市計画費35,022千円などの減によるものである。

第9款 消 防 費

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌 年 度 繰 越 額 C | 不 用 額 A-B-C | |
|------|--------------|--------------|--------------|------------------|----------------|-----------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 | |
| 29年度 | 690,362,000 | 681,967,828 | 98.8 | — | 8,394,172 | |
| 28年度 | 851,838,000 | 844,859,513 | 99.2 | — | 6,978,487 | |
| 対前年度 | 増減額 | △161,476,000 | △162,891,685 | / | — | 1,415,685 |
| | 増減率 | △19.0% | △19.3% | / | — | 20.3% |

消防費では、消防職員の消防活動経費である常備消防費（509,298千円）、消防団員の消防活動経費である非常備消防費（172,669千円）を支出している。

当年度の支出済額は681,967千円であり、予算現額に対する執行率は98.8%（前年度99.2%）となっている。また、前年度に比較すると162,891千円（19.3%）の減少となっているが、これは、常備消防費236,158千円などの増があったものの、消防施設費423,203千円の皆減があったためである。

執行されたもののうち特徴的なものは、消防車両更新計画に基づき、化学消防ポンプ自動車1台、高規格救急自動車2台、消防広報車1台、小型動力ポンプ付積載車1台を更新した。

不用額は8,394千円であり、これは、非常備消防費5,046千円などの減によるものである。

第10款 教 育 費

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌 年 度 繰 越 額 C | 不 用 額 A-B-C | |
|------|---------------|---------------|---------------|------------------|----------------|-------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 | |
| 29年度 | 9,945,104,360 | 9,498,532,842 | 95.5 | 282,297,400 | 164,274,118 | |
| 28年度 | 8,026,273,076 | 6,212,483,197 | 77.4 | 1,636,553,360 | 177,236,519 | |
| 対前年度 | 増減額 | 1,918,831,284 | 3,286,049,645 | / | △1,354,255,960 | △12,962,401 |
| | 増減率 | 23.9% | 52.9% | / | △82.8% | △7.3% |

教育費では、主に、学力向上の推進を行う教育総務費（720,030千円）、小・中学校の維持管理などを行う小学校費（1,600,967千円）や中学校費（1,163,778千円）、施設の改修などを行う義務教育施設整備費（3,512,019千円）、社会教育施設の管理や整備を行う社会教育費（1,984,785千円）、体育施設の管理や整備を行う保健体育費（414,804千円）などを支出している。

当年度の支出済額は9,498,532千円であり、予算現額に対する執行率は95.5%（前年度77.4%）となっている。また、前年度に比較すると3,286,049千円（52.9%）の増加となっているが、これは、奨学費120,787千円などの減があったものの、小学校費169,010千円、中学校費157,666千円、義務教育施設整備費2,873,851千円、社会教育費166,618千円などの増があったためである。

歳 出(款別)

執行されたもののうち特徴的なものは、小・中・高等学校におけるアクティブ・ラーニング（主体的・能動的な学習法）を市立全学校へ拡充したほか、非常勤講師4名を配置し、小学校における算数の授業で少人数指導等を進めるなど、児童・生徒の学力向上に向け取り組んだ。

また、戸倉中学校の屋内運動場の改築や、亀田小学校校舎の改修に向けた実施設計を行ったほか、市民会館の改修に着手するなど、義務教育施設や社会教育施設の耐震化を進めた。

このほか、平成30年度開校に向け、巴中学校校舎等の整備を実施した。

さらに、亀田地区における統合施設の整備に向けた実施設計を行ったほか、パラリンピックの強化指定選手の合宿を受け入れるなど、社会教育およびスポーツの振興に努めた。

なお、継続費通次繰越として巴中学校校舎等新築事業費43千円、重要文化財旧函館区公会堂保存修理事業費3,530千円が、繰越明許費として校舎暖房設備改修事業費50,944千円、校舎耐震改修事業費51,198千円、屋内運動場改築事業費44,789千円、校舎等外壁改修事業費115,269千円、重要文化財旧函館区公会堂保存修理事業費16,524千円が翌年度繰越額となっている。

不用額は164,274千円であり、これは、教育総務費17,647千円、小学校費39,061千円、中学校費35,837千円、義務教育施設整備費27,744千円、奨学費23,440千円などの減によるものである。

第11款 公 債 費

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌 年 度 繰 越 額 C | 不 用 額 A-B-C | |
|------|----------------|----------------|--------------|------------------|----------------|------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 | |
| 29年度 | 14,103,467,000 | 14,090,056,211 | 99.9 | — | 13,410,789 | |
| 28年度 | 14,395,211,000 | 14,372,585,092 | 99.8 | — | 22,625,908 | |
| 対前年度 | 増減額 | △291,744,000 | △282,528,881 | | — | △9,215,119 |
| | 増減率 | △2.0% | △2.0% | | — | △40.7% |

公債費では、長期債償還元金（13,284,035千円）や長期債繰上償還元金（55,215千円）、長期債償還利子（733,871千円）、長期借入金利子（10,228千円）、一時借入金利子（6,706千円）を支出している。

当年度の支出済額は14,090,056千円であり、予算現額に対する執行率は99.9%（前年度99.8%）となっている。また、前年度に比較すると282,528千円（2.0%）の減少となっているが、これは、長期債繰上償還元金120,833千円、長期債償還利子143,884千円などの減によるものである。

不用額は13,410千円であり、これは、一時借入金利子13,291千円などの減によるものである。

第12款 諸 支 出 金

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌 年 度 繰 越 額 C | 不 用 額 A-B-C | |
|---------|---------------|---------------|--------------|------------------|----------------|-------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 | |
| 2 9 年 度 | 8,202,838,000 | 7,996,252,210 | 97.5 | — | 206,585,790 | |
| 2 8 年 度 | 8,477,785,661 | 8,463,821,332 | 99.8 | — | 13,964,329 | |
| 対前年度 | 増減額 | △274,947,661 | △467,569,122 | | — | 192,621,461 |
| | 増減率 | △3.2% | △5.5% | | — | 激増 |

諸支出金では、企業会計への繰出金（5,146,570千円）や基金への積立金（2,580,814千円）のほか、長期借入金償還金（268,867千円）を支出している。

当年度の支出済額は7,996,252千円であり、予算現額に対する執行率は97.5%（前年度99.8%）となっている。また、前年度に比較すると467,569千円（5.5%）の減少となっているが、これは、交通事業費65,175千円、財政調整基金積立金1,362,625千円などの増があったものの、病院事業費1,228,818千円、公共施設整備等基金積立金155,482千円、減債基金積立金562,548千円などの減があったためである。

不用額は206,585千円であり、これは、病院事業費202,041千円などの減によるものである。

第13款 職 員 費

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌 年 度 繰 越 額 C | 不 用 額 A-B-C | |
|---------|----------------|----------------|--------------|------------------|----------------|-------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 | |
| 2 9 年 度 | 17,344,875,000 | 17,157,221,145 | 98.9 | — | 187,653,855 | |
| 2 8 年 度 | 17,383,164,000 | 17,306,863,965 | 99.6 | — | 76,300,035 | |
| 対前年度 | 増減額 | △38,289,000 | △149,642,820 | | — | 111,353,820 |
| | 増減率 | △0.2% | △0.9% | | — | 145.9% |

当年度の支出済額は17,157,221千円であり、予算現額に対する執行率は98.9%（前年度99.6%）となっている。また、前年度に比較すると149,642千円（0.9%）の減少となっているが、これは、一般部局職員費81,133千円などの増があったものの、教育委員会職員費115,998千円、消防職員費117,895千円などの減があったためである。

不用額は187,653千円であり、これは、一般部局職員費91,258千円、消防職員費62,274千円などの減によるものである。

第14款 予 備 費

| 区 分 | 議 決 予 算 額 A | 充 用 額 B | 執行率 B/A | 不 用 額 A-B |
|------|----------------|--------------|-------------|--------------|
| | 円 | 円 | % | 円 |
| 29年度 | 443,759,000 | 322,209,109 | 72.6 | 121,549,891 |
| 28年度 | 695,527,000 | 137,815,525 | 19.8 | 557,711,475 |
| 対前年度 | 増減額 | △251,768,000 | 184,393,584 | △436,161,584 |
| | 増減率 | △36.2% | 133.8% | △78.2% |

予備費については、主に、除雪費用として土木費に300,000千円を充用したほか、あさひ小学校空調設備の復旧経費や青年センター屋上防水および天井改修経費として18,090千円を教育費に充用している。

前年度に比較すると184,393千円（133.8%）の増加となっている。

○ 災 害 復 旧 費

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌年度繰越額 C | 不 用 額 A-B-C |
|------|--------------|--------------|-------------|-------------|----------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 |
| 29年度 | - | - | - | - | - |
| 28年度 | 43,000,000 | 40,809,441 | 94.9 | - | 2,190,559 |
| 対前年度 | 増減額 | △43,000,000 | △40,809,441 | - | △2,190,559 |
| | 増減率 | 皆減 | 皆減 | - | 皆減 |

(4) 審査意見

当年度の決算は、歳入総額139,658,143千円、歳出総額138,625,605千円で、形式収支は1,032,537千円の黒字となり、翌年度へ繰り越すべき財源9,762千円を差し引いた実質収支では、前年度に比べて黒字幅は縮小したものの1,022,775千円の黒字となったところである。

決算の状況を前年度と比較すると、歳入では、地方交付税や土地の売払いなどによる財産収入などが減となったものの、市税や地方消費税交付金、市債のほか在宅福祉ふれあい基金など4基金の廃止に伴う繰入金金の増などにより、全体では0.1%増となっている。

また、市税をはじめとした収入率については、平成30年1月に策定した「行財政改革推進プラン」はもとより「行財政改革プラン2012」に基づき未収金対策を強化したことから向上しており、収入未済総額についても減少している。

一方、歳出では、病院事業会計への繰出金や公債費が減となったものの、障がい者および児童福祉などの扶助費や除雪費などの経常経費が増となったほか、平成30年度からの都道府県単位化に向けた国民健康保険事業特別会計の累積赤字解消のための繰出金の増などにより、全体では0.4%増となっている。

以上が当年度における一般会計の決算の概要であるが、当市の財政は、この間の行財政改革の推進などにより5年連続で財源調整のための基金の取り崩しをすることなく黒字を確保しているが、今後においても、人口減少の進行などに伴う市税や地方交付税の減少のほか、高齢化の進展による社会保障関係経費の増加が見込まれるなど、一段と厳しさを増すものと思料するところである。

これらのことから、引き続き行財政改革を推進するとともに、各種事業・施策の実施にあたっては、市民福祉の向上や緊急度を考慮しながらも、常に経済性、効率性、有効性を念頭におき、中長期的見通しに立った健全な財政運営に努められるよう要望する。

3 特別会計

当年度の各特別会計の決算状況は次のとおりである。

(1) 港湾事業特別会計

歳 入

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|-------------|---------------|---------------|---------------|------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 29年度 | 3,669,218,333 | 3,688,045,123 | 3,687,514,047 | 100.5 | 100.0 | 2,646 | 528,430 |
| 28年度 | 3,623,413,000 | 3,520,438,816 | 3,519,776,970 | 97.1 | 100.0 | 36,000 | 625,846 |
| 対前年度 増減額 | 45,805,333 | 167,606,307 | 167,737,077 | / | / | △33,354 | △97,416 |
| 増減率 | 1.3% | 4.8% | 4.8% | / | / | △92.7% | △15.6% |

歳 出

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌年度繰越額 C | 不 用 額 A-B-C |
|-------------|---------------|---------------|------------|--------------|----------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 |
| 29年度 | 3,669,218,333 | 3,651,964,679 | 99.5 | - | 17,253,654 |
| 28年度 | 3,623,413,000 | 3,488,707,603 | 96.3 | 108,333,333 | 26,372,064 |
| 対前年度 増減額 | 45,805,333 | 163,257,076 | / | △108,333,333 | △9,118,410 |
| 増減率 | 1.3% | 4.7% | / | 皆減 | △34.6% |

| | |
|----------|-------------|
| 歳入歳出差引残額 | 35,549,368円 |
|----------|-------------|

当年度の決算は、収入済額3,687,514千円、支出済額3,651,964千円であり、歳入歳出差引残額35,549千円となっている。

歳入についてみると、収入済額の予算現額に対する執行率は100.5%（前年度97.1%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。

不納欠損額は2千円であり、これは、使用料及び手数料によるものであるが、前年度に比較すると33千円（92.7%）の減少となっている。

収入未済額は528千円であり、これは、使用料及び手数料123千円、諸収入404千円によるものであるが、前年度に比較すると97千円（15.6%）の減少となっている。

一方、歳出についてみると、支出済額の予算現額に対する執行率は99.5%（前年度96.3%）となっている。

不用額は17,253千円であり、これは、港湾管理費5,938千円、職員費4,313千円、予備費7,000千円などの減によるものである。

1表 歳入款別比較

| 科 目 | 2 9 年 度 | 2 8 年 度 | 対 前 年 度 比 較 | |
|----------|---------------|---------------|--------------|-------|
| | 金 額 | 金 額 | 増 減 額 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 使用料及び手数料 | 327,342,845 | 309,940,942 | 17,401,903 | 5.6 |
| 国庫支出金 | 121,865,811 | 84,215,655 | 37,650,156 | 44.7 |
| 道支出金 | 10,983,000 | 396,000 | 10,587,000 | 激増 |
| 財産収入 | 145,611,220 | 22,877,918 | 122,733,302 | 536.5 |
| 繰入金 | 1,891,550,000 | 2,063,092,000 | △171,542,000 | △8.3 |
| 繰越金 | 31,069,367 | 67,124,679 | △36,055,312 | △53.7 |
| 諸収入 | 50,691,804 | 50,029,776 | 662,028 | 1.3 |
| 市債 | 1,108,400,000 | 922,100,000 | 186,300,000 | 20.2 |
| 計 | 3,687,514,047 | 3,519,776,970 | 167,737,077 | 4.8 |

2表 使用料及び手数料の収入状況

| 科 目 | 2 9 年 度 | 2 8 年 度 | 対 前 年 度 比 較 | |
|-----------|-------------|-------------|-------------|-------|
| | 金 額 | 金 額 | 増 減 額 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 使用料 | 327,340,145 | 309,939,142 | 17,401,003 | 5.6 |
| 入港料 | 15,007,661 | 12,827,711 | 2,179,950 | 17.0 |
| けい船料 | 143,499,569 | 135,335,431 | 8,164,138 | 6.0 |
| けい船浮標使用料 | 1,190,160 | 701,784 | 488,376 | 69.6 |
| 船舶給水施設使用料 | 18,352,481 | 20,927,375 | △2,574,894 | △12.3 |
| 可動橋施設使用料 | 12,186,113 | 12,343,471 | △157,358 | △1.3 |
| 上屋使用料 | 10,733,533 | 10,415,874 | 317,659 | 3.0 |
| 船揚場使用料 | 629,629 | 604,235 | 25,394 | 4.2 |
| 荷さばき地使用料 | 88,960,824 | 82,615,619 | 6,345,205 | 7.7 |
| 港湾施設用地使用料 | 29,623,278 | 27,144,261 | 2,479,017 | 9.1 |
| 諸使用料 | 7,156,897 | 7,023,381 | 133,516 | 1.9 |
| 手数料 | 2,700 | 1,800 | 900 | 50.0 |
| 諸手数料 | 2,700 | 1,800 | 900 | 50.0 |
| 計 | 327,342,845 | 309,940,942 | 17,401,903 | 5.6 |

収入済額の内訳は1表のとおりであり、前年度に比較すると167,737千円（4.8%）の増加となっているが、これは、繰入金171,542千円、繰越金36,055千円の減があったものの、使用料及び手数料17,401千円、国庫支出金37,650千円、道支出金10,587千円、財産収入122,733千円、市債186,300千円などの増があったためである。

なお、使用料及び手数料の収入状況は2表のとおりであり17,401千円（5.6%）の増加となっているが、これは、船舶給水施設使用料2,574千円などの減があったものの、入港料2,179千円、けい船料8,164千円、荷さばき地使用料6,345千円、港湾施設用地使用料2,479千円などの増があったためである。

3表 歳出款別比較

| 科 目 | 29年度 | 28年度 | 対前年度比較 | |
|---------|---------------|---------------|-------------|------|
| | 金額 | 金額 | 増減額 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 港湾管理費 | 405,354,376 | 404,018,518 | 1,335,858 | 0.3 |
| 港湾整備費 | 1,225,588,516 | 978,534,610 | 247,053,906 | 25.2 |
| 港湾災害復旧費 | — | 16,610,400 | △16,610,400 | 皆減 |
| 公債費 | 1,800,668,665 | 1,876,250,409 | △75,581,744 | △4.0 |
| 職員費 | 220,353,122 | 213,293,666 | 7,059,456 | 3.3 |
| 計 | 3,651,964,679 | 3,488,707,603 | 163,257,076 | 4.7 |

支出済額の内訳は3表のとおりであり、前年度に比較すると163,257千円（4.7%）の増加となっているが、これは、港湾災害復旧費16,610千円の皆減、公債費75,581千円の減があったものの、港湾整備費247,053千円、職員費7,059千円などの増があったためである。

当年度は、中央ふ頭こ線橋など臨港道路を整備したほか、前年度に引き続き弁天地区緑地および末広地区緑地の護岸整備を実施した。

また、国直轄港湾改修事業として若松地区旅客船ふ頭の整備を進めるとともに、大型クルーズ船の入出港による船舶への影響など函館港内における船舶航行の安全性に関する調査を実施した。

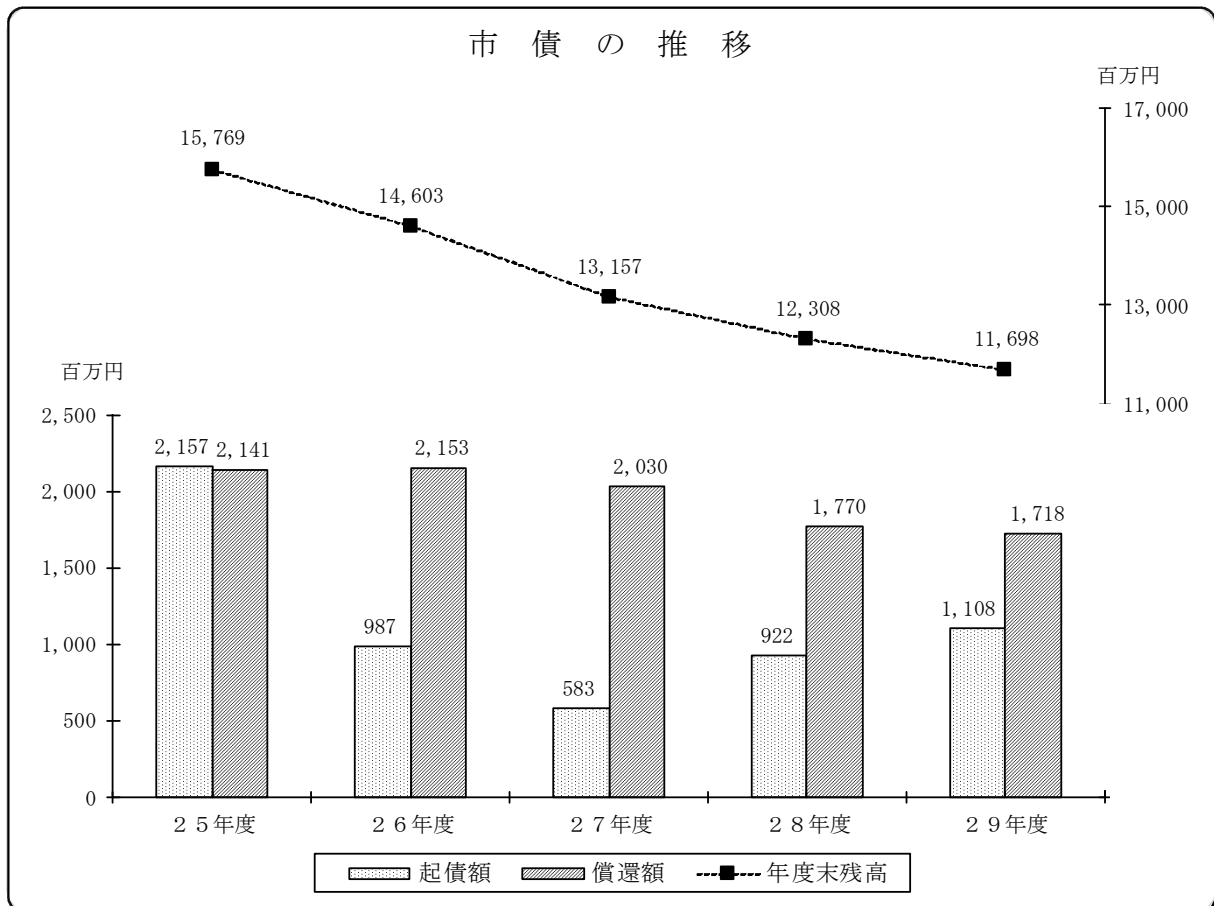
4表 各施設の収支状況

| 科 目 | 29年度 | 28年度 | 対前年度比較 | | |
|--------|------|------------|------------|------------|-------|
| | 金額 | 金額 | 増減額 | 増減率 | |
| | 円 | 円 | 円 | % | |
| 上屋 | 収入 | 10,733,533 | 10,415,874 | 317,659 | 3.0 |
| | 支出 | 15,974,737 | 15,488,989 | 485,748 | 3.1 |
| | 収支差引 | △5,241,204 | △5,073,115 | △168,089 | △3.3 |
| 船舶給水施設 | 収入 | 18,352,481 | 20,927,375 | △2,574,894 | △12.3 |
| | 支出 | 27,260,547 | 28,674,390 | △1,413,843 | △4.9 |
| | 収支差引 | △8,908,066 | △7,747,015 | △1,161,051 | △15.0 |

また、上屋等の施設の収支状況は4表のとおりである。

5表 市債残高の状況

| 29年度 | | | 28年度 | | | 対前年度比較 | | |
|-----------|-----------|------------|---------|-----------|------------|---------|---------|----------|
| 起債額 | 償還額 | 年度末残高 | 起債額 | 償還額 | 年度末残高 | 起債額 | 償還額 | 年度末残高 |
| 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 1,108,400 | 1,718,697 | 11,698,661 | 922,100 | 1,770,238 | 12,308,959 | 186,300 | △51,540 | △610,297 |



市債残高の状況は5表のとおりであり、当年度の起債額1,108,400千円、償還額1,718,697千円であったことから、前年度末残高12,308,959千円と比較すると610,297千円減少し、当年度末残高は11,698,661千円となっている。

以上が当年度における決算の概要であるが、函館港においては道南圏における物流の拠点港として、また、椴法華港においては避難港としての機能を維持・拡充するため、施設整備を進めるとともに、港湾機能を十分に活用した貨物の取扱量拡大やクルーズ客船の寄港増加を図るため、今後においても港湾関係団体や利用者と緊密に連携し、より一層のポートセールスに努められるよう要望する。

(2) 国民健康保険事業特別会計

歳 入

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|------|----------------|----------------|----------------|-------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 29年度 | 37,920,545,000 | 39,040,736,633 | 36,983,036,415 | 97.5 | 94.7 | 677,054,803 | 1,380,645,415 |
| 28年度 | 39,126,444,000 | 39,837,683,154 | 37,036,284,084 | 94.7 | 93.0 | 965,071,734 | 1,836,327,336 |
| 対前年度 | 増減額 | △1,205,899,000 | △796,946,521 | △53,247,669 | | △288,016,931 | △455,681,921 |
| | 増減率 | △3.1% | △2.0% | △0.1% | | △29.8% | △24.8% |

歳 出

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌年度繰越額 C | 不 用 額 A-B-C | |
|------|----------------|----------------|----------------|-------------|----------------|-------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 | |
| 29年度 | 37,920,545,000 | 36,139,499,504 | 95.3 | — | 1,781,045,496 | |
| 28年度 | 39,126,444,000 | 37,488,878,949 | 95.8 | — | 1,637,565,051 | |
| 対前年度 | 増減額 | △1,205,899,000 | △1,349,379,445 | | — | 143,480,445 |
| | 増減率 | △3.1% | △3.6% | | — | 8.8% |

| | |
|----------|--------------|
| 歳入歳出差引残額 | 843,536,911円 |
|----------|--------------|

当年度の決算は、収入済額36,983,036千円、支出済額36,139,499千円であり、歳入歳出差引残額843,536千円となっている。

なお、当年度の単年度収支は、前年度末累積赤字額が452,594千円であったことから1,296,130千円の黒字となるものである。

歳入についてみると、収入済額の予算現額に対する執行率は97.5%（前年度94.7%）、調定額に対する収入率は94.7%（前年度93.0%）となっている。

不納欠損額は677,054千円であり、これは、国民健康保険料674,838千円、諸収入2,215千円によるものであるが、前年度に比較すると288,016千円（29.8%）の減少となっている。

収入未済額は1,380,645千円であり、これは、国民健康保険料1,340,521千円、諸収入40,123千円によるものであるが、前年度に比較すると455,681千円（24.8%）の減少となっている。

一方、歳出についてみると、支出済額の予算現額に対する執行率は95.3%（前年度95.8%）となっている。

不用額は1,781,045千円であり、これは、総務費44,597千円、保険給付費305,588千円、共同事業拠出金1,183,344千円、予備費212,953千円などの減によるものである。

1表 歳入款別比較

| 科 目 | 29年度 | 28年度 | 対前年度比較 | |
|-----------|----------------|----------------|--------------|-------|
| | 金額 | 金額 | 増減額 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 国民健康保険料 | 5,419,802,304 | 5,665,912,413 | △246,110,109 | △4.3 |
| 国庫支出金 | 8,376,073,101 | 8,271,339,857 | 104,733,244 | 1.3 |
| 療養給付費等交付金 | 507,350,000 | 1,007,795,663 | △500,445,663 | △49.7 |
| 前期高齢者交付金 | 9,170,490,493 | 8,551,524,867 | 618,965,626 | 7.2 |
| 道 支 出 金 | 1,709,893,000 | 1,748,855,480 | △38,962,480 | △2.2 |
| 共同事業交付金 | 7,846,167,564 | 8,410,258,971 | △564,091,407 | △6.7 |
| 繰 入 金 | 3,900,029,000 | 3,347,276,372 | 552,752,628 | 16.5 |
| 諸 収 入 | 53,230,953 | 33,320,461 | 19,910,492 | 59.8 |
| 計 | 36,983,036,415 | 37,036,284,084 | △53,247,669 | △0.1 |

収入済額の内訳は1表のとおりであり、前年度に比較すると53,247千円（0.1%）の減少となっているが、これは、国庫支出金104,733千円、前期高齢者交付金618,965千円、繰入金552,752千円などの増があったものの、国民健康保険料246,110千円、療養給付費等交付金500,445千円、共同事業交付金564,091千円などの減があったためである。

2表 国民健康保険料の収入状況

| 区 | 分 | 調 定 額 | 収 入 済 額 | 収 入 率 | 不 納 欠 損 額 | 収 入 未 済 額 |
|---------------|---------------------|---------------|---------------|-------|-------------|---------------|
| | | 円 | 円 | % | 円 | 円 |
| 一 般 被 保 険 者 | | 7,304,258,945 | 5,314,494,849 | 72.8 | 660,965,048 | 1,328,799,048 |
| | 現 年 賦 課 分 | 5,554,541,465 | 5,060,250,408 | 91.1 | 919,870 | 493,371,187 |
| | 医 療 給 付 費 分 | 3,707,838,284 | 3,388,356,204 | 91.4 | 644,820 | 318,837,260 |
| | 後 期 高 齢 者 支 援 金 等 分 | 1,329,985,581 | 1,218,755,600 | 91.6 | 245,182 | 110,984,799 |
| | 介 護 納 付 金 分 | 516,717,600 | 453,138,604 | 87.7 | 29,868 | 63,549,128 |
| | 滞 納 繰 越 分 | 1,749,717,480 | 254,244,441 | 14.5 | 660,045,178 | 835,427,861 |
| 退 職 被 保 険 者 等 | | 130,904,064 | 105,307,455 | 80.4 | 13,873,926 | 11,722,683 |
| | 現 年 賦 課 分 | 98,518,965 | 96,419,770 | 97.9 | — | 2,099,195 |
| | 医 療 給 付 費 分 | 57,514,219 | 56,297,070 | 97.9 | — | 1,217,149 |
| | 後 期 高 齢 者 支 援 金 等 分 | 20,799,596 | 20,357,539 | 97.9 | — | 442,057 |
| | 介 護 納 付 金 分 | 20,205,150 | 19,765,161 | 97.8 | — | 439,989 |
| | 滞 納 繰 越 分 | 32,385,099 | 8,887,685 | 27.4 | 13,873,926 | 9,623,488 |
| | 計 | 7,435,163,009 | 5,419,802,304 | 72.9 | 674,838,974 | 1,340,521,731 |

3表 国民健康保険料の収入率の推移

| 区 | 分 | 現 年 賦 課 分 | | | 滞 納 繰 越 分 | | | 合 計 | | |
|---------|---|-----------|-------|-------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 一 般 | 退 職 | 計 | 一 般 | 退 職 | 計 | 一 般 | 退 職 | 計 |
| 2 9 年 度 | | 91.1% | 97.9% | 91.2% | 14.5% | 27.4% | 14.8% | 72.8% | 80.4% | 72.9% |
| 2 8 年 度 | | 89.6% | 96.5% | 89.8% | 11.8% | 19.8% | 12.0% | 66.9% | 78.2% | 67.3% |
| 2 7 年 度 | | 87.4% | 96.6% | 87.9% | 11.1% | 15.2% | 11.2% | 61.3% | 75.9% | 62.0% |
| 2 6 年 度 | | 84.4% | 93.9% | 85.0% | 7.9% | 11.9% | 8.0% | 56.8% | 74.4% | 57.8% |
| 2 5 年 度 | | 81.7% | 92.5% | 82.5% | 7.0% | 12.1% | 7.2% | 54.9% | 74.1% | 56.0% |

国民健康保険料の収入状況は2表、収入率の推移は3表のとおりであり、一般被保険者保険料の収入率は、現年賦課分で91.1%（前年度89.6%）、滞納繰越分で14.5%（前年度11.8%）となり、前年度に比べ現年賦課分で1.5ポイント、滞納繰越分で2.7ポイント上昇している。また、退職被保険者等保険料は、現年賦課分で97.9%（前年度96.5%）、滞納繰越分で27.4%（前年度19.8%）となり、前年度に比べ現年賦課分で1.4ポイント、滞納繰越分で7.6ポイント上昇している。

4表 歳出款別比較

| 科 目 | 2 9 年 度 | 2 8 年 度 | 対 前 年 度 比 較 | |
|-------------------|----------------|----------------|----------------|-------|
| | 金 額 | 金 額 | 増 減 額 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 総 務 費 | 275,771,055 | 136,354,530 | 139,416,525 | 102.2 |
| 保 険 給 付 費 | 21,606,456,101 | 22,355,215,665 | △748,759,564 | △3.3 |
| 後 期 高 齢 者 支 援 金 等 | 3,344,577,949 | 3,494,023,635 | △149,445,686 | △4.3 |
| 前 期 高 齢 者 納 付 金 等 | 12,634,749 | 2,459,151 | 10,175,598 | 413.8 |
| 老 人 保 健 拠 出 金 | 78,692 | 123,659 | △44,967 | △36.4 |
| 介 護 納 付 金 | 1,542,695,980 | 1,281,959,985 | 260,735,995 | 20.3 |
| 共 同 事 業 拠 出 金 | 8,122,387,789 | 8,552,841,324 | △430,453,535 | △5.0 |
| 保 健 事 業 費 | 172,620,452 | 176,751,813 | △4,131,361 | △2.3 |
| 諸 支 出 金 | 239,766,428 | 324,139,901 | △84,373,473 | △26.0 |
| 職 員 費 | 369,915,444 | 364,927,062 | 4,988,382 | 1.4 |
| 繰 上 充 用 金 | 452,594,865 | 800,082,224 | △347,487,359 | △43.4 |
| 計 | 36,139,499,504 | 37,488,878,949 | △1,349,379,445 | △3.6 |

支出済額の内訳は4表のとおりであり、前年度に比較すると1,349,379千円（3.6%）の減少となっているが、これは、総務費139,416千円、介護納付金260,735千円などの増があったものの、保険給付費748,759千円、後期高齢者支援金等149,445千円、共同事業拠出金430,453千円、諸支出金84,373千円、繰上充用金347,487千円などの減があったためである。

以上が当年度における決算の概要であるが、当年度は、保険料収入率の向上や、データヘルス計画の推進など医療費適正化の取組に対する国の調整交付金が増となったほか、平成30年度からの都道府県単位化にあたり、一般会計から769,882千円の繰入れを行ったことにより、累積赤字を解消し、実質収支は843,536千円の黒字となったところである。

今後においても保険料収入率の向上はもとより、生活習慣病の発症予防や重症化予防のほか、後発医薬品の普及啓発など医療費支出の抑制に引き続き取り組み、健全な国保財政の運営に努められるよう要望する。

加えて、国民健康保険制度の安定的な運営のため、国に対して財政安定化に対する支援の強化をあらゆる機会を捉え強く要望されたい。

(3) 自転車競走事業特別会計

歳 入

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D | |
|------|----------------|----------------|----------------|--------------|------------|----------------|--------------------|---|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 | |
| 29年度 | 14,589,887,000 | 14,571,370,723 | 14,571,370,723 | 99.9 | 100.0 | - | 0 | |
| 28年度 | 15,771,329,000 | 15,531,876,353 | 15,531,876,353 | 98.5 | 100.0 | - | 0 | |
| 対前年度 | 増減額 | △1,181,442,000 | △960,505,630 | △960,505,630 | / | / | - | 0 |
| | 増減率 | △7.5% | △6.2% | △6.2% | / | / | - | - |

歳 出

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌年度繰越額 C | 不 用 額 A-B-C | |
|------|----------------|----------------|--------------|-------------|----------------|--------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 | |
| 29年度 | 14,589,887,000 | 14,566,343,615 | 99.8 | - | 23,543,385 | |
| 28年度 | 15,771,329,000 | 15,555,482,407 | 98.6 | - | 215,846,593 | |
| 対前年度 | 増減額 | △1,181,442,000 | △989,138,792 | / | - | △192,303,208 |
| | 増減率 | △7.5% | △6.4% | / | - | △89.1% |

| | |
|----------|------------|
| 歳入歳出差引残額 | 5,027,108円 |
|----------|------------|

当年度の決算は、収入済額14,571,370千円、支出済額14,566,343千円であり、歳入歳出差引残額は5,027千円となり、前年度までの累積赤字を解消した。

なお、当年度の単年度収支は、前年度末累積赤字額が23,606千円であったことから28,633千円の黒字となるものである。

歳入についてみると、収入済額の予算現額に対する執行率は99.9%（前年度98.5%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。

一方、歳出についてみると、支出済額の予算現額に対する執行率は99.8%（前年度98.6%）となっている。

不用額は23,543千円であり、これは、管理費5,862千円、事業費9,760千円、基金積立金7,137千円などの減によるものである。

1表 歳入款別比較

| 科 目 | 29年度 | 28年度 | 対前年度比較 | |
|------|----------------|----------------|--------------|------|
| | 金額 | 金額 | 増減額 | 増減率 |
| 事業収入 | 14,502,872,400 | 15,460,875,500 | △958,003,100 | △6.2 |
| 諸収入 | 68,498,323 | 71,000,853 | △2,502,530 | △3.5 |
| 計 | 14,571,370,723 | 15,531,876,353 | △960,505,630 | △6.2 |

2表 事業収入の状況

| 区 分 | | 29年度 | 28年度 | 対前年度比較 | | |
|--------------------|--------------|----------------|----------------|----------------|--------------|------|
| 開催状況 | 記念競輪 | 1回(4日) | 1回(4日) | 増減額 | 増減率 | |
| | 普通競輪 | 11回(45日) | 11回(45日) | | | |
| 車券 発売 代 金 | 函館地区 | 261,556,700 | 290,521,500 | △28,964,800 | △10.0 | |
| | 本場 | 210,940,000 | 236,936,500 | △25,996,500 | △11.0 | |
| | サテライト松風 | 50,616,700 | 53,585,000 | △2,968,300 | △5.5 | |
| | 電話・インターネット投票 | 4,329,826,700 | 5,023,993,700 | △694,167,000 | △13.8 | |
| | 重勝式投票 | 21,644,300 | 22,416,100 | △771,800 | △3.4 | |
| | 臨時場外 | 9,889,012,700 | 10,123,025,800 | △234,013,100 | △2.3 | |
| | 計 | 14,502,040,400 | 15,459,957,100 | △957,916,700 | △6.2 | |
| | 再掲 | 記念競輪 | 4,990,574,000 | 5,169,571,100 | △178,997,100 | △3.5 |
| | | 普通競輪 | 9,511,466,400 | 10,290,386,000 | △778,919,600 | △7.6 |
| | 入場料 | 特別席 | 534,000 | 580,400 | △46,400 | △8.0 |
| | ロイヤル席 | 298,000 | 338,000 | △40,000 | △11.8 | |
| | 計 | 832,000 | 918,400 | △86,400 | △9.4 | |
| 合 計 | | 14,502,872,400 | 15,460,875,500 | △958,003,100 | △6.2 | |

収入済額の内訳は1表のとおりであり、前年度に比較すると960,505千円(6.2%)の減少となっているが、これは、事業収入958,003千円、諸収入2,502千円の減によるものである。

なお、事業収入の状況は2表のとおりであり、車券発売代金は957,916千円(6.2%)の減少となっているが、これは、函館地区28,964千円、電話・インターネット投票694,167千円、重勝式投票771千円、臨時場外234,013千円の減によるものである。

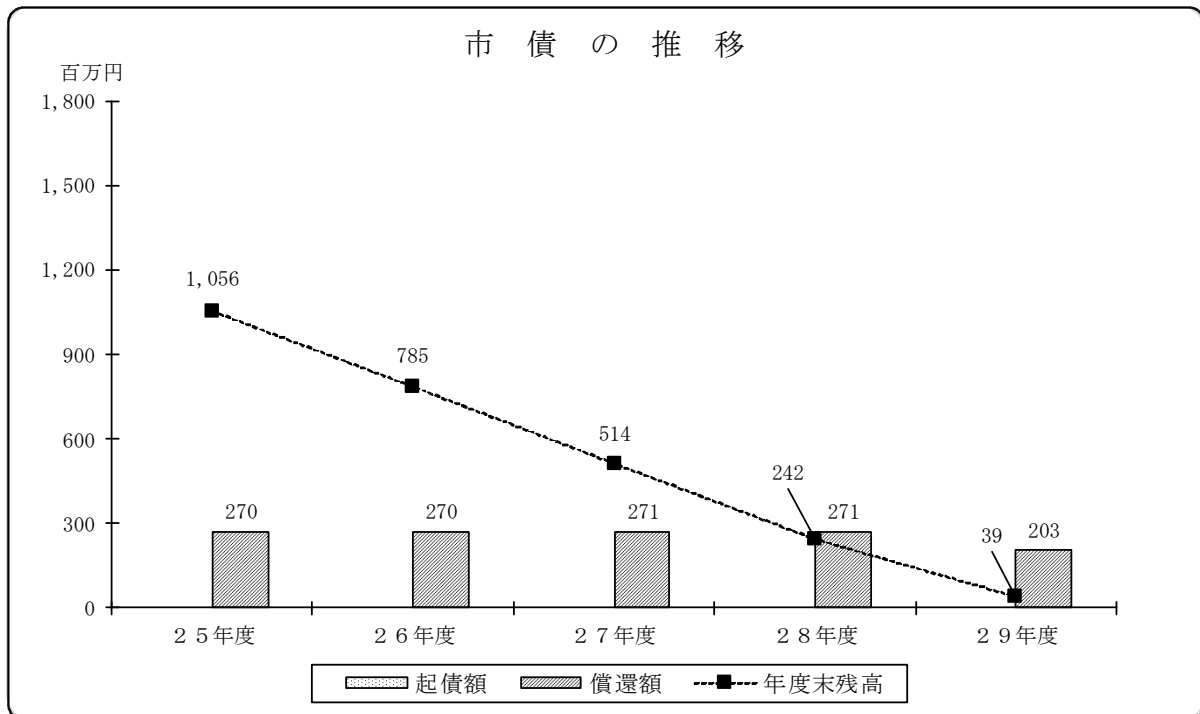
3表 歳出款別比較

| 科目 | 29年度 | | 28年度 | | 対前年度比較 | |
|-------|----------------|--|----------------|--|--------------|-------|
| | 金額 | | 金額 | | 増減額 | 増減率 |
| | 円 | | 円 | | 円 % | |
| 管理費 | 52,089,580 | | 57,323,049 | | △5,233,469 | △9.1 |
| 事業費 | 14,069,649,869 | | 14,926,551,707 | | △856,901,838 | △5.7 |
| 基金積立金 | 146,500,000 | | - | | 146,500,000 | 皆増 |
| 公債費 | 205,503,888 | | 275,067,553 | | △69,563,665 | △25.3 |
| 職員費 | 68,994,224 | | 72,934,044 | | △3,939,820 | △5.4 |
| 繰上充用金 | 23,606,054 | | 223,606,054 | | △200,000,000 | △89.4 |
| 計 | 14,566,343,615 | | 15,555,482,407 | | △989,138,792 | △6.4 |

支出済額の内訳は3表のとおりであり、前年度に比較すると989,138千円（6.4%）の減少となっているが、これは、基金積立金146,500千円の皆増があったものの、事業費856,901千円、公債費69,563千円、繰上充用金200,000千円などの減があったためである。

4表 市債残高の状況

| 29年度 | | | 28年度 | | | 対前年度比較 | | |
|------|---------|--------|------|---------|---------|--------|---------|----------|
| 起債額 | 償還額 | 年度末残高 | 起債額 | 償還額 | 年度末残高 | 起債額 | 償還額 | 年度末残高 |
| 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| - | 203,663 | 39,192 | - | 271,453 | 242,856 | - | △67,789 | △203,663 |



市債残高の状況は4表のとおりであり、前年度末残高242,856千円のところ、当年度203,663千円償還したことから、当年度末残高は39,192千円となっている。

以上が当年度における決算の概要であるが、当年度は、車券発売代金の減少があったものの、包括委託業務契約における収益保証により単年度収支は28,633千円の黒字となり、前年度までの累積赤字額を解消した。また、施設の老朽化による今後の大規模改修に備えるため、競輪事業施設整備基金に146,500千円を積み立てたところである。

今後においても、特別競輪の開催誘致や他の競輪場との連携、新たなファンの獲得など、売上げの向上に努めるとともに、引き続き、事業運営の効率化に取り組み、安定的で健全な経営を図られるよう要望する。

(4) 奨学資金特別会計

歳 入

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|------|--------------|------------|--------------|------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 29年度 | 34,537,000 | 66,980,133 | 34,587,533 | 100.1 | 51.6 | 24,000 | 32,368,600 |
| 28年度 | 36,721,000 | 71,020,939 | 39,186,549 | 106.7 | 55.2 | 600,890 | 31,233,500 |
| 対前年度 | 増減額 | △2,184,000 | △4,040,806 | △4,599,016 | | △576,890 | 1,135,100 |
| | 増減率 | △5.9% | △5.7% | △11.7% | | △96.0% | 3.6% |

歳 出

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌年度繰越額 C | 不 用 額 A-B-C | |
|------|--------------|--------------|------------|-------------|----------------|----------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 | |
| 29年度 | 34,537,000 | 34,316,710 | 99.4 | — | 220,290 | |
| 28年度 | 36,721,000 | 36,293,831 | 98.8 | — | 427,169 | |
| 対前年度 | 増減額 | △2,184,000 | △1,977,121 | | — | △206,879 |
| | 増減率 | △5.9% | △5.4% | | — | △48.4% |

| | |
|----------|----------|
| 歳入歳出差引残額 | 270,823円 |
|----------|----------|

当年度の決算は、収入済額34,587千円、支出済額34,316千円であり、歳入歳出差引残額270千円となっている。

歳入についてみると、収入済額の予算現額に対する執行率は100.1%（前年度106.7%）、調定額に対する収入率は51.6%（前年度55.2%）となっている。

不納欠損額は24千円であり、これは、諸収入によるものであるが、前年度に比較すると576千円（96.0%）の減少となっている。

収入未済額は32,368千円であり、これは、諸収入によるものであるが、前年度に比較すると1,135千円（3.6%）の増加となっている。

一方、歳出についてみると、支出済額の予算現額に対する執行率は99.4%（前年度98.8%）となっている。

不用額は220千円であり、これは、奨学費120千円、予備費100千円の減によるものである。

1表 歳入款別比較

| 科 目 | 29年度 | 28年度 | 対前年度比較 | |
|------|------------|------------|------------|-------|
| | 金額 | 金額 | 増減額 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 財産収入 | 224,155 | 206,928 | 17,227 | 8.3 |
| 寄付金 | 410,000 | 300,000 | 110,000 | 36.7 |
| 繰越金 | 2,892,718 | 3,327,381 | △434,663 | △13.1 |
| 諸収入 | 31,060,660 | 35,352,240 | △4,291,580 | △12.1 |
| 計 | 34,587,533 | 39,186,549 | △4,599,016 | △11.7 |

2表 貸付金収入の状況

| 区分 | 調定額 | 収入済額 | 収入率 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------|------------|------------|------|---------|------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 |
| 29年度 | 63,453,260 | 31,060,660 | 49.0 | 24,000 | 32,368,600 |
| 現年度分 | 32,219,760 | 26,479,260 | 82.2 | — | 5,740,500 |
| 滞納繰越分 | 31,233,500 | 4,581,400 | 14.7 | 24,000 | 26,628,100 |
| 28年度 | 67,186,630 | 35,352,240 | 52.6 | 600,890 | 31,233,500 |
| 現年度分 | 35,305,590 | 29,590,190 | 83.8 | — | 5,715,400 |
| 滞納繰越分 | 31,881,040 | 5,762,050 | 18.1 | 600,890 | 25,518,100 |

収入済額の内訳は1表のとおりであり、前年度に比較すると4,599千円（11.7%）の減少となっているが、これは、寄付金110千円などの増があったものの、繰越金434千円、諸収入4,291千円の減があったためである。

なお、諸収入のうち貸付金収入の状況は2表のとおりであり、収入率は、現年度分で82.2%（前年度83.8%）、滞納繰越分で14.7%（前年度18.1%）、全体では49.0%（前年度52.6%）となっている。

3表 歳出款別比較

| 科 目 | 29年度 | 28年度 | 対前年度比較 | |
|-------|------------|------------|------------|-------|
| | 金額 | 金額 | 増減額 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 奨学費 | 12,768,710 | 15,051,831 | △2,283,121 | △15.2 |
| 基金積立金 | 21,548,000 | 21,242,000 | 306,000 | 1.4 |
| 計 | 34,316,710 | 36,293,831 | △1,977,121 | △5.4 |

4表 奨学資金の貸与状況

| 区分 | 大学及び大学院 | | 高等専門学校 | | 高等学校 | | 専修学校 | | 計 | |
|------|------------|-----------|----------|-----------|------------|-----------|----------|-----------|-------------|------------|
| | 人員 | 金額 | 人員 | 金額 | 人員 | 金額 | 人員 | 金額 | 人員 | 金額 |
| | 人 | 円 | 人 | 円 | 人 | 円 | 人 | 円 | 人 | 円 |
| 29年度 | (4) 18 | 7,075,000 | (1) 2 | 336,000 | (7) 22 | 3,210,000 | — 4 | 1,200,000 | (12) 46 | 11,821,000 |
| 28年度 | (5) 22 | 7,421,000 | (1) 2 | 336,000 | (12) 31 | 4,506,000 | (5) 7 | 1,734,000 | (23) 62 | 13,997,000 |
| 27年度 | (13) 32 | 8,225,000 | — 3 | 504,000 | (7) 35 | 5,088,000 | (1) 2 | 324,000 | (21) 72 | 14,141,000 |
| 26年度 | (8) 27 | 5,855,000 | — 5 | 840,000 | (16) 44 | 6,456,000 | (2) 4 | 816,000 | (26) 80 | 13,967,000 |
| 25年度 | (10) 37 | 7,929,000 | — 9 | 1,512,000 | (14) 56 | 8,288,000 | (1) 7 | 1,428,000 | (25) 109 | 19,157,000 |

※（ ）内は新規貸与者を内書きした。

支出済額の内訳は3表のとおりであり、前年度に比較すると1,977千円（5.4%）の減少となっているが、これは、基金積立金306千円の増があったものの、奨学費2,283千円の減があったためである。

奨学資金の貸与状況は4表のとおりであり、新規分12人、継続分34人で合計46人となっている。

以上が当年度における決算の概要であるが、収入率は前年度に比べ、現年度分、滞納繰越分ともに低下している。本事業の主な財源は貸付金収入であることから、持続可能な制度の運営を図るために、収入未済額の縮減に向けた債権管理のもと貸付金の回収に努められるよう要望する。

(5) 地方卸売市場事業特別会計

歳 入

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D | |
|------|--------------|-------------|--------------|-------------|------------|----------------|--------------------|---------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 | |
| 29年度 | 417,884,000 | 409,633,005 | 407,569,275 | 97.5 | 99.5 | — | 2,063,730 | |
| 28年度 | 436,463,000 | 429,052,535 | 427,825,349 | 98.0 | 99.7 | — | 1,227,186 | |
| 対前年度 | 増減額 | △18,579,000 | △19,419,530 | △20,256,074 | | | — | 836,544 |
| | 増減率 | △4.3% | △4.5% | △4.7% | | | — | 68.2% |

歳 出

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌年度繰越額 C | 不 用 額 A-B-C | |
|------|--------------|--------------|-------------|-------------|----------------|------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 | |
| 29年度 | 417,884,000 | 401,009,145 | 96.0 | — | 16,874,855 | |
| 28年度 | 436,463,000 | 418,101,587 | 95.8 | — | 18,361,413 | |
| 対前年度 | 増減額 | △18,579,000 | △17,092,442 | | — | △1,486,558 |
| | 増減率 | △4.3% | △4.1% | | — | △8.1% |

| | |
|----------|------------|
| 歳入歳出差引残額 | 6,560,130円 |
|----------|------------|

当年度の決算は、収入済額407,569千円、支出済額401,009千円であり、歳入歳出差引残額6,560千円となっている。

歳入についてみると、収入済額の予算現額に対する執行率は97.5%（前年度98.0%）、調定額に対する収入率は99.5%（前年度99.7%）となっている。

収入未済額は2,063千円であり、これは、使用料及び手数料1,164千円、諸収入898千円によるものであるが、前年度に比較すると836千円（68.2%）の増加となっている。

一方、歳出についてみると、支出済額の予算現額に対する執行率は96.0%（前年度95.8%）となっている。

不用額は16,874千円であり、これは、市場管理費14,028千円、予備費2,500千円などの減によるものである。

ア 水産物地方卸売市場事業

1表 歳入款別比較

| 科 目 | 29年度 | 28年度 | 対前年度比較 | |
|----------|-------------|-------------|-------------|-------|
| | 金額 | 金額 | 増減額 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 使用料及び手数料 | 60,876,475 | 83,826,268 | △22,949,793 | △27.4 |
| 繰入金 | 115,210,000 | 107,552,000 | 7,658,000 | 7.1 |
| 繰越金 | 8,052,823 | 3,206,516 | 4,846,307 | 151.1 |
| 諸収入 | 30,595,754 | 30,951,653 | △355,899 | △1.1 |
| 計 | 214,735,052 | 225,536,437 | △10,801,385 | △4.8 |

2表 使用料の収入状況

| 区 分 | 29年度 | 28年度 | 対前年度比較 | |
|--------------|----------------|----------------|--------------|-------|
| | 金額・数量 | 金額・数量 | 増減額・数量 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 水産物地方卸売市場使用料 | 60,876,475 | 83,826,268 | △22,949,793 | △27.4 |
| 売上高割使用料 | 34,044,439 | 54,794,940 | △20,750,501 | △37.9 |
| 面積割使用料 | 26,271,265 | 28,532,736 | △2,261,471 | △7.9 |
| 会議室使用料 | 186,624 | 155,844 | 30,780 | 19.8 |
| 行政財産使用料 | 374,147 | 342,748 | 31,399 | 9.2 |
| 取扱数量 | ト | ト | ト | % |
| | 22,184 | 24,456 | △2,272 | △9.3 |
| 取扱金額 | 円 | 円 | 円 | % |
| | 17,022,222,990 | 17,945,043,493 | △922,820,503 | △5.1 |

地方卸売市場事業のうち、水産物地方卸売市場事業における収入済額の内訳は1表のとおりであり、前年度に比較すると10,801千円（4.8%）の減少となっているが、これは、繰入金7,658千円、繰越金4,846千円の増があったものの、使用料及び手数料22,949千円などの減があったためである。

なお、使用料の収入状況は2表のとおりであり、前年度に比較すると22,949千円（27.4%）の減少となっているが、これは、人口減少や食生活の変化に伴う消費低迷、市場外流通の増大などにより取扱が減少傾向にあり、公設市場として流通基盤の維持・安定化のため当年度に使用料を引下げたことなどにより、売上高割使用料が20,750千円、面積割使用料が2,261千円の減となったことなどによるものである。

当年度における水産物の取扱数量は、主要取扱品目であるさけやするめいかの不漁の影響などにより、鮮魚介類、加工塩干品類および冷凍品類の全般で減少したことから、前年度に比較し9.3%減となっている。

取扱金額は、鮮魚介類では単価高の影響により増となったものの、加工塩干品類および冷凍品類では取扱数量の落ち込みから減となり、全体では前年度に比較し5.1%減となっている。

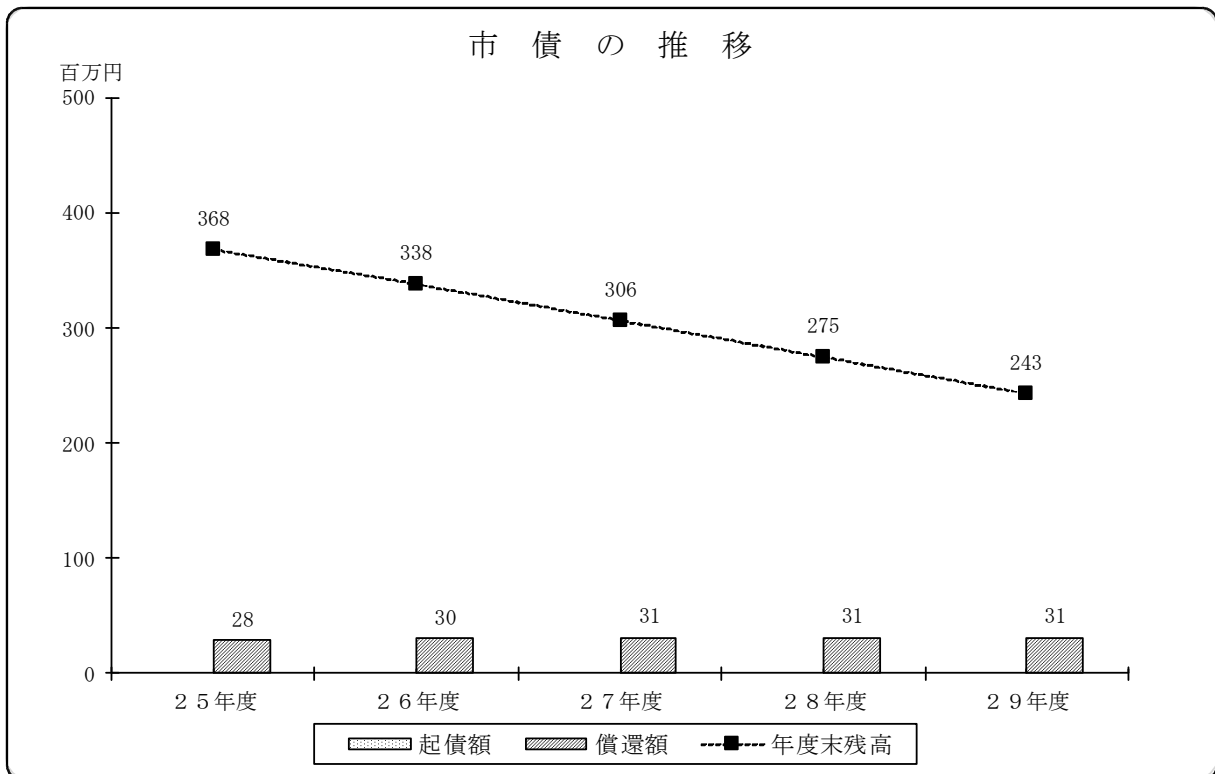
3表 歳出款別比較

| 科 目 | 2 9 年 度 | 2 8 年 度 | 対 前 年 度 比 較 | |
|-----------|-------------|-------------|-------------|------|
| | 金 額 | 金 額 | 増 減 額 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 市 場 管 理 費 | 160,187,045 | 166,366,995 | △6,179,950 | △3.7 |
| 公 債 費 | 33,874,380 | 33,874,380 | 0 | 0.0 |
| 職 員 費 | 15,916,899 | 17,242,239 | △1,325,340 | △7.7 |
| 計 | 209,978,324 | 217,483,614 | △7,505,290 | △3.5 |

支出済額の内訳は3表のとおりであり、前年度に比較すると7,505千円（3.5%）の減少となっているが、これは、市場管理費6,179千円、職員費1,325千円の減によるものである。

4表 市債残高の状況

| 2 9 年 度 | | | 2 8 年 度 | | | 対 前 年 度 比 較 | | |
|---------|--------|---------|---------|--------|---------|-------------|-------|---------|
| 起 債 額 | 償 還 額 | 年度末残高 | 起 債 額 | 償 還 額 | 年度末残高 | 起 債 額 | 償 還 額 | 年度末残高 |
| 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| — | 31,675 | 243,794 | — | 31,422 | 275,470 | — | 253 | △31,675 |



市債残高の状況は4表のとおりであり、前年度末残高275,470千円のところ、当年度31,675千円を償還したことから、当年度末残高は243,794千円となっている。

イ 青果物地方卸売市場事業

5表 歳入款別比較

| 科 目 | 29年度 | 28年度 | 対前年度比較 | |
|----------|-------------|-------------|-------------|-------|
| | 金額 | 金額 | 増減額 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 使用料及び手数料 | 77,823,049 | 97,010,695 | △19,187,646 | △19.8 |
| 財産収入 | 3,787,164 | 3,904,320 | △117,156 | △3.0 |
| 繰入金 | 70,152,000 | 48,896,000 | 21,256,000 | 43.5 |
| 繰越金 | 1,670,939 | 4,310,364 | △2,639,425 | △61.2 |
| 諸収入 | 27,601,071 | 28,667,533 | △1,066,462 | △3.7 |
| 市債 | 11,800,000 | 19,500,000 | △7,700,000 | △39.5 |
| 計 | 192,834,223 | 202,288,912 | △9,454,689 | △4.7 |

6表 使用料の収入状況

| 区 分 | 29年度 | 28年度 | 対前年度比較 | |
|--------------|----------------|----------------|----------------|-------|
| | 金額・数量 | 金額・数量 | 増減額・数量 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 青果物地方卸売市場使用料 | 77,823,049 | 97,010,695 | △19,187,646 | △19.8 |
| 売上高割使用料 | 21,084,095 | 29,615,201 | △8,531,106 | △28.8 |
| 面積割使用料 | 55,539,606 | 66,171,680 | △10,632,074 | △16.1 |
| 会議室使用料 | 210,600 | 194,400 | 16,200 | 8.3 |
| 空地使用料 | 740,988 | 740,988 | 0 | 0.0 |
| 行政財産使用料 | 247,760 | 288,426 | △40,666 | △14.1 |
| 取扱数量 | ト | ト | ト | % |
| | 41,028 | 44,048 | △3,020 | △6.9 |
| 取扱金額 | 円 | 円 | 円 | % |
| | 10,542,054,316 | 11,846,085,338 | △1,304,031,022 | △11.0 |

地方卸売市場事業のうち、青果物地方卸売市場事業における収入済額の内訳は5表のとおりであり、前年度に比較すると9,454千円（4.7%）の減少となっているが、これは、繰入金21,256千円の増があったものの、使用料及び手数料19,187千円、繰越金2,639千円、諸収入1,066千円、市債7,700千円などの減があったためである。

なお、使用料の収入状況は6表のとおりであり、前年度に比較すると19,187千円（19.8%）の減少となっているが、これは、水産物地方卸売市場と同様に使用料を引下げたことなどにより、売上高割使用料が8,531千円、面積割使用料が10,632千円の減となったことなどによるものである。

当年度における青果物の取扱数量は、野菜、果実、その他（野菜加工品および果実加工品等）の全般で減少したことから、前年度に比較し6.9%減となっており、取扱金額においても取扱数量の減少により11.0%減となっている。

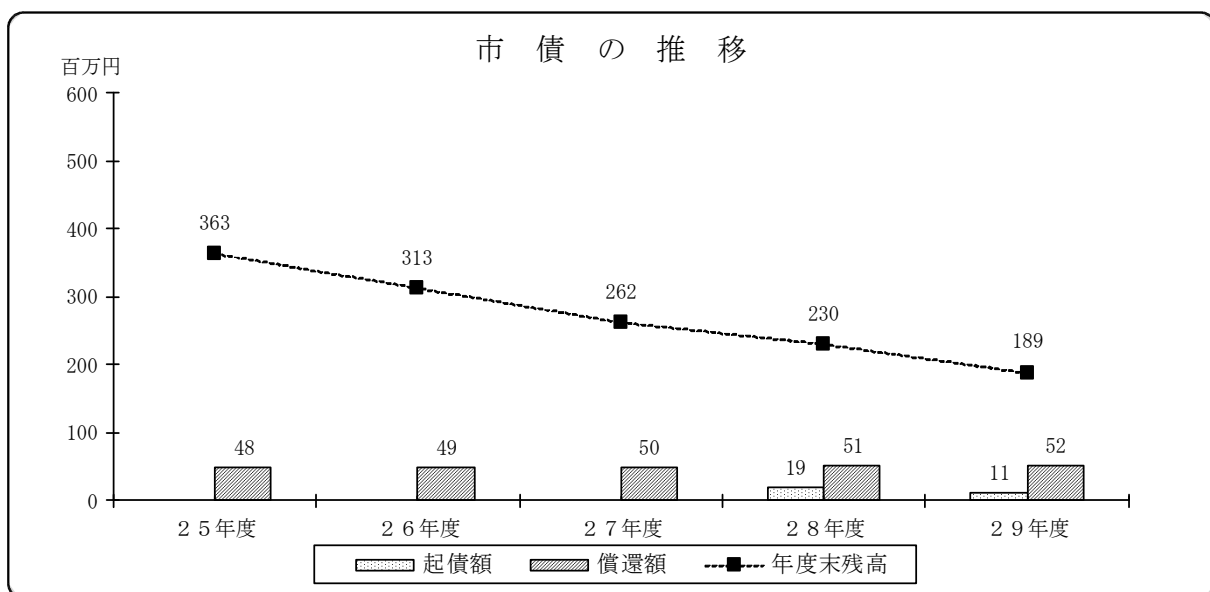
7表 歳出款別比較

| 科目 | 29年度 | 28年度 | 対前年度比較 | |
|-------|-------------|-------------|------------|------|
| | 金額 | 金額 | 増減額 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 市場管理費 | 120,576,071 | 130,241,752 | △9,665,681 | △7.4 |
| 公債費 | 56,107,059 | 56,090,738 | 16,321 | 0.0 |
| 職員費 | 14,347,691 | 14,285,483 | 62,208 | 0.4 |
| 計 | 191,030,821 | 200,617,973 | △9,587,152 | △4.8 |

支出済額の内訳は7表のとおりであり、前年度に比較すると9,587千円（4.8%）の減少となっているが、これは、市場管理費9,665千円の減などによるものである。

8表 市債残高の状況

| 29年度 | | | 28年度 | | | 対前年度比較 | | |
|--------|--------|---------|--------|--------|---------|--------|-----|---------|
| 起債額 | 償還額 | 年度末残高 | 起債額 | 償還額 | 年度末残高 | 起債額 | 償還額 | 年度末残高 |
| 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 11,800 | 52,608 | 189,930 | 19,500 | 51,650 | 230,739 | △7,700 | 957 | △40,808 |



市債残高の状況は8表のとおりであり、当年度は起債額11,800千円、償還額52,608千円であったことから、前年度末残高230,739千円と比較すると40,808千円減少し、当年度末残高は189,930千円となっている。

以上が当年度における決算の概要であるが、水産物、青果物両卸売市場とも取扱数量・金額ともに前年度に比べ減少していることから、これまで以上に市場関係者や生産者と緊密に連携し、販路の維持・拡大や地場産品の高付加価値化を図るなど、市場の安定運営に向けた取扱数量・金額の増大に努めるとともに、引き続き安心・安全な生鮮食料品の安定供給にも配慮されるよう要望する。

(6) 介護保険事業特別会計

歳 入

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|------|----------------|----------------|----------------|------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 29年度 | 28,090,794,000 | 28,232,965,803 | 28,080,277,219 | 100.0 | 99.5 | 29,053,321 | 123,635,263 |
| 28年度 | 27,119,670,000 | 27,335,526,260 | 27,188,207,588 | 100.3 | 99.5 | 29,070,650 | 118,248,022 |
| 対前年度 | 増減額 | 971,124,000 | 897,439,543 | | | △17,329 | 5,387,241 |
| | 増減率 | 3.6% | 3.3% | | | △0.1% | 4.6% |

歳 出

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌年度繰越額 C | 不 用 額 A-B-C | |
|------|----------------|----------------|-------------|-------------|----------------|------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 | |
| 29年度 | 28,090,794,000 | 27,637,995,028 | 98.4 | — | 452,798,972 | |
| 28年度 | 27,119,670,000 | 26,759,532,944 | 98.7 | — | 360,137,056 | |
| 対前年度 | 増減額 | 971,124,000 | 878,462,084 | | — | 92,661,916 |
| | 増減率 | 3.6% | 3.3% | | — | 25.7% |

| | |
|----------|--------------|
| 歳入歳出差引残額 | 442,282,191円 |
|----------|--------------|

当年度の決算は、収入済額28,080,277千円、支出済額27,637,995千円であり、歳入歳出差引残額442,282千円となっている。

歳入についてみると、収入済額の予算現額に対する執行率は100.0%（前年度100.3%）、調定額に対する収入率は99.5%（前年度99.5%）となっている。

不納欠損額は29,053千円であり、これは、介護保険料によるものであるが、前年度に比較すると17千円（0.1%）の減少となっている。

収入未済額は123,635千円であり、これは、介護保険料115,675千円などによるものであるが、前年度に比較すると5,387千円（4.6%）の増加となっている。

一方、歳出についてみると、支出済額の予算現額に対する執行率は98.4%（前年度98.7%）となっている。

不用額は452,798千円であり、これは、総務費23,181千円、保険給付費298,204千円、地域支援事業費94,291千円、諸支出金24,248千円などの減によるものである。

1表 歳入款別比較

| 科 目 | 2 9 年 度 | 2 8 年 度 | 対 前 年 度 比 較 | |
|---------------|----------------|----------------|--------------|-------|
| | 金 額 | 金 額 | 増 減 額 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 介 護 保 険 料 | 5,032,454,318 | 4,945,711,590 | 86,742,728 | 1.8 |
| 国 庫 支 出 金 | 6,858,282,400 | 6,606,877,901 | 251,404,499 | 3.8 |
| 支 払 基 金 交 付 金 | 7,391,923,381 | 7,071,028,000 | 320,895,381 | 4.5 |
| 道 支 出 金 | 3,870,212,783 | 3,721,224,790 | 148,987,993 | 4.0 |
| 財 産 収 入 | 363,435 | 237,371 | 126,064 | 53.1 |
| 繰 入 金 | 4,497,452,000 | 4,220,082,000 | 277,370,000 | 6.6 |
| 繰 越 金 | 428,674,644 | 614,645,787 | △185,971,143 | △30.3 |
| 諸 収 入 | 914,258 | 8,400,149 | △7,485,891 | △89.1 |
| 計 | 28,080,277,219 | 27,188,207,588 | 892,069,631 | 3.3 |

2表 介護保険料の収入状況

| 区 分 | 調 定 額 | 収 入 済 額 | 収 入 率 | 不 納 欠 損 額 | 収 入 未 済 額 |
|---------|---------------|---------------|-------|------------|-------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 |
| 2 9 年 度 | 5,177,183,077 | 5,032,454,318 | 97.2 | 29,053,321 | 115,675,438 |
| 現年賦課分 | 5,056,199,380 | 5,001,756,810 | 98.9 | — | 54,442,570 |
| 滞納繰越分 | 120,983,697 | 30,697,508 | 25.4 | 29,053,321 | 61,232,868 |
| 2 8 年 度 | 5,090,203,557 | 4,945,711,590 | 97.2 | 29,070,650 | 115,421,317 |
| 現年賦課分 | 4,968,733,510 | 4,912,684,820 | 98.9 | — | 56,048,690 |
| 滞納繰越分 | 121,470,047 | 33,026,770 | 27.2 | 29,070,650 | 59,372,627 |

3表 介護保険料の収入率の推移

| 区 分 | 現年賦課分 | 滞納繰越分 | 合 計 |
|---------|-------|-------|-------|
| 2 9 年 度 | 98.9% | 25.4% | 97.2% |
| 2 8 年 度 | 98.9% | 27.2% | 97.2% |
| 2 7 年 度 | 98.8% | 27.5% | 97.1% |
| 2 6 年 度 | 98.8% | 23.3% | 97.0% |
| 2 5 年 度 | 98.8% | 26.3% | 97.3% |

収入済額の内訳は1表のとおりであり、前年度に比較すると892,069千円（3.3%）の増加となっているが、これは、繰越金185,971千円などの減があったものの、介護保険料86,742千円、国庫支出金251,404千円、支払基金交付金320,895千円、道支出金148,987千円、繰入金277,370千円などの増があったためである。

なお、介護保険料の収入状況は2表、収入率の推移は3表のとおりであり、当年度の収入率は、現年賦課分で98.9%（前年度98.9%）、滞納繰越分で25.4%（前年度27.2%）、全体では97.2%（前年度97.2%）となっている。

4表 歳出款別比較

| 科 目 | 29年度 | 28年度 | 対前年度比較 | |
|---------|----------------|----------------|--------------|-------|
| | 金額 | 金額 | 増減額 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 総務費 | 250,464,772 | 224,724,524 | 25,740,248 | 11.5 |
| 保険給付費 | 25,541,349,531 | 25,179,920,987 | 361,428,544 | 1.4 |
| 地域支援事業費 | 1,070,701,964 | 389,956,005 | 680,745,959 | 174.6 |
| 保健福祉事業費 | — | 4,480,910 | △4,480,910 | 皆減 |
| 基金積立金 | 256,261,478 | 458,310,639 | △202,049,161 | △44.1 |
| 諸支出金 | 112,934,478 | 110,488,920 | 2,445,558 | 2.2 |
| 職員費 | 406,282,805 | 391,650,959 | 14,631,846 | 3.7 |
| 計 | 27,637,995,028 | 26,759,532,944 | 878,462,084 | 3.3 |

支出済額の内訳は4表のとおりであり、前年度に比較すると878,462千円（3.3%）の増加となっているが、これは、基金積立金202,049千円などの減があったものの、総務費25,740千円、保険給付費361,428千円、地域支援事業費680,745千円などの増があったためである。

以上が当年度における決算の概要であるが、本市では第7次函館市高齢者保健福祉計画・第6期函館市介護保険事業計画に基づき、居宅サービス、施設サービスおよび地域密着型サービスなどを提供しており、高齢者への総合的な生活支援の窓口となる地域包括支援センターの充実を図るなど、地域包括ケアシステムの実現に向けて取り組んでいるところである。

また、当年度は、介護保険制度の改正に伴い、要支援認定者を対象とする軽易な家事支援のみを行う生活援助などを市の独自事業として実施することになったことから、これに従事する人材を育成するため研修を行った。

このほか、65歳以上の市民を対象とした介護予防教室を実施したほか、地域において運動などの介護予防活動に携わる市民グループを育成するなど介護予防のさらなる推進を図っている。

今後においても、高齢化の進行に伴い、これまで以上に介護サービスの需要の高まりが見込まれることから、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、介護予防をはじめ各種施策の推進に取り組むとともに、保険料収入率の向上を図り、安定的な事業運営に努められるよう要望する。

(7) 発電事業特別会計

歳 入

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|------|--------------|------------|--------------|------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 29年度 | 6,000,000 | 6,017,845 | 6,017,845 | 100.3 | 100.0 | — | 0 |
| 28年度 | 3,400,000 | 5,270,663 | 5,270,663 | 155.0 | 100.0 | — | 0 |
| 対前年度 | 増減額 | 2,600,000 | 747,182 | / | / | — | 0 |
| | 増減率 | 76.5% | 14.2% | / | / | — | — |

歳 出

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌年度繰越額 C | 不 用 額 A-B-C | |
|------|--------------|--------------|------------|-------------|----------------|---------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 | |
| 29年度 | 6,000,000 | 5,217,094 | 87.0 | — | 782,906 | |
| 28年度 | 3,400,000 | 2,930,075 | 86.2 | — | 469,925 | |
| 対前年度 | 増減額 | 2,600,000 | 2,287,019 | / | — | 312,981 |
| | 増減率 | 76.5% | 78.1% | / | — | 66.6% |

| | |
|----------|----------|
| 歳入歳出差引残額 | 800,751円 |
|----------|----------|

当年度の決算は、収入済額6,017千円、支出済額5,217千円であり、歳入歳出差引残額800千円となっている。

歳入についてみると、収入済額の予算現額に対する執行率は100.3%（前年度155.0%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。

一方、歳出についてみると、支出済額の予算現額に対する執行率は87.0%（前年度86.2%）となっている。

不用額は782千円であり、これは、発電事業費282千円、予備費500千円の減によるものである。

1表 歳入款別比較

| 科 目 | 29年度 | 28年度 | 対前年度比較 | |
|------|-----------|-----------|-----------|------|
| | 金額 | 金額 | 増減額 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 事業収入 | 3,677,257 | 4,030,718 | △353,461 | △8.8 |
| 繰越金 | 2,340,588 | 1,239,945 | 1,100,643 | 88.8 |
| 計 | 6,017,845 | 5,270,663 | 747,182 | 14.2 |

2表 歳出款別比較

| 科 目 | 29年度 | 28年度 | 対前年度比較 | |
|-------|-----------|-----------|-----------|-------|
| | 金額 | 金額 | 増減額 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 発電事業費 | 417,094 | 730,075 | △312,981 | △42.9 |
| 諸支出金 | 4,800,000 | 2,200,000 | 2,600,000 | 118.2 |
| 計 | 5,217,094 | 2,930,075 | 2,287,019 | 78.1 |

収入済額の内訳は1表のとおりであり、前年度に比較すると747千円（14.2%）の増加となっているが、これは、事業収入353千円の減があったものの、繰越金1,100千円の増があったためである。

また、支出済額の内訳は2表のとおりであり、前年度に比較すると2,287千円（78.1%）の増加となっているが、これは、発電事業費312千円の減があったものの、諸支出金2,600千円の増があったためである。

以上が当年度における決算の概要であるが、今後においても、施設の適切な維持管理のもと、安定した事業収入の確保に努められるよう要望する。

(8) 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計

歳 入

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|------|--------------|-------------|--------------|------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 29年度 | 163,263,000 | 413,968,386 | 167,990,402 | 102.9 | 40.6 | 1,855,496 | 244,122,488 |
| 28年度 | 129,447,000 | 416,873,510 | 169,901,885 | 131.3 | 40.8 | 2,738,600 | 244,233,025 |
| 対前年度 | 増減額 | △2,905,124 | △1,911,483 | | | △883,104 | △110,537 |
| | 増減率 | 26.1% | △0.7% | △1.1% | | △32.2% | △0.0% |

歳 出

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌年度繰越額 C | 不 用 額 A-B-C |
|------|--------------|--------------|------------|-------------|----------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 |
| 29年度 | 163,263,000 | 70,092,072 | 42.9 | — | 93,170,928 |
| 28年度 | 129,447,000 | 79,565,447 | 61.5 | — | 49,881,553 |
| 対前年度 | 増減額 | △9,473,375 | | | 43,289,375 |
| | 増減率 | 26.1% | △11.9% | | 86.8% |

| | |
|----------|-------------|
| 歳入歳出差引残額 | 97,898,330円 |
|----------|-------------|

当年度の決算は、収入済額167,990千円、支出済額70,092千円であり、歳入歳出差引残額97,898千円となっている。

歳入についてみると、収入済額の予算現額に対する執行率は102.9%（前年度131.3%）、調定額に対する収入率は40.6%（前年度40.8%）となっている。

不納欠損額は1,855千円であり、これは、諸収入によるものであるが、前年度に比較すると883千円（32.2%）の減少となっている。

収入未済額は244,122千円であり、これは、諸収入によるものであるが、前年度に比較すると110千円（0.0%）の減少となっている。

一方、歳出についてみると、支出済額の予算現額に対する執行率は42.9%（前年度61.5%）となっている。

不用額は93,170千円であり、これは、貸付事業費29,396千円、予備費63,774千円の減によるものである。

1表 歳入款別比較

| 科 目 | 29年度 | 28年度 | 対前年度比較 | |
|-----|-------------|-------------|------------|------|
| | 金額 | 金額 | 増減額 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 繰入金 | 1,350,000 | 1,300,000 | 50,000 | 3.8 |
| 繰越金 | 90,336,438 | 89,396,502 | 939,936 | 1.1 |
| 諸収入 | 76,303,964 | 79,205,383 | △2,901,419 | △3.7 |
| 計 | 167,990,402 | 169,901,885 | △1,911,483 | △1.1 |

2表 貸付金収入の状況

| 区分 | 調定額 | 収入済額 | 収入率 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------|-------------|------------|------|-----------|-------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 |
| 29年度 | 322,256,836 | 76,278,852 | 23.7 | 1,855,496 | 244,122,488 |
| 現年度分 | 78,023,811 | 57,479,139 | 73.7 | — | 20,544,672 |
| 滞納繰越分 | 244,233,025 | 18,799,713 | 7.7 | 1,855,496 | 223,577,816 |
| 28年度 | 326,177,008 | 79,205,383 | 24.3 | 2,738,600 | 244,233,025 |
| 現年度分 | 78,026,308 | 58,714,702 | 75.2 | — | 19,311,606 |
| 滞納繰越分 | 248,150,700 | 20,490,681 | 8.3 | 2,738,600 | 224,921,419 |

収入済額の内訳は1表のとおりであり、前年度に比較すると1,911千円（1.1%）の減少となっている。

なお、諸収入のうち貸付金収入の状況は2表のとおりであり、収入率は、現年度分で73.7%（前年度75.2%）、滞納繰越分で7.7%（前年度8.3%）、全体では23.7%（前年度24.3%）となっている。

3表 歳出款別比較

| 科 目 | 2 9 年 度 | 2 8 年 度 | 対 前 年 度 比 較 | |
|-----------|-----------------|-----------------|-----------------|------------|
| | 金 額 | 金 額 | 増 減 額 | 増減率 |
| 貸 付 事 業 費 | 円 70,092,072 | 円 79,565,447 | 円 △9,473,375 | % △11.9 |
| 計 | 70,092,072 | 79,565,447 | △9,473,375 | △11.9 |

4表 貸付金の貸付状況

| 区 分 | 2 5 年 度 | | 2 6 年 度 | | 2 7 年 度 | | 2 8 年 度 | | 2 9 年 度 | |
|------|--------------|------------|--------------|------------|--------------|------------|--------------|------------|-------------|------------|
| | 人 () | 円 | 人 () | 円 | 人 () | 円 | 人 () | 円 | 人 () | 円 |
| 修 学 | (33) 90 | 42,467,000 | (41) 80 | 33,146,000 | (44) 93 | 41,011,000 | (26) 77 | 38,790,000 | (29) 70 | 38,857,800 |
| 技能習得 | (4) 4 | 1,580,000 | (6) 6 | 3,518,000 | (5) 5 | 1,508,000 | (5) 5 | 2,278,500 | (2) 2 | 676,000 |
| 生 活 | (28) 41 | 25,736,000 | (20) 27 | 14,870,000 | (11) 15 | 14,235,000 | (14) 21 | 16,612,000 | (8) 14 | 14,590,000 |
| 就学支度 | (90) 90 | 24,260,000 | (102) 102 | 33,830,000 | (73) 73 | 20,090,000 | (62) 62 | 18,578,000 | (50) 50 | 12,999,000 |
| 就職支度 | (0) 0 | 0 | (3) 3 | 390,000 | (7) 7 | 920,000 | (4) 4 | 350,000 | (2) 2 | 145,000 |
| 医療介護 | (0) 0 | 0 | (0) 0 | 0 | (1) 1 | 104,000 | (0) 0 | 0 | (0) 0 | 0 |
| 事業開始 | (0) 0 | 0 | (0) 0 | 0 | (0) 0 | 0 | (0) 0 | 0 | (0) 0 | 0 |
| 転 宅 | (2) 2 | 430,000 | (9) 9 | 1,790,000 | (4) 4 | 905,000 | (3) 3 | 521,000 | (3) 3 | 385,000 |
| 修 業 | (4) 4 | 1,070,000 | (12) 12 | 3,314,000 | (3) 3 | 820,000 | (4) 4 | 1,170,000 | (5) 5 | 1,410,000 |
| 住 宅 | (0) 0 | 0 | (1) 1 | 800,000 | (0) 0 | 0 | (0) 0 | 0 | (0) 0 | 0 |
| 計 | (161) 231 | 95,543,000 | (194) 240 | 91,658,000 | (148) 201 | 79,593,000 | (118) 176 | 78,299,500 | (99) 146 | 69,062,800 |

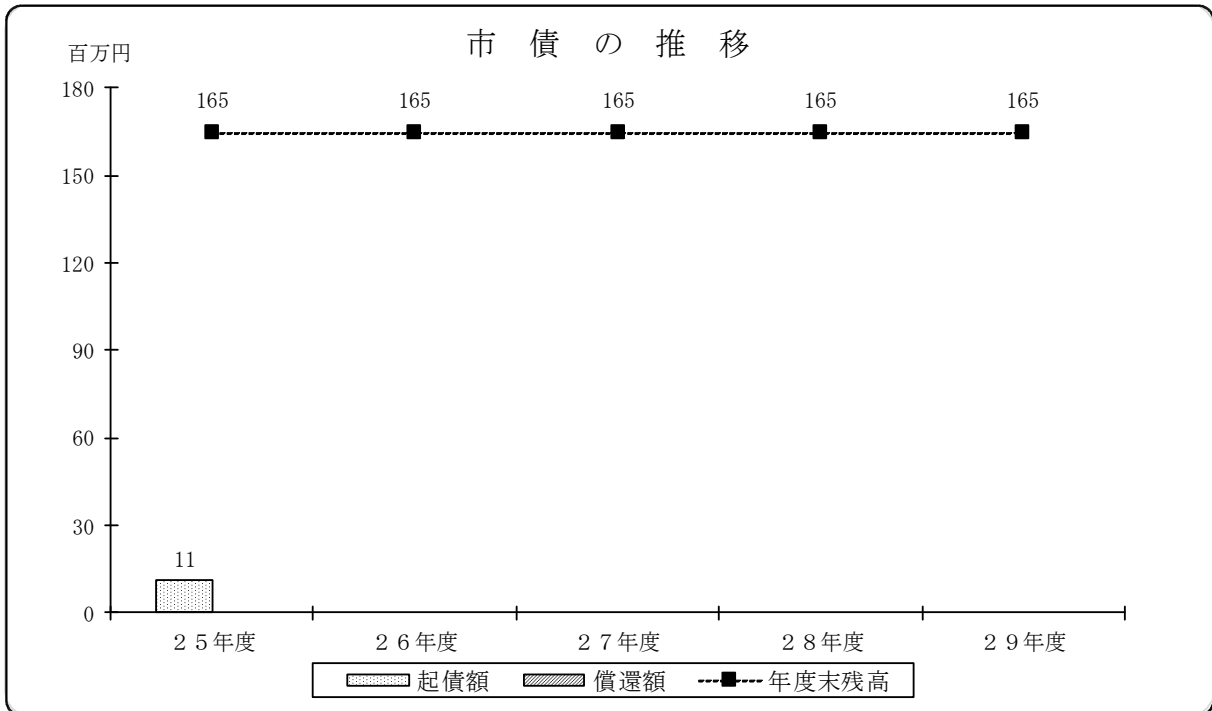
※ () 内は新規貸付者を内書きした。

支出済額の内訳は3表のとおりであり、前年度に比較すると9,473千円(11.9%)の減少となっているが、これは、貸付事業費における就学支度貸付金の減などによるものである。

貸付金の貸付状況は4表のとおりであり、新規分99人、継続分47人で合計146人となっている。

5表 市債残高の状況

| 29年度 | | | 28年度 | | | 対前年度比較 | | |
|------|-----|---------|------|-----|---------|--------|-----|-------|
| 起債額 | 償還額 | 年度末残高 | 起債額 | 償還額 | 年度末残高 | 起債額 | 償還額 | 年度末残高 |
| 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| — | — | 165,192 | — | — | 165,192 | — | — | 0 |



市債残高の状況は5表のとおりであり、当年度は起債および償還が行われなかったため、前年度末残高と同額の165,192千円となっている。

以上が当年度における決算の概要であるが、当年度の貸付金収入の収入率は、現年度分、滞納繰越分ともに前年度を下回り、全体で0.6ポイントの減と依然として低迷しており、多額の収入未済額を生じていることから、収入の確保に向け適切な対策を講じ、制度の健全な運営を図られるよう要望する。

(9) 後期高齢者医療事業特別会計

歳 入

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|------|---------------|---------------|---------------|-------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 29年度 | 3,988,417,000 | 4,021,208,901 | 3,994,845,828 | 100.2 | 99.3 | 5,877,637 | 20,485,436 |
| 28年度 | 3,898,130,000 | 3,918,646,899 | 3,890,721,161 | 99.8 | 99.3 | 6,061,300 | 21,864,438 |
| 対前年度 | 増減額 | 90,287,000 | 102,562,002 | 104,124,667 | | △183,663 | △1,379,002 |
| | 増減率 | 2.3% | 2.6% | 2.7% | | △3.0% | △6.3% |

歳 出

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌年度繰越額 C | 不 用 額 A-B-C |
|------|---------------|---------------|------------|-------------|----------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 |
| 29年度 | 3,988,417,000 | 3,896,684,535 | 97.7 | — | 91,732,465 |
| 28年度 | 3,898,130,000 | 3,822,749,405 | 98.1 | — | 75,380,595 |
| 対前年度 | 増減額 | 90,287,000 | 73,935,130 | | 16,351,870 |
| | 増減率 | 2.3% | 1.9% | | 21.7% |

| | |
|----------|-------------|
| 歳入歳出差引残額 | 98,161,293円 |
|----------|-------------|

当年度の決算は、収入済額3,994,845千円、支出済額3,896,684千円であり、歳入歳出差引残額98,161千円となっている。

歳入についてみると、収入済額の予算現額に対する執行率は100.2%（前年度99.8%）、調定額に対する収入率は99.3%（前年度99.3%）となっている。

不納欠損額は5,877千円であり、これは、後期高齢者医療保険料によるものであるが、前年度と比較すると183千円（3.0%）の減少となっている。

収入未済額は20,485千円であり、これは、後期高齢者医療保険料によるものであるが、前年度と比較すると1,379千円（6.3%）の減少となっている。

一方、歳出についてみると、支出済額の予算現額に対する執行率は97.7%（前年度98.1%）となっている。

不用額は91,732千円であり、これは、総務費3,119千円、後期高齢者医療広域連合納付金77,965千円、諸支出金7,678千円などの減によるものである。

1表 歳入款別比較

| 科 目 | 29年度 | 28年度 | 対前年度比較 | |
|---------------|---------------|---------------|-------------|------|
| | 金額 | 金額 | 増減額 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 後期高齢者医療保険料 | 2,774,107,365 | 2,721,123,252 | 52,984,113 | 1.9 |
| 道 支 出 金 | 1,117,000 | 1,129,000 | △12,000 | △1.1 |
| 広 域 連 合 支 出 金 | 984,051 | — | 984,051 | 皆増 |
| 繰 入 金 | 1,074,029,000 | 1,022,861,000 | 51,168,000 | 5.0 |
| 繰 越 金 | 67,971,756 | 75,401,857 | △7,430,101 | △9.9 |
| 諸 収 入 | 76,636,656 | 70,206,052 | 6,430,604 | 9.2 |
| 計 | 3,994,845,828 | 3,890,721,161 | 104,124,667 | 2.7 |

2表 後期高齢者医療保険料の収入状況

| 区 分 | 調 定 額 | 収 入 済 額 | 収 入 率 | 不 納 欠 損 額 | 収 入 未 済 額 |
|-----------|---------------|---------------|-------|-----------|------------|
| | 円 | 円 | % | | 円 |
| 29年度 | 2,800,470,438 | 2,774,107,365 | 99.1 | 5,877,637 | 20,485,436 |
| 現 年 分 | 2,776,797,900 | 2,765,015,277 | 99.6 | — | 11,782,623 |
| 滞 納 繰 越 分 | 23,672,538 | 9,092,088 | 38.4 | 5,877,637 | 8,702,813 |
| 28年度 | 2,749,048,990 | 2,721,123,252 | 99.0 | 6,061,300 | 21,864,438 |
| 現 年 分 | 2,720,812,000 | 2,709,632,135 | 99.6 | — | 11,179,865 |
| 滞 納 繰 越 分 | 28,236,990 | 11,491,117 | 40.7 | 6,061,300 | 10,684,573 |

3表 後期高齢者医療保険料の収入率の推移

| 区 分 | 現 年 分 | 滞 納 繰 越 分 | 合 計 |
|------|-------|-----------|-------|
| 29年度 | 99.6% | 38.4% | 99.1% |
| 28年度 | 99.6% | 40.7% | 99.0% |
| 27年度 | 99.5% | 38.5% | 98.9% |
| 26年度 | 99.5% | 37.4% | 98.8% |
| 25年度 | 99.5% | 47.1% | 98.8% |

収入済額の内訳は1表のとおりであり、前年度に比較すると104,124千円（2.7%）の増加となっているが、これは、繰越金7,430千円などの減があったものの、後期高齢者医療保険料52,984千円、繰入金51,168千円、諸収入6,430千円の増があったためである。

なお、後期高齢者医療保険料の収入状況は2表、収入率の推移は3表のとおりであり、当年度の収入率は、現年分で99.6%（前年度99.6%）、滞納繰越分で38.4%（前年度40.7%）、全体では99.1%（前年度99.0%）となっている。

4表 歳出款別比較

| 科 目 | 2 9 年 度 | 2 8 年 度 | 対 前 年 度 比 較 | |
|-----------------------------|---------------|---------------|-------------|------|
| | 金 額 | 金 額 | 増 減 額 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 総 務 費 | 35,952,250 | 32,207,703 | 3,744,547 | 11.6 |
| 保 健 事 業 費 | 74,422,586 | 70,082,867 | 4,339,719 | 6.2 |
| 後 期 高 齢 者 医 療 広 域 連 合 納 付 金 | 3,726,793,498 | 3,664,056,356 | 62,737,142 | 1.7 |
| 諸 支 出 金 | 2,821,200 | 2,333,300 | 487,900 | 20.9 |
| 職 員 費 | 56,695,001 | 54,069,179 | 2,625,822 | 4.9 |
| 計 | 3,896,684,535 | 3,822,749,405 | 73,935,130 | 1.9 |

支出済額の内訳は4表のとおりであり、前年度に比較すると73,935千円（1.9%）の増加となっているが、これは、後期高齢者医療広域連合納付金62,737千円などの増によるものである。

以上が当年度における決算の概要であるが、引き続き、保険者である北海道後期高齢者医療広域連合と連携のもと、円滑な制度の運営に努められるよう要望する。

4 財産に関する調書

平成29年度における一般会計および各特別会計を合わせた本市財産の増減高および現在高は、次のとおりである。

| 区 分 | 前 年 度 末 現 在 高 | 決 算 年 度 中 増 減 高 | | | 決 算 年 度 末 現 在 高 |
|------------------|------------------|-----------------|------------|------------|--------------------|
| | | 増 | 減 | 差 引 | |
| 公 有 財 産 | | | | | |
| 土 地 (㎡) | 58,456,244.97 | 115,138.37 | 137,440.13 | △22,301.76 | 58,433,943.21 |
| 建 物 (㎡) | 1,174,146.89 | 20,346.89 | 16,049.80 | 4,297.09 | 1,178,443.98 |
| 山 林 (㎡) | 788,861.00 | 104,481.00 | 1,417.00 | 103,064.00 | 891,925.00 |
| 動 産 | | | | | |
| 船 舶 (隻) | 2 | — | — | — | 2 |
| 浮 標 (個) | 2 | — | — | — | 2 |
| 浮 さん 橋 (個) | 1 | — | — | — | 1 |
| 浮 さん 橋 (基) | 7 | — | — | — | 7 |
| 物 権 | | | | | |
| 地 上 権 (㎡) | 357.26 | — | — | — | 357.26 |
| 温 泉 権 (か所) | 11 | — | — | — | 11 |
| 無 体 財 産 権 (件) | 11 | — | — | — | 11 |
| 有 価 証 券 (千円) | 289,644 | — | — | — | 289,644 |
| 出 資 による 権 利 (千円) | 2,180,663 | 3,000 | 10,000 | △7,000 | 2,173,663 |
| 物 品 (点) | 1,841 | 40 | 39 | 1 | 1,842 |
| 債 権 (千円) | 3,145,657 | 1,676,046 | 1,579,495 | 96,551 | 3,242,208 |
| 基 金 (千円) | 14,015,335 | 3,742,041 | 4,609,349 | △867,308 | 13,148,027 |

(注) 物品は、1点50万円以上のものについて記載している。

当年度における財産の増減内訳は、次のとおりである。

(1) 公有財産

土地は、前年度末現在高58,456,244.97㎡に対し、購入、組替、更正などによる増115,138.37㎡、売払、組替、更正などによる減137,440.13㎡により22,301.76㎡減少している。

このうち組替、更正によるものを除く実質的な増減のうち増の主なものは、函館駅前市有地等整備事業予定地6,352.04㎡の購入であり、減の主なものは、もと五稜中学校16,479.28㎡の売払、港湾事業特別会計における港町ふ頭分譲地6,011.25㎡の売払である。

建物は、前年度末現在高1,174,146.89㎡に比較し4,297.09㎡増加している。

このうち増となった主なものは、巴中学校校舎等9,519.00㎡の新築、日吉町4丁目貸建物355.49㎡の新築であり、減となった主なものは、もと五稜中学校5,475.00㎡の解体、もと臼尻保育園604.44㎡の売払である。

山林は、立木の推定蓄積量が前年度末現在高788,861.00㎡に比較し103,064.00㎡増加しているが、これは、間伐などによる減1,417.00㎡があったものの、自然成長による増104,481.00㎡

があったためである。

出資による権利は、前年度末現在高2,180,663千円に比較し7,000千円減少しているが、これは、一般財団法人函館市学校給食会への出せん3,000千円の皆増があったものの、S P C函館本町開発株式会社の株式一部譲渡による10,000千円の減があったためである。

(2) 物 品

物品は、前年度末現在高1,841点に比較し1点増加している。

増となった主なものは、箱棚台類であり、減となった主なものは、諸車類である。

(3) 債 権

債権は、前年度末現在高3,145,657千円に比較し96,551千円増加している。

増となった主なものは、個人市民税（特別徴収分）52,310千円、地域総合整備資金貸付金74,962千円であり、減となった主なものは、奨学資金貸付金20,398千円である。

(4) 基 金

基金は、前年度末現在高14,015,335千円に比較し867,308千円減少している。

増となった主なものは、財政調整基金1,588,993千円、観光振興基金400,000千円、競輪事業施設整備基金146,500千円であり、減となった主なものは、公共施設整備等基金607,622千円、在宅福祉ふれあい基金1,279,643千円、国際交流基金190,653千円、西部地区歴史的町並み基金285,208千円、スポーツ振興基金90,327千円、地域振興基金448,146千円、介護給付費準備基金149,311千円である。

なお、在宅福祉ふれあい基金、国際交流基金、西部地区歴史的町並み基金、スポーツ振興基金については、平成29年4月1日付けで廃止された。

以上、財産に関する調書において、当年度における財産の状況を、財産異動明細書等の関係書類に基づき照合し審査した結果、正確に表示されているものと認められた。

今後も、財産の管理にあたっては、適正かつ効率的な運用に努められるとともに、財産の利用実態の把握に努め、遊休地化している市有地の売却など有効活用の方策を積極的に検討されるよう要望する。

決算審査資料

目 次

| | ページ |
|---------------------------|-----|
| 1表 各会計歳入款別一覧表 | 2 |
| 2表 各会計不納欠損額年度比較表 | 8 |
| 3表 各会計収入未済額年度比較表 | 9 |
| 4表 各会計歳出款別一覧表 | 10 |
| 5表 各会計別財産の増減高および現在高 | 16 |
| 6表 基金年度末現在高比較表 | 18 |

[注 記]

表示単位は、金額については円、構成比等についてはパーセント（小数点第2位四捨五入）である。

平成 2 9 年 度 各 会 計 歳 入 款 別 一 覧 表

1 表

| 科 目 | 予 算 現 額 | | 調 定 額 | | 収 入 |
|--------------------------------------|-----------------|------------|-----------------|------------|-----------------|
| | 金 額 A | 構 成 比 率 | 金 額 B | 構 成 比 率 | 金 額 C |
| 一 般 会 計 | 141,898,004,334 | 100.0 | 141,745,235,942 | 100.0 | 139,658,143,494 |
| 市 税 | 31,930,000,000 | 22.5 | 33,408,341,229 | 23.6 | 32,208,730,255 |
| 地 方 譲 与 税 | 723,200,000 | 0.5 | 727,705,187 | 0.5 | 727,705,187 |
| 利 子 割 交 付 金 | 24,000,000 | 0.0 | 52,994,000 | 0.0 | 52,994,000 |
| 配 当 割 交 付 金 | 97,000,000 | 0.1 | 75,117,000 | 0.1 | 75,117,000 |
| 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金 | 69,000,000 | 0.0 | 75,808,000 | 0.1 | 75,808,000 |
| 地 方 消 費 税 交 付 金 | 5,200,600,000 | 3.7 | 5,308,151,000 | 3.7 | 5,308,151,000 |
| ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金 | 14,000,000 | 0.0 | 13,029,800 | 0.0 | 13,029,800 |
| 自 動 車 取 得 税 交 付 金 | 143,300,000 | 0.1 | 172,195,000 | 0.1 | 172,195,000 |
| 国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金 | 2,200,000 | 0.0 | 2,197,000 | 0.0 | 2,197,000 |
| 地 方 特 例 交 付 金 | 119,600,000 | 0.1 | 118,594,000 | 0.1 | 118,594,000 |
| 地 方 交 付 税 | 32,856,000,000 | 23.2 | 32,950,474,000 | 23.2 | 32,950,474,000 |
| 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金 | 47,900,000 | 0.0 | 47,490,000 | 0.0 | 47,490,000 |
| 分 担 金 及 び 負 担 金 | 365,594,000 | 0.3 | 479,058,211 | 0.3 | 368,778,675 |
| 使 用 料 及 び 手 数 料 | 3,632,738,000 | 2.6 | 3,632,228,591 | 2.6 | 3,572,986,302 |
| 国 庫 支 出 金 | 29,109,520,084 | 20.5 | 29,130,699,858 | 20.6 | 29,130,699,858 |
| 道 支 出 金 | 7,757,167,000 | 5.5 | 7,612,117,520 | 5.4 | 7,612,117,520 |
| 財 産 収 入 | 643,784,000 | 0.5 | 663,438,735 | 0.5 | 653,545,525 |
| 寄 付 金 | 983,769,000 | 0.7 | 787,373,129 | 0.6 | 787,373,129 |
| 繰 入 金 | 5,077,191,000 | 3.6 | 3,939,709,271 | 2.8 | 3,939,709,271 |
| 繰 越 金 | 1,509,982,988 | 1.1 | 1,509,982,508 | 1.1 | 1,509,982,508 |
| 諸 収 入 | 8,511,258,262 | 6.0 | 9,293,231,903 | 6.6 | 8,585,165,464 |
| 市 債 | 13,080,200,000 | 9.2 | 11,745,300,000 | 8.3 | 11,745,300,000 |
| 特 別 会 計 | 88,880,545,333 | / | 90,450,926,552 | / | 87,933,209,287 |
| 港 湾 事 業 | 3,669,218,333 | 100.0 | 3,688,045,123 | 100.0 | 3,687,514,047 |
| 使 用 料 及 び 手 数 料 | 308,833,000 | 8.4 | 327,469,421 | 8.9 | 327,342,845 |
| 国 庫 支 出 金 | 121,865,000 | 3.3 | 121,865,811 | 3.3 | 121,865,811 |
| 道 支 出 金 | 10,983,000 | 0.3 | 10,983,000 | 0.3 | 10,983,000 |
| 財 産 収 入 | 144,973,000 | 4.0 | 145,611,220 | 3.9 | 145,611,220 |
| 繰 入 金 | 1,891,550,000 | 51.6 | 1,891,550,000 | 51.3 | 1,891,550,000 |
| 繰 越 金 | 31,069,333 | 0.8 | 31,069,367 | 0.8 | 31,069,367 |
| 諸 収 入 | 51,545,000 | 1.4 | 51,096,304 | 1.4 | 50,691,804 |
| 市 債 | 1,108,400,000 | 30.2 | 1,108,400,000 | 30.1 | 1,108,400,000 |

| 済 額 | | | 不 納 欠 損 額 | | | 収 入 未 済 額 | | |
|------------|------------|------------|-------------|------------|-------------|---------------|------------|-------------|
| 構 成 比 率 | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 金 額 D | 構 成 比 率 | 対調定比 D/B | 金 額 E | 構 成 比 率 | 対調定比 E/B |
| 100.0 | 98.4 | 98.5 | 319,775,171 | 100.0 | 0.2 | 1,767,317,277 | 100.0 | 1.2 |
| 23.1 | 100.9 | 96.4 | 252,459,731 | 78.9 | 0.8 | 947,151,243 | 53.6 | 2.8 |
| 0.5 | 100.6 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.0 | 220.8 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.1 | 77.4 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.1 | 109.9 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 3.8 | 102.1 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.0 | 93.1 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.1 | 120.2 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.0 | 99.9 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.1 | 99.2 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 23.6 | 100.3 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.0 | 99.1 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.3 | 100.9 | 77.0 | 5,826,980 | 1.8 | 1.2 | 104,452,556 | 5.9 | 21.8 |
| 2.6 | 98.4 | 98.4 | 2,326,821 | 0.7 | 0.1 | 56,915,468 | 3.2 | 1.6 |
| 20.9 | 100.1 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 5.5 | 98.1 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.5 | 101.5 | 98.5 | 214,080 | 0.1 | 0.0 | 9,679,130 | 0.5 | 1.5 |
| 0.6 | 80.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 2.8 | 77.6 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 1.1 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 6.1 | 100.9 | 92.4 | 58,947,559 | 18.4 | 0.6 | 649,118,880 | 36.7 | 7.0 |
| 8.4 | 89.8 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| | 98.9 | 97.2 | 713,867,903 | | 0.8 | 1,803,849,362 | | 2.0 |
| 100.0 | 100.5 | 100.0 | 2,646 | 100.0 | 0.0 | 528,430 | 100.0 | 0.0 |
| 8.9 | 106.0 | 100.0 | 2,646 | 100.0 | 0.0 | 123,930 | 23.5 | 0.0 |
| 3.3 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.3 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 3.9 | 100.4 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 51.3 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.8 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 1.4 | 98.3 | 99.2 | — | — | — | 404,500 | 76.5 | 0.8 |
| 30.1 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |

1 表

| 科 目 | 予 算 現 額 | | 調 定 額 | | 収 入 |
|---------------|----------------|------------|----------------|------------|----------------|
| | 金 額 A | 構 成 比 率 | 金 額 B | 構 成 比 率 | 金 額 C |
| 国民健康保険事業 | 37,920,545,000 | 100.0 | 39,040,736,633 | 100.0 | 36,983,036,415 |
| 国民健康保険料 | 5,291,968,000 | 14.0 | 7,435,163,009 | 19.0 | 5,419,802,304 |
| 使用料及び手数料 | 1,000 | 0.0 | — | — | — |
| 国庫支出金 | 7,760,712,000 | 20.5 | 8,376,073,101 | 21.5 | 8,376,073,101 |
| 療養給付費等交付金 | 603,808,000 | 1.6 | 507,350,000 | 1.3 | 507,350,000 |
| 前期高齢者交付金 | 9,163,562,000 | 24.2 | 9,170,490,493 | 23.5 | 9,170,490,493 |
| 道 支 出 金 | 1,871,787,000 | 4.9 | 1,709,893,000 | 4.4 | 1,709,893,000 |
| 共 同 事 業 交 付 金 | 9,018,143,000 | 23.8 | 7,846,167,564 | 20.1 | 7,846,167,564 |
| 繰 入 金 | 4,180,454,000 | 11.0 | 3,900,029,000 | 10.0 | 3,900,029,000 |
| 諸 収 入 | 30,110,000 | 0.1 | 95,570,466 | 0.2 | 53,230,953 |
| 自転車競走事業 | 14,589,887,000 | 100.0 | 14,571,370,723 | 100.0 | 14,571,370,723 |
| 事業収入 | 14,502,872,000 | 99.4 | 14,502,872,400 | 99.5 | 14,502,872,400 |
| 諸 収 入 | 87,015,000 | 0.6 | 68,498,323 | 0.5 | 68,498,323 |
| 奨学資金 | 34,537,000 | 100.0 | 66,980,133 | 100.0 | 34,587,533 |
| 財 産 収 入 | 226,000 | 0.7 | 224,155 | 0.3 | 224,155 |
| 寄 付 金 | 410,000 | 1.2 | 410,000 | 0.6 | 410,000 |
| 繰 越 金 | 2,892,000 | 8.4 | 2,892,718 | 4.3 | 2,892,718 |
| 諸 収 入 | 31,009,000 | 89.8 | 63,453,260 | 94.7 | 31,060,660 |
| 地方卸売市場事業 | 417,884,000 | 100.0 | 409,633,005 | 100.0 | 407,569,275 |
| 使用料及び手数料 | 139,425,000 | 33.4 | 139,864,488 | 34.1 | 138,699,524 |
| 財 産 収 入 | 3,787,000 | 0.9 | 3,787,164 | 0.9 | 3,787,164 |
| 繰 入 金 | 185,362,000 | 44.4 | 185,362,000 | 45.3 | 185,362,000 |
| 繰 越 金 | 9,723,000 | 2.3 | 9,723,762 | 2.4 | 9,723,762 |
| 諸 収 入 | 67,787,000 | 16.2 | 59,095,591 | 14.4 | 58,196,825 |
| 市 債 | 11,800,000 | 2.8 | 11,800,000 | 2.9 | 11,800,000 |

| 済 額 | | | 不 納 欠 損 額 | | | 収 入 未 済 額 | | |
|------------|------------|------------|-------------|------------|-------------|---------------|------------|-------------|
| 構 成 比 率 | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 金 額 D | 構 成 比 率 | 対調定比 D/B | 金 額 E | 構 成 比 率 | 対調定比 E/B |
| 100.0 | 97.5 | 94.7 | 677,054,803 | 100.0 | 1.7 | 1,380,645,415 | 100.0 | 3.5 |
| 14.7 | 102.4 | 72.9 | 674,838,974 | 99.7 | 9.1 | 1,340,521,731 | 97.1 | 18.0 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 22.6 | 107.9 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 1.4 | 84.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 24.8 | 100.1 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 4.6 | 91.4 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 21.2 | 87.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 10.5 | 93.3 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.1 | 176.8 | 55.7 | 2,215,829 | 0.3 | 2.3 | 40,123,684 | 2.9 | 42.0 |
| 100.0 | 99.9 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 99.5 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.5 | 78.7 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 100.0 | 100.1 | 51.6 | 24,000 | 100.0 | 0.0 | 32,368,600 | 100.0 | 48.3 |
| 0.6 | 99.2 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 1.2 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 8.4 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 89.8 | 100.2 | 49.0 | 24,000 | 100.0 | 0.0 | 32,368,600 | 100.0 | 51.0 |
| 100.0 | 97.5 | 99.5 | — | — | — | 2,063,730 | 100.0 | 0.5 |
| 34.0 | 99.5 | 99.2 | — | — | — | 1,164,964 | 56.4 | 0.8 |
| 0.9 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 45.5 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 2.4 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 14.3 | 85.9 | 98.5 | — | — | — | 898,766 | 43.6 | 1.5 |
| 2.9 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |

1 表

| 科 目 | 予 算 現 額 | | 調 定 額 | | 収 入 |
|---------------------|-----------------|------------|-----------------|------------|-----------------|
| | 金 額 A | 構 成 比 率 | 金 額 B | 構 成 比 率 | 金 額 C |
| 介 護 保 險 事 業 | 28,090,794,000 | 100.0 | 28,232,965,803 | 100.0 | 28,080,277,219 |
| 介 護 保 險 料 | 5,009,732,000 | 17.8 | 5,177,183,077 | 18.3 | 5,032,454,318 |
| 使 用 料 及 び 手 数 料 | 1,000 | 0.0 | — | — | — |
| 国 庫 支 出 金 | 6,867,486,000 | 24.4 | 6,858,282,400 | 24.3 | 6,858,282,400 |
| 支 払 基 金 交 付 金 | 7,450,043,000 | 26.5 | 7,391,923,381 | 26.2 | 7,391,923,381 |
| 道 支 出 金 | 3,836,061,000 | 13.7 | 3,870,212,783 | 13.7 | 3,870,212,783 |
| 財 産 収 入 | 363,000 | 0.0 | 363,435 | 0.0 | 363,435 |
| 繰 入 金 | 4,497,452,000 | 16.0 | 4,497,452,000 | 15.9 | 4,497,452,000 |
| 繰 越 金 | 428,675,000 | 1.5 | 428,674,644 | 1.5 | 428,674,644 |
| 諸 収 入 | 981,000 | 0.0 | 8,874,083 | 0.0 | 914,258 |
| 発 電 事 業 | 6,000,000 | 100.0 | 6,017,845 | 100.0 | 6,017,845 |
| 事 業 収 入 | 3,671,000 | 61.2 | 3,677,257 | 61.1 | 3,677,257 |
| 繰 越 金 | 2,329,000 | 38.8 | 2,340,588 | 38.9 | 2,340,588 |
| 母子父子寡婦福祉資金貸付事業 | 163,263,000 | 100.0 | 413,968,386 | 100.0 | 167,990,402 |
| 繰 入 金 | 1,350,000 | 0.8 | 1,350,000 | 0.3 | 1,350,000 |
| 繰 越 金 | 84,171,000 | 51.6 | 90,336,438 | 21.8 | 90,336,438 |
| 諸 収 入 | 77,742,000 | 47.6 | 322,281,948 | 77.9 | 76,303,964 |
| 後 期 高 齢 者 医 療 事 業 | 3,988,417,000 | 100.0 | 4,021,208,901 | 100.0 | 3,994,845,828 |
| 後 期 高 齢 者 医 療 保 険 料 | 2,760,748,000 | 69.2 | 2,800,470,438 | 69.6 | 2,774,107,365 |
| 使 用 料 及 び 手 数 料 | 1,000 | 0.0 | — | — | — |
| 道 支 出 金 | 1,136,000 | 0.0 | 1,117,000 | 0.0 | 1,117,000 |
| 広 域 連 合 支 出 金 | — | — | 984,051 | 0.0 | 984,051 |
| 繰 入 金 | 1,074,029,000 | 26.9 | 1,074,029,000 | 26.7 | 1,074,029,000 |
| 繰 越 金 | 67,972,000 | 1.7 | 67,971,756 | 1.7 | 67,971,756 |
| 諸 収 入 | 84,531,000 | 2.1 | 76,636,656 | 1.9 | 76,636,656 |
| 一 般 ・ 特 別 会 計 合 計 | 230,778,549,667 | | 232,196,162,494 | | 227,591,352,781 |

| 済 額 | | | 不 納 欠 損 額 | | | 収 入 未 済 額 | | |
|------------|------------|------------|---------------|------------|-------------|---------------|------------|-------------|
| 構 成 比 率 | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 金 額 D | 構 成 比 率 | 対調定比 D/B | 金 額 E | 構 成 比 率 | 対調定比 E/B |
| 100.0 | 100.0 | 99.5 | 29,053,321 | 100.0 | 0.1 | 123,635,263 | 100.0 | 0.4 |
| 17.9 | 100.5 | 97.2 | 29,053,321 | 100.0 | 0.6 | 115,675,438 | 93.6 | 2.2 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 24.4 | 99.9 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 26.3 | 99.2 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 13.8 | 100.9 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.0 | 100.1 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 16.0 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 1.5 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.0 | 93.2 | 10.3 | — | — | — | 7,959,825 | 6.4 | 89.7 |
| 100.0 | 100.3 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 61.1 | 100.2 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 38.9 | 100.5 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 100.0 | 102.9 | 40.6 | 1,855,496 | 100.0 | 0.4 | 244,122,488 | 100.0 | 59.0 |
| 0.8 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 53.8 | 107.3 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 45.4 | 98.2 | 23.7 | 1,855,496 | 100.0 | 0.6 | 244,122,488 | 100.0 | 75.7 |
| 100.0 | 100.2 | 99.3 | 5,877,637 | 100.0 | 0.1 | 20,485,436 | 100.0 | 0.5 |
| 69.4 | 100.5 | 99.1 | 5,877,637 | 100.0 | 0.2 | 20,485,436 | 100.0 | 0.7 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 0.0 | 98.3 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.0 | 皆増 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 26.9 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 1.7 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 1.9 | 90.7 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| | 98.6 | 98.0 | 1,033,643,074 | | 0.4 | 3,571,166,639 | | 1.5 |

各会計不納欠損額年度比較表

2 表

| 区 分 | 不 納 欠 損 額 の 推 移 | | | | |
|--------------------|-----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
| 一 般 会 計 | 462,259,314 | 460,189,000 | 700,746,336 | 365,576,219 | 319,775,171 |
| 市 税 | 372,999,851 | 355,238,580 | 306,054,340 | 300,627,265 | 252,459,731 |
| 分担金及び負担金 | 30,286,332 | 21,271,194 | 15,363,485 | 8,114,899 | 5,826,980 |
| 使用料及び手数料 | 7,948,345 | 18,756,790 | 99,928,298 | 2,707,506 | 2,326,821 |
| 財 産 収 入 | — | 1,056,956 | — | — | 214,080 |
| 諸 収 入 | 51,024,786 | 63,865,480 | 279,400,213 | 54,126,549 | 58,947,559 |
| 特 別 会 計 | 1,196,888,085 | 1,250,315,673 | 1,108,381,709 | 1,003,579,174 | 713,867,903 |
| 港 湾 事 業 | 63,863 | 117,845 | 65,573 | 36,000 | 2,646 |
| 使用料及び手数料 | 27,863 | 73,025 | 29,573 | — | 2,646 |
| 諸 収 入 | 36,000 | 44,820 | 36,000 | 36,000 | — |
| 国民健康保険事業 | 1,148,947,724 | 1,208,935,220 | 1,068,249,470 | 965,071,734 | 677,054,803 |
| 国民健康保険料 | 1,148,920,624 | 1,208,268,904 | 1,067,509,730 | 964,464,511 | 674,838,974 |
| 国民健康保険税 | 27,100 | — | 258,260 | — | — |
| 諸 収 入 | — | 666,316 | 481,480 | 607,223 | 2,215,829 |
| 奨 学 資 金 | 1,283,200 | 398,200 | 240,000 | 600,890 | 24,000 |
| 諸 収 入 | 1,283,200 | 398,200 | 240,000 | 600,890 | 24,000 |
| 地方卸売市場事業 | 5,560,358 | — | 43,795 | — | — |
| 使用料及び手数料 | — | — | 34,650 | — | — |
| 諸 収 入 | 5,560,358 | — | 9,145 | — | — |
| 介 護 保 険 事 業 | 26,303,372 | 29,180,661 | 30,913,954 | 29,070,650 | 29,053,321 |
| 介 護 保 険 料 | 20,053,190 | 29,178,061 | 30,810,420 | 29,070,650 | 29,053,321 |
| 諸 収 入 | 6,250,182 | 2,600 | 103,534 | — | — |
| 母子父子寡婦福祉資金 貸付事業 | 8,761,268 | 4,194,220 | 4,400,214 | 2,738,600 | 1,855,496 |
| 諸 収 入 | 8,761,268 | 4,194,220 | 4,400,214 | 2,738,600 | 1,855,496 |
| 後期高齢者医療事業 | 5,968,300 | 7,489,527 | 4,468,703 | 6,061,300 | 5,877,637 |
| 後期高齢者医療保険料 | 5,968,300 | 7,489,527 | 4,468,703 | 6,061,300 | 5,877,637 |
| 一般・特別会計合計 | 1,659,147,399 | 1,710,504,673 | 1,809,128,045 | 1,369,155,393 | 1,033,643,074 |

各会計収入未済額年度比較表

3 表

| 区分 | 収入未済額の推移 | | | | |
|----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
| 一般会計 | 3,495,556,982 | 3,049,839,869 | 2,320,305,988 | 1,967,175,367 | 1,767,317,277 |
| 市税 | 2,271,931,329 | 1,884,356,508 | 1,507,982,989 | 1,181,676,859 | 947,151,243 |
| 分担金及び負担金 | 216,269,219 | 178,102,597 | 148,545,215 | 121,040,540 | 104,452,556 |
| 使用料及び手数料 | 182,590,400 | 163,213,503 | 63,610,672 | 60,546,730 | 56,915,468 |
| 財産収入 | 11,151,886 | 11,100,611 | 11,066,447 | 10,721,981 | 9,679,130 |
| 諸収入 | 813,614,148 | 813,066,650 | 589,100,665 | 593,189,257 | 649,118,880 |
| 特別会計 | 4,206,872,569 | 3,676,242,660 | 2,945,937,451 | 2,253,759,353 | 1,803,849,362 |
| 港湾事業 | 798,029 | 692,127 | 680,244 | 625,846 | 528,430 |
| 使用料及び手数料 | 276,709 | 215,627 | 239,744 | 221,346 | 123,930 |
| 諸収入 | 521,320 | 476,500 | 440,500 | 404,500 | 404,500 |
| 国民健康保険事業 | 3,780,107,058 | 3,242,637,050 | 2,520,214,350 | 1,836,327,336 | 1,380,645,415 |
| 国民健康保険料 | 3,744,563,387 | 3,203,495,215 | 2,478,062,794 | 1,793,914,725 | 1,340,521,731 |
| 国民健康保険税 | 258,260 | 258,260 | — | — | — |
| 諸収入 | 35,285,411 | 38,883,575 | 42,151,556 | 42,412,611 | 40,123,684 |
| 奨学資金 | 34,616,240 | 34,032,090 | 31,881,040 | 31,233,500 | 32,368,600 |
| 諸収入 | 34,616,240 | 34,032,090 | 31,881,040 | 31,233,500 | 32,368,600 |
| 地方卸売市場事業 | 1,294,196 | 1,318,373 | 1,140,295 | 1,227,186 | 2,063,730 |
| 使用料及び手数料 | 651,243 | 590,040 | 454,410 | 576,370 | 1,164,964 |
| 諸収入 | 642,953 | 728,333 | 685,885 | 650,816 | 898,766 |
| 介護保険事業 | 106,946,336 | 116,955,467 | 117,511,332 | 118,248,022 | 123,635,263 |
| 介護保険料 | 103,163,497 | 113,425,228 | 114,384,627 | 115,421,317 | 115,675,438 |
| 諸収入 | 3,782,839 | 3,530,239 | 3,126,705 | 2,826,705 | 7,959,825 |
| 母子父子寡婦福祉資金貸付事業 | 255,032,032 | 254,955,789 | 248,150,700 | 244,233,025 | 244,122,488 |
| 諸収入 | 255,032,032 | 254,955,789 | 248,150,700 | 244,233,025 | 244,122,488 |
| 後期高齢者医療事業 | 28,078,678 | 25,651,764 | 26,359,490 | 21,864,438 | 20,485,436 |
| 後期高齢者医療保険料 | 28,078,678 | 25,651,764 | 26,359,490 | 21,864,438 | 20,485,436 |
| 一般・特別会計合計 | 7,702,429,551 | 6,726,082,529 | 5,266,243,439 | 4,220,934,720 | 3,571,166,639 |

平成 2 9 年 度 各 会 計 歳 出 款 別 一 覧 表

4 表

| 科 目 | 予 算 現 額 | | 支 出 済 額 | | |
|---------------|-----------------|------------|-----------------|------------|------------|
| | 金 額 A | 構 成 比 率 | 金 額 B | 構 成 比 率 | 執行率 B/A |
| 一 般 会 計 | 141,898,004,334 | 100.0 | 138,625,605,652 | 100.0 | 97.7 |
| 議 会 費 | 405,140,000 | 0.3 | 386,817,920 | 0.3 | 95.5 |
| 総 務 費 | 5,493,429,901 | 3.9 | 5,267,688,344 | 3.8 | 95.9 |
| 民 生 費 | 55,683,531,200 | 39.2 | 54,268,762,710 | 39.1 | 97.5 |
| 衛 生 費 | 8,880,416,000 | 6.3 | 8,742,798,221 | 6.3 | 98.5 |
| 労 働 費 | 133,436,000 | 0.1 | 127,848,008 | 0.1 | 95.8 |
| 農 林 水 産 費 | 706,794,000 | 0.5 | 673,936,286 | 0.5 | 95.4 |
| 商 工 費 | 9,361,942,162 | 6.6 | 9,267,151,045 | 6.7 | 99.0 |
| 土 木 費 | 10,825,118,820 | 7.6 | 10,466,572,882 | 7.6 | 96.7 |
| 消 防 費 | 690,362,000 | 0.5 | 681,967,828 | 0.5 | 98.8 |
| 教 育 費 | 9,945,104,360 | 7.0 | 9,498,532,842 | 6.9 | 95.5 |
| 公 債 費 | 14,103,467,000 | 9.9 | 14,090,056,211 | 10.2 | 99.9 |
| 諸 支 出 金 | 8,202,838,000 | 5.8 | 7,996,252,210 | 5.8 | 97.5 |
| 職 員 費 | 17,344,875,000 | 12.2 | 17,157,221,145 | 12.4 | 98.9 |
| 予 備 費 | 121,549,891 | 0.1 | — | — | — |
| 特 別 会 計 | 88,880,545,333 | | 86,403,122,382 | | 97.2 |
| 港 湾 事 業 | 3,669,218,333 | 100.0 | 3,651,964,679 | 100.0 | 99.5 |
| 港 湾 管 理 費 | 411,293,000 | 11.2 | 405,354,376 | 11.1 | 98.6 |
| 港 湾 整 備 費 | 1,225,589,333 | 33.4 | 1,225,588,516 | 33.6 | 100.0 |
| 公 債 費 | 1,800,669,000 | 49.1 | 1,800,668,665 | 49.3 | 100.0 |
| 職 員 費 | 224,667,000 | 6.1 | 220,353,122 | 6.0 | 98.1 |
| 予 備 費 | 7,000,000 | 0.2 | — | — | — |
| 国民健康保険事業 | 37,920,545,000 | 100.0 | 36,139,499,504 | 100.0 | 95.3 |
| 総 務 費 | 320,369,000 | 0.8 | 275,771,055 | 0.8 | 86.1 |
| 保 険 給 付 費 | 21,912,045,000 | 57.8 | 21,606,456,101 | 59.8 | 98.6 |
| 後期高齢者支援金等 | 3,354,788,000 | 8.8 | 3,344,577,949 | 9.3 | 99.7 |
| 前期高齢者納付金等 | 12,634,749 | 0.0 | 12,634,749 | 0.0 | 100.0 |
| 老人保健拠出金 | 79,000 | 0.0 | 78,692 | 0.0 | 99.6 |
| 介 護 納 付 金 | 1,542,696,000 | 4.1 | 1,542,695,980 | 4.3 | 100.0 |
| 共 同 事 業 拠 出 金 | 9,305,732,000 | 24.5 | 8,122,387,789 | 22.5 | 87.3 |
| 保 健 事 業 費 | 183,090,000 | 0.5 | 172,620,452 | 0.5 | 94.3 |
| 諸 支 出 金 | 249,988,000 | 0.7 | 239,766,428 | 0.7 | 95.9 |
| 職 員 費 | 373,575,000 | 1.0 | 369,915,444 | 1.0 | 99.0 |
| 繰 上 充 用 金 | 452,595,000 | 1.2 | 452,594,865 | 1.3 | 100.0 |
| 予 備 費 | 212,953,251 | 0.6 | — | — | — |

| 翌年度繰越額 | | | | | 不用額 | | |
|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|---------------|----------|-------------|
| 継続費 通次繰越 | 繰越明許費 | 事故 繰越し | 計 C | 対予算比 C/A | 金額 D=A-B-C | 構成 比率 | 対予算比 D/A |
| 3,573,400 | 347,124,708 | 88,396,000 | 439,094,108 | 0.3 | 2,833,304,574 | 100.0 | 2.0 |
| — | — | — | — | — | 18,322,080 | 0.6 | 4.5 |
| — | — | — | — | — | 225,741,557 | 8.0 | 4.1 |
| — | 3,050,000 | 7,549,200 | 10,599,200 | 0.0 | 1,404,169,290 | 49.6 | 2.5 |
| — | — | — | — | — | 137,617,779 | 4.9 | 1.5 |
| — | — | — | — | — | 5,587,992 | 0.2 | 4.2 |
| — | 816,000 | — | 816,000 | 0.1 | 32,041,714 | 1.1 | 4.5 |
| — | 29,775,616 | — | 29,775,616 | 0.3 | 65,015,501 | 2.3 | 0.7 |
| — | 34,759,092 | 80,846,800 | 115,605,892 | 1.1 | 242,940,046 | 8.6 | 2.2 |
| — | — | — | — | — | 8,394,172 | 0.3 | 1.2 |
| 3,573,400 | 278,724,000 | — | 282,297,400 | 2.8 | 164,274,118 | 5.8 | 1.7 |
| — | — | — | — | — | 13,410,789 | 0.5 | 0.1 |
| — | — | — | — | — | 206,585,790 | 7.3 | 2.5 |
| — | — | — | — | — | 187,653,855 | 6.6 | 1.1 |
| — | — | — | — | — | 121,549,891 | 4.3 | 100.0 |
| — | — | — | — | — | 2,477,422,951 | | 2.8 |
| — | — | — | — | — | 17,253,654 | 100.0 | 0.5 |
| — | — | — | — | — | 5,938,624 | 34.4 | 1.4 |
| — | — | — | — | — | 817 | 0.0 | 0.0 |
| — | — | — | — | — | 335 | 0.0 | 0.0 |
| — | — | — | — | — | 4,313,878 | 25.0 | 1.9 |
| — | — | — | — | — | 7,000,000 | 40.6 | 100.0 |
| — | — | — | — | — | 1,781,045,496 | 100.0 | 4.7 |
| — | — | — | — | — | 44,597,945 | 2.5 | 13.9 |
| — | — | — | — | — | 305,588,899 | 17.2 | 1.4 |
| — | — | — | — | — | 10,210,051 | 0.6 | 0.3 |
| — | — | — | — | — | 0 | — | — |
| — | — | — | — | — | 308 | 0.0 | 0.4 |
| — | — | — | — | — | 20 | 0.0 | 0.0 |
| — | — | — | — | — | 1,183,344,211 | 66.4 | 12.7 |
| — | — | — | — | — | 10,469,548 | 0.6 | 5.7 |
| — | — | — | — | — | 10,221,572 | 0.6 | 4.1 |
| — | — | — | — | — | 3,659,556 | 0.2 | 1.0 |
| — | — | — | — | — | 135 | 0.0 | 0.0 |
| — | — | — | — | — | 212,953,251 | 12.0 | 100.0 |

4 表

| 科 目 | 予 算 現 額 | | 支 出 済 額 | | |
|-----------------|----------------|------------|----------------|------------|------------|
| | 金 額 A | 構 成 比 率 | 金 額 B | 構 成 比 率 | 執行率 B/A |
| 自 転 車 競 走 事 業 | 14,589,887,000 | 100.0 | 14,566,343,615 | 100.0 | 99.8 |
| 管 理 費 | 57,952,000 | 0.4 | 52,089,580 | 0.4 | 89.9 |
| 事 業 費 | 14,079,410,000 | 96.5 | 14,069,649,869 | 96.6 | 99.9 |
| 基 金 積 立 金 | 153,637,000 | 1.1 | 146,500,000 | 1.0 | 95.4 |
| 公 債 費 | 205,505,000 | 1.4 | 205,503,888 | 1.4 | 100.0 |
| 職 員 費 | 69,776,000 | 0.5 | 68,994,224 | 0.5 | 98.9 |
| 繰 上 充 用 金 | 23,607,000 | 0.2 | 23,606,054 | 0.2 | 100.0 |
| 奨 学 資 金 | 34,537,000 | 100.0 | 34,316,710 | 100.0 | 99.4 |
| 奨 学 費 | 12,889,000 | 37.3 | 12,768,710 | 37.2 | 99.1 |
| 基 金 積 立 金 | 21,548,000 | 62.4 | 21,548,000 | 62.8 | 100.0 |
| 予 備 費 | 100,000 | 0.3 | — | — | — |
| 地 方 卸 売 市 場 事 業 | 417,884,000 | 100.0 | 401,009,145 | 100.0 | 96.0 |
| 市 場 管 理 費 | 294,792,000 | 70.5 | 280,763,116 | 70.0 | 95.2 |
| 公 債 費 | 89,982,000 | 21.5 | 89,981,439 | 22.4 | 100.0 |
| 職 員 費 | 30,610,000 | 7.3 | 30,264,590 | 7.5 | 98.9 |
| 予 備 費 | 2,500,000 | 0.6 | — | — | — |
| 介 護 保 険 事 業 | 28,090,794,000 | 100.0 | 27,637,995,028 | 100.0 | 98.4 |
| 総 務 費 | 273,646,000 | 1.0 | 250,464,772 | 0.9 | 91.5 |
| 保 険 給 付 費 | 25,839,554,000 | 92.0 | 25,541,349,531 | 92.4 | 98.8 |
| 地 域 支 援 事 業 費 | 1,164,993,000 | 4.1 | 1,070,701,964 | 3.9 | 91.9 |
| 基 金 積 立 金 | 256,262,000 | 0.9 | 256,261,478 | 0.9 | 100.0 |
| 諸 支 出 金 | 137,183,000 | 0.5 | 112,934,478 | 0.4 | 82.3 |
| 職 員 費 | 409,156,000 | 1.5 | 406,282,805 | 1.5 | 99.3 |
| 予 備 費 | 10,000,000 | 0.0 | — | — | — |
| 発 電 事 業 | 6,000,000 | 100.0 | 5,217,094 | 100.0 | 87.0 |
| 発 電 事 業 費 | 700,000 | 11.7 | 417,094 | 8.0 | 59.6 |
| 諸 支 出 金 | 4,800,000 | 80.0 | 4,800,000 | 92.0 | 100.0 |
| 予 備 費 | 500,000 | 8.3 | — | — | — |

| 翌年度繰越額 | | | | | 不用額 | | |
|-------------|-------|-----------|--------|-------------|---------------|----------|-------------|
| 継続費 通次繰越 | 繰越明許費 | 事故 繰越し | 計 C | 対予算比 C/A | 金額 D=A-B-C | 構成 比率 | 対予算比 D/A |
| - | - | - | - | - | 23,543,385 | 100.0 | 0.2 |
| - | - | - | - | - | 5,862,420 | 24.9 | 10.1 |
| - | - | - | - | - | 9,760,131 | 41.5 | 0.1 |
| - | - | - | - | - | 7,137,000 | 30.3 | 4.6 |
| - | - | - | - | - | 1,112 | 0.0 | 0.0 |
| - | - | - | - | - | 781,776 | 3.3 | 1.1 |
| - | - | - | - | - | 946 | 0.0 | 0.0 |
| - | - | - | - | - | 220,290 | 100.0 | 0.6 |
| - | - | - | - | - | 120,290 | 54.6 | 0.9 |
| - | - | - | - | - | 0 | - | - |
| - | - | - | - | - | 100,000 | 45.4 | 100.0 |
| - | - | - | - | - | 16,874,855 | 100.0 | 4.0 |
| - | - | - | - | - | 14,028,884 | 83.1 | 4.8 |
| - | - | - | - | - | 561 | 0.0 | 0.0 |
| - | - | - | - | - | 345,410 | 2.0 | 1.1 |
| - | - | - | - | - | 2,500,000 | 14.8 | 100.0 |
| - | - | - | - | - | 452,798,972 | 100.0 | 1.6 |
| - | - | - | - | - | 23,181,228 | 5.1 | 8.5 |
| - | - | - | - | - | 298,204,469 | 65.9 | 1.2 |
| - | - | - | - | - | 94,291,036 | 20.8 | 8.1 |
| - | - | - | - | - | 522 | 0.0 | 0.0 |
| - | - | - | - | - | 24,248,522 | 5.4 | 17.7 |
| - | - | - | - | - | 2,873,195 | 0.6 | 0.7 |
| - | - | - | - | - | 10,000,000 | 2.2 | 100.0 |
| - | - | - | - | - | 782,906 | 100.0 | 13.0 |
| - | - | - | - | - | 282,906 | 36.1 | 40.4 |
| - | - | - | - | - | 0 | - | - |
| - | - | - | - | - | 500,000 | 63.9 | 100.0 |

4 表

| 科 目 | 予 算 現 額 | | 支 出 済 額 | | |
|----------------------|-----------------|------------|-----------------|------------|------------|
| | 金 額 A | 構 成 比 率 | 金 額 B | 構 成 比 率 | 執行率 B/A |
| 母子父子寡婦福祉資金業 貸付事業費 | 163,263,000 | 100.0 | 70,092,072 | 100.0 | 42.9 |
| 貸付事業費 | 99,489,000 | 60.9 | 70,092,072 | 100.0 | 70.5 |
| 予備費 | 63,774,000 | 39.1 | — | — | — |
| 後期高齢者医療事業 | 3,988,417,000 | 100.0 | 3,896,684,535 | 100.0 | 97.7 |
| 総務費 | 39,072,000 | 1.0 | 35,952,250 | 0.9 | 92.0 |
| 保健事業費 | 75,278,000 | 1.9 | 74,422,586 | 1.9 | 98.9 |
| 後期高齢者医療 広域連合納付金 | 3,804,759,000 | 95.4 | 3,726,793,498 | 95.6 | 98.0 |
| 諸支出金 | 10,500,000 | 0.3 | 2,821,200 | 0.1 | 26.9 |
| 職員費 | 57,808,000 | 1.4 | 56,695,001 | 1.5 | 98.1 |
| 予備費 | 1,000,000 | 0.0 | — | — | — |
| 一般・特別会計合計 | 230,778,549,667 | | 225,028,728,034 | | 97.5 |

| 翌年度繰越額 | | | | | 不用額 | | |
|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|---------------|----------|-------------|
| 継続費 通次繰越 | 繰越明許費 | 事故 繰越し | 計 C | 対予算比 C/A | 金額 D=A-B-C | 構成 比率 | 対予算比 D/A |
| - | - | - | - | - | 93,170,928 | 100.0 | 57.1 |
| - | - | - | - | - | 29,396,928 | 31.6 | 29.5 |
| - | - | - | - | - | 63,774,000 | 68.4 | 100.0 |
| - | - | - | - | - | 91,732,465 | 100.0 | 2.3 |
| - | - | - | - | - | 3,119,750 | 3.4 | 8.0 |
| - | - | - | - | - | 855,414 | 0.9 | 1.1 |
| - | - | - | - | - | 77,965,502 | 85.0 | 2.0 |
| - | - | - | - | - | 7,678,800 | 8.4 | 73.1 |
| - | - | - | - | - | 1,112,999 | 1.2 | 1.9 |
| - | - | - | - | - | 1,000,000 | 1.1 | 100.0 |
| 3,573,400 | 347,124,708 | 88,396,000 | 439,094,108 | 0.2 | 5,310,727,525 | | 2.3 |

各会計別財産の増減高および現在高

5 表

(一般会計)

| 区 分 | 前 年 度 末 現 在 高 | 決 算 年 度 中 増 減 高 | | | 決 算 年 度 末 現 在 高 |
|------------------|------------------|-----------------|------------|------------|--------------------|
| | | 増 | 減 | 差 引 | |
| 公 有 財 産 | | | | | |
| 土 地 (㎡) | 57,828,731.47 | 115,138.37 | 129,415.25 | △14,276.88 | 57,814,454.59 |
| 建 物 (㎡) | 1,105,886.80 | 20,346.89 | 16,049.80 | 4,297.09 | 1,110,183.89 |
| 山 林 (㎡) | 788,861.00 | 104,481.00 | 1,417.00 | 103,064.00 | 891,925.00 |
| 動 産 | | | | | |
| 船 舶 (隻) | 1 | — | — | — | 1 |
| 物 権 | | | | | |
| 地 上 権 (㎡) | 357.26 | — | — | — | 357.26 |
| 温 泉 権 (か所) | 11 | — | — | — | 11 |
| 無 体 財 産 権 (件) | 11 | — | — | — | 11 |
| 有 価 証 券 (千円) | 289,644 | — | — | — | 289,644 |
| 出 資 による 権 利 (千円) | 2,179,663 | 3,000 | 10,000 | △7,000 | 2,172,663 |
| 物 品 (点) | 1,763 | 38 | 39 | △1 | 1,762 |
| 債 権 (千円) | 1,895,373 | 1,595,158 | 1,434,999 | 160,159 | 2,055,532 |
| 基 金 (千円) | 13,313,900 | 3,317,732 | 4,203,776 | △886,044 | 12,427,856 |

※ 山林には、分収林の立木を含む。

(港湾事業特別会計)

| 区 分 | 前 年 度 末 現 在 高 | 決 算 年 度 中 増 減 高 | | | 決 算 年 度 末 現 在 高 |
|------------------|------------------|-----------------|----------|-----------|--------------------|
| | | 増 | 減 | 差 引 | |
| 公 有 財 産 | | | | | |
| 土 地 (㎡) | 481,691.48 | — | 8,024.88 | △8,024.88 | 473,666.60 |
| 建 物 (㎡) | 7,652.22 | — | — | — | 7,652.22 |
| 動 産 | | | | | |
| 船 舶 (隻) | 1 | — | — | — | 1 |
| 浮 標 (個) | 2 | — | — | — | 2 |
| 浮 さん 橋 (個) | 1 | — | — | — | 1 |
| 浮 さん 橋 (基) | 7 | — | — | — | 7 |
| 出 資 による 権 利 (千円) | 1,000 | — | — | — | 1,000 |
| 物 品 (点) | 15 | — | — | — | 15 |
| 債 権 (千円) | 407,532 | — | 34,248 | △34,248 | 373,284 |

(国民健康保険事業特別会計)

| 区 分 | 前 年 度 末 現 在 高 | 決 算 年 度 中 増 減 高 | | | 決 算 年 度 末 現 在 高 |
|---------|------------------|-----------------|---|-----|--------------------|
| | | 増 | 減 | 差 引 | |
| 物 品 (点) | 5 | 1 | — | 1 | 6 |

(自転車競走事業特別会計)

| 区 分 | 前 年 度 末 現 在 高 | 決 算 年 度 中 増 減 高 | | | 決 算 年 度 末 現 在 高 |
|----------|------------------|-----------------|---|---------|--------------------|
| | | 増 | 減 | 差 引 | |
| 公 有 財 産 | | | | | |
| 土 地 (㎡) | 52,660.70 | — | — | — | 52,660.70 |
| 建 物 (㎡) | 18,873.51 | — | — | — | 18,873.51 |
| 物 品 (点) | 40 | — | — | — | 40 |
| 基 金 (千円) | — | 146,500 | — | 146,500 | 146,500 |

(奨学資金特別会計)

| 区 分 | 前 年 度 末 現 在 高 | 決 算 年 度 中 増 減 高 | | | 決 算 年 度 末 現 在 高 |
|----------|------------------|-----------------|--------|---------|--------------------|
| | | 増 | 減 | 差 引 | |
| 債 権 (千円) | 219,468 | 11,821 | 32,219 | △20,398 | 199,070 |
| 基 金 (千円) | 267,585 | 21,548 | — | 21,548 | 289,133 |

(地方卸売市場事業特別会計)

| 区 分 | 前 年 度 末 現 在 高 | 決 算 年 度 中 増 減 高 | | | 決 算 年 度 末 現 在 高 |
|---------|------------------|-----------------|---|-----|--------------------|
| | | 増 | 減 | 差 引 | |
| 公 有 財 産 | | | | | |
| 土 地 (㎡) | 90,864.72 | — | — | — | 90,864.72 |
| 建 物 (㎡) | 41,734.36 | — | — | — | 41,734.36 |
| 物 品 (点) | 13 | 1 | — | 1 | 14 |

(介護保険事業特別会計)

| 区 分 | 前 年 度 末 現 在 高 | 決 算 年 度 中 増 減 高 | | | 決 算 年 度 末 現 在 高 |
|----------|------------------|-----------------|---------|----------|--------------------|
| | | 増 | 減 | 差 引 | |
| 物 品 (点) | 1 | — | — | — | 1 |
| 基 金 (千円) | 433,850 | 256,261 | 405,573 | △149,312 | 284,538 |

(発電事業特別会計)

| 区 分 | 前 年 度 末 現 在 高 | 決 算 年 度 中 増 減 高 | | | 決 算 年 度 末 現 在 高 |
|---------|------------------|-----------------|---|-----|--------------------|
| | | 増 | 減 | 差 引 | |
| 公 有 財 産 | | | | | |
| 土 地 (㎡) | 2,296.60 | — | — | — | 2,296.60 |
| 物 品 (点) | 1 | — | — | — | 1 |

(母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計)

| 区 分 | 前 年 度 末 現 在 高 | 決 算 年 度 中 増 減 高 | | | 決 算 年 度 末 現 在 高 |
|----------|------------------|-----------------|--------|--------|--------------------|
| | | 増 | 減 | 差 引 | |
| 債 権 (千円) | 623,284 | 69,067 | 78,029 | △8,962 | 614,322 |

(後期高齢者医療事業特別会計)

| 区 分 | 前 年 度 末 現 在 高 | 決 算 年 度 中 増 減 高 | | | 決 算 年 度 末 現 在 高 |
|---------|------------------|-----------------|---|-----|--------------------|
| | | 増 | 減 | 差 引 | |
| 物 品 (点) | 3 | — | — | — | 3 |

基金年度末現在高比較表

6 表

| 区 分 | 平成25年度 | 平成26年度 | | 平成27年度 | |
|--------------|----------------|----------------|-------------|----------------|-------------|
| | 年度末現在高 | 年度末現在高 | 対前年度 増減率 | 年度末現在高 | 対前年度 増減率 |
| 財政調整基金 | 379,815,367 | 1,137,131,666 | 199.4 | 2,477,911,550 | 117.9 |
| 土地開発基金 | 1,576,124,360 | — | 皆減 | — | — |
| 亀田公民館建設基金 | 801,717 | 802,378 | 0.1 | 803,037 | 0.1 |
| 公共施設整備等基金 | 2,631,811,026 | 2,765,373,303 | 5.1 | 2,865,134,527 | 3.6 |
| 減債基金 | 2,165,794,001 | 2,167,308,297 | 0.1 | 2,168,682,089 | 0.1 |
| 障害者福祉基金 | 295,590,000 | 295,590,000 | 0.0 | 295,590,000 | 0.0 |
| 育英基金 | 85,669,475 | 83,596,496 | △2.4 | 82,087,958 | △1.8 |
| 社会福祉施設整備基金 | 192,742,438 | 187,477,751 | △2.7 | 181,628,033 | △3.1 |
| 在宅福祉ふれあい基金 | 1,394,116,139 | 1,361,403,705 | △2.3 | 1,320,473,903 | △3.0 |
| 国際交流基金 | 195,939,382 | 193,035,909 | △1.5 | 190,782,381 | △1.2 |
| 青少年芸術教育奨励基金 | 87,549,237 | 84,930,946 | △3.0 | 82,489,487 | △2.9 |
| 西部地区歴史的町並み基金 | 332,162,515 | 313,352,815 | △5.7 | 296,307,830 | △5.4 |
| スポーツ振興基金 | 99,675,686 | 98,232,678 | △1.4 | 94,961,165 | △3.3 |
| 地域振興基金 | 5,335,247,000 | 3,800,000,000 | △28.8 | 3,801,000,000 | 0.0 |
| 観光振興基金 | 300,000,000 | 300,000,000 | 0.0 | 255,661,000 | △14.8 |
| 大間原発訴訟基金 | — | 37,249,299 | 皆増 | 43,074,393 | 15.6 |
| 青少年育成基金 | — | — | — | — | — |
| 競輪事業施設整備基金 | — | — | — | — | — |
| 奨学基金 | 199,203,078 | 223,300,350 | 12.1 | 246,343,050 | 10.3 |
| 介護給付費準備基金 | 184,267,128 | 263,185,447 | 42.8 | 282,585,700 | 7.4 |
| 合 計 | 15,456,508,549 | 13,311,971,040 | △13.9 | 14,685,516,103 | 10.3 |

| 平成 2 8 年 度 | | 平 成 2 9 年 度 | | | |
|----------------|-------------|----------------|-----------|----------------|-------------|
| 年度末現在高 | 対前年度 増減率 | 原資等の増減 | 運 用 益 | 年度末現在高 | 対前年度 増減率 |
| 3,646,161,510 | 47.1 | 1,586,593,109 | 2,400,207 | 5,235,154,826 | 43.6 |
| — | — | — | — | — | — |
| 803,711 | 0.1 | — | 673 | 804,384 | 0.1 |
| 2,402,640,533 | △16.1 | △607,622,608 | — | 1,795,017,925 | △25.3 |
| 1,134,581,480 | △47.7 | — | 515,695 | 1,135,097,175 | 0.0 |
| 295,590,000 | 0.0 | — | — | 295,590,000 | 0.0 |
| 80,296,694 | △2.2 | △2,092,047 | — | 78,204,647 | △2.6 |
| 178,737,187 | △1.6 | △3,781,433 | — | 174,955,754 | △2.1 |
| 1,279,643,880 | △3.1 | △1,279,643,880 | — | — | 皆減 |
| 190,653,104 | △0.1 | △190,653,104 | — | — | 皆減 |
| 80,131,410 | △2.9 | △2,923,994 | — | 77,207,416 | △3.6 |
| 285,208,023 | △3.7 | △285,208,023 | — | — | 皆減 |
| 90,327,102 | △4.9 | △90,327,102 | — | — | 皆減 |
| 3,306,000,000 | △13.0 | △448,146,000 | — | 2,857,854,000 | △13.6 |
| 214,911,000 | △15.9 | 400,000,000 | — | 614,911,000 | 186.1 |
| 28,214,768 | △34.5 | 34,820,112 | 23,635 | 63,058,515 | 123.5 |
| 100,000,000 | 皆増 | — | — | 100,000,000 | 0.0 |
| — | — | 146,500,000 | — | 146,500,000 | 皆増 |
| 267,585,050 | 8.6 | 21,548,000 | — | 289,133,050 | 8.1 |
| 433,850,339 | 53.5 | △149,674,957 | 363,435 | 284,538,817 | △34.4 |
| 14,015,335,791 | △4.6 | △870,611,927 | 3,303,645 | 13,148,027,509 | △6.2 |